

令和５年度第３回金ケ崎町子ども・子育て会議

日時：令和６年３月２７日（水）

午前１０時～１１時３０分

場所：庁舎４階 大会議室

次 第

１．開 会

２．挨 拶

３．報 告

（１）金ケ崎町子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の報告について

（２）その他

４．その他

５．閉 会

金ケ崎町子ども・子育て会議条例

平成25年12月27日 条例第26号

(設置)

第1条 この条例は、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号。以下「法」という。）第72条第1項の規定に基づき、町長の附属機関として、金ケ崎町子ども・子育て会議（以下「子ども・子育て会議」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 子ども・子育て会議は、法第72条第1項各号に掲げる事務を処理するものとする。

(組織)

第3条 子ども・子育て会議は、委員15人以内をもって組織し、委員は次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 子どもの保護者
- (2) 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者
- (3) 子ども・子育て支援の関係団体から推薦を受けた者
- (4) 公募による者
- (5) 前各号に掲げる者のほか、町長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 子ども・子育て会議に会長及び副会長1人を置き、委員の互選とする。

- 2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 子ども・子育て会議は、会長が招集する。

- 2 子ども・子育て会議の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 子ども・子育て会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認められるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 子ども・子育て会議の庶務は、児童福祉担当課において処理する。

(補則)

第8条 この条例に定めるもののほか、子ども・子育て会議の運営その他必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例の施行の日以後最初に委嘱する委員の任期は、第4条の規定にかかわらず、平成27年3月31日までとする。

3 この条例の施行の日以後最初に開かれる子ども・子育て会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、町長が招集する。

令和５年度金ケ崎町子ども・子育て会議委員名簿

任期：令和５年（２０２３年）８月２２日～令和７年（２０２５年）３月３１日

番号	団体名	役職名	委 員	区分
１	金ケ崎町子育て支援センター利用者	－	キクチ 菊 地 ハルカ 春 香	保護者
２	たいよう保育園保護者会	副会長	タカハシ 高 橋 ケニ 邦 博	保護者
３	金ケ崎町立幼稚園・認定こども園 ＰＴＡ連絡協議会	会長	キクチ 菊 池 ナオミ 直 美	保護者
４	金ケ崎町ＰＴＡ連絡協議会	副会長	タカハシ 高 橋 カズヒロ 和 博	保護者
５	金ケ崎町子育て支援センター	所長	ワタナベ 渡 辺 リエ 理 恵	従事者
６	社会福祉法人白鶴会 認定こども園 たいよう保育園	園長	ワタナベ 渡 邊 つ る ヨ代	従事者
７	社会福祉法人金ケ崎町社会福祉協議会	理事兼事務局長	タカハシ 高 カ ハ シ 橋 オサム 修	従事者
８	金ケ崎町幼稚園長会	六原幼稚園園長	チエダ 千 枝 トクミ 徳 三	従事者
９	金ケ崎町校長会（小学校）	三ヶ尻小学校校長	ヨシダ 吉 田 タイジ 泰 治	従事者
１０	金ケ崎町民生委員児童委員協議会	主任児童委員	オノデ 小 ノ デ 寺 ケンイチ 謙 イチ	関係団体
１１	金ケ崎企業クラブ	事務局	チバ 千 ハ 葉 マサル 勝	関係団体
１２	一般公募	－	カシマ 鹿 島 マイ 麻 衣	公募
１３	金ケ崎町健康づくり推進協議会	会長	オオギ 扇 ヨシアキ 良 明	その他
１４	青少年育成委員会議	青少年育成委員	テルイ 照 井 効 崇 ミチ 経	その他
１５	奥州警察署金ケ崎交番	署長	サウ 佐 藤 薫	その他

令和5年度第3回金ケ崎町子ども・子育て会議
出席者名簿

No.	所属名	職名	氏名	備考
1		町長	たか はし かん じゅ 高 橋 寛 寿	
2	教育委員会事務局	教育次長	ち ば しげ のり 千 葉 重 徳	関係課
3	教育委員会事務局	教育次長補佐	おい かわ ひろし 及 川 博	関係課
4	教育委員会事務局	主査	いち はし み か 市 橋 美 花	関係課
5	教育委員会事務局	主事	きく ち しょう 菊 地 祥	関係課
6	子育て支援課	課長	いな ば いく こ 稲 葉 郁 子	事務局
7	子育て支援課	課長補佐	あさ り ひで かつ 浅 利 英 克	事務局
8	子育て支援課	副主幹	きく ち しゅく こ 菊 地 淑 子	事務局
9	子育て支援課	主事	おい かわ まこ と 及 川 真 人	事務局
10	子育て支援課	主事	たか の きょう こ 高 野 経 子	事務局

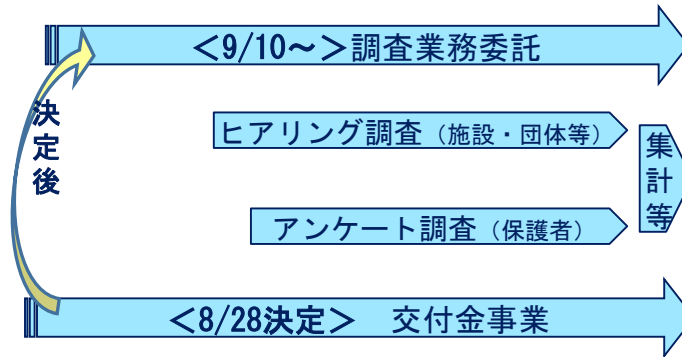
子ども・子育て支援事業計画の策定スケジュール表

前回の計画

子ども・子育て
支援事業計画
＋
貧困対策計画

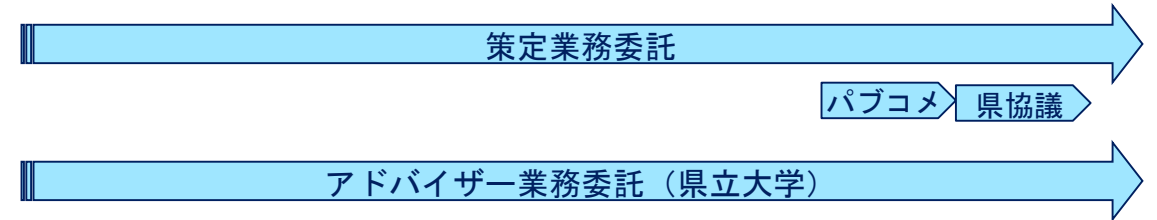
⇒貧困対策調査のみ
交付金対象

平成30年度
6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



各課照会 2回
子育て会議 2回

令和元年度
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



※交付金なし

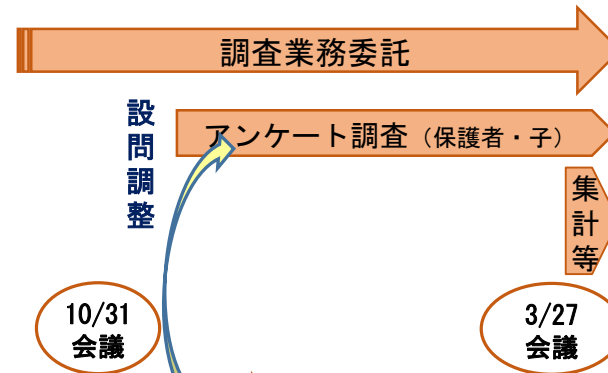
各課協議・照会 5回
子育て会議 4回、議員全員協議会 1回

今回の計画

子ども・子育て
支援事業計画
＋
貧困対策計画

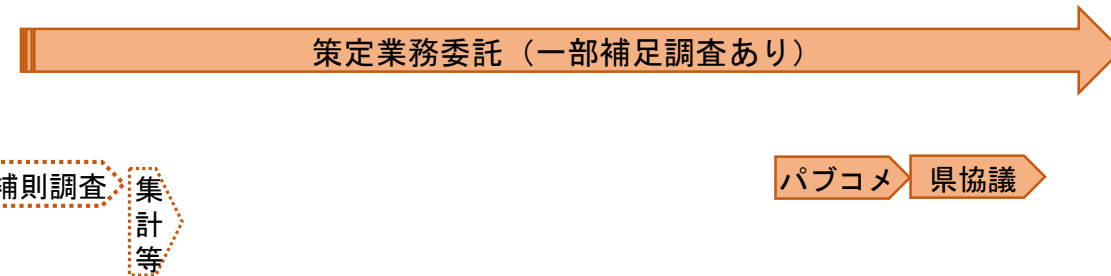
⇒調査対象には、
保護者の他に、
子どもが追加

令和5年度
6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



<年内策定>
国の大綱

令和6年度
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



各課協議・照会 5回
子育て会議 4回（6・9・11・3月）、議員全員協議会 1回（11月）

【資料 1】

報告（1）

金ケ崎町子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の
報告について

**金ヶ崎町子ども・子育て支援事業計画に係る
ニーズ調査・子ども生活調査
報 告 書**

令和6年3月

金 ヶ 崎 町

目 次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的.....	3
2. 調査の概要.....	3
(1) 子ども・子育て支援に関するニーズ調査.....	3
(2) 子ども生活に関する調査.....	4
3. 調査の対象者数及び回答者数、回収率.....	4

第2章 小学生以下ニーズ調査

I 対象のお子さんご家族の状況	7
1. 回答者.....	7
2. 居住地区.....	7
3. 年齢.....	8
4. 同居者.....	8
5. 主に子育てをしている者.....	9
II 子どもの育ちをめぐる環境	10
1. 気軽に相談できる人・場所の有無.....	10
2. 気軽に相談できる人・場所.....	10
3. 相談できる人がいない、場所がない理由.....	11
4. 事業の周知状況・利用状況・利用意向.....	11
(1) 事業の周知状況（【A. 知っている】）.....	11
(2) 事業の利用状況（【B. 利用したことがある】）.....	12
(3) 事業の利用意向（【C. 今後利用したい】）.....	12
III 保護者の就労状況	19
1. 就労状況（母親）.....	19
2. フルタイムへの転換希望（母親）.....	19
3. 就労希望（母親）.....	19
4. 希望する就労形態（母親）.....	20
5. 就労状況（父親）.....	20
6. フルタイムへの転換希望（父親）.....	20
7. 就労希望（父親）.....	21
8. 希望する就労形態（父親）.....	21
IV 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	22
1. 定期的な教育・保育事業の利用状況.....	22
2. 利用している定期的な教育・保育事業.....	22
3. 定期的な教育・保育事業の未利用理由.....	23
4. 定期的な教育・保育事業の利用意向.....	23
V 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	25
1. 不定期の教育・保育事業の利用状況.....	25
2. 不定期の教育・保育事業の利用日数.....	25
3. 不定期の教育・保育事業の利用意向.....	25
4. 利用意向理由.....	26
5. 泊りがけで子どもを見てもらう利用意向.....	26
6. 利用意向理由.....	26
VI 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望	27
1. 土曜日の教育・保育事業の利用希望.....	27

2.	日・祝日の教育・保育事業の利用希望	27
3.	長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	28
VII	地域の子育て支援事業の利用状況	29
1.	地域子育て支援拠点事業の利用状況	29
2.	地域子育て支援事業の利用意向	29
VIII	病気の際の対応	30
1.	病気やケガでの欠席状況	30
2.	欠席時の対処法	30
3.	病後児保育の利用意向	31
IX	小学校就学後の放課後の過ごし方	32
1.	放課後の過ごし方（小学校低学年）	32
2.	放課後の過ごし方（小学校高学年）	33
3.	土日祝の放課後児童クラブの利用意向	34
(1)	土曜日の利用意向	34
(2)	日曜日・祝日の利用意向	34
(3)	長期休暇	35
X	お子さんの普段の食事や生活の様子	36
1.	朝食の状況	36
2.	欠食理由	36
3.	夕食の状況	37
4.	孤食理由	37
5.	健康状態	38
6.	虫歯の状況	38
7.	世帯収入	39
8.	経済的理由での経験	40
XI	全般的な事柄	41
1.	情報入手先	41
2.	悩んでいること	42
3.	公的制度の利用状況と利用意向	43
(1)	公的制度の利用状況（「利用している・利用した」）	43
(2)	公的制度の利用意向（「利用（利用継続）を希望する」）	44
4.	本町の子育て支援に対する満足状況	50
5.	充実を望む子育て支援策	51
XII	自由意見	52

第3章 中学生以上ニーズ調査

I	対象のお子さんご家族の状況	71
1.	回答者	71
2.	居住地区	71
3.	学年	72
4.	同居者	72
5.	主に子育てをしている者	73
II	食事	74
1.	朝食の状況	74
2.	欠食理由	74
3.	夕食の状況	75
4.	問9 孤食理由	75
III	健康状態	76
1.	健康状態	76
2.	虫歯の状況	76

IV 家庭生活・学校生活	77
1. 過去1か月間の子どもの様子	77
(1) 「当てはまる」回答の比較	77
2. 学習の理解度	80
3. 学校以外での学習時間	80
4. 現実的な最終学歴	81
5. 最終学歴選択理由	81
6. 子どもとの関係性	82
7. 子どもに関して心配なこと	82
V 就労状況	83
1. 父親の就労状況	83
2. 父親が働いていない理由	83
3. 母親の就労状況	84
4. 母親が働いていない理由	84
VI 現在の暮らし向き	85
1. 世帯所得	85
2. 教育経費で負担が大きいもの	86
3. 経済的理由での経験	87
4. 子どもの必需品等に関する過不足	88
(1) 「足りている」回答の比較	88
5. 公的制度の利用状況と利用意向	91
(1) 公的制度の利用状況（「利用している・利用した」）	91
(2) 公的制度の利用意向（「利用（利用継続）を希望する」）	91
② 就学援助	92
③ 生活保護	93
④ 児童相談所	93
⑤ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	94
⑥ 高校生等奨学給付金	94
⑦ 高等学校等就学支援金	95
⑧ 母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金	95
⑨ 学習支援事業※	96
VII 全体的な事柄	97
1. 情報入手先	97
2. 気軽に相談できる人・場所の有無	97
3. 気軽に相談できる人・場所	98
4. 相談できる人がいない、場所がない理由	98
5. 本町の子育て支援に対する満足状況	99
6. 充実を望む子育て支援策	100
VIII 自由意見	101

第4章 子どもの生活に関する調査

I 回答者の属性	111
1. 性別	111
2. 居住地区	111
3. 学校在籍の状況（高校生等調査）	112
II 勉強、授業、進学について	113
1. 学校の授業以外の勉強	113
2. 学校の授業以外の勉強時間	114
3. 学校の授業の理解	115
4. 理解できなくなった時期	115

5. 最終学歴の意向	116
6. 最終学歴の意向の理由	117
7. 金ヶ崎町内の高校の選択（中学生調査）	117
Ⅲ 就業状況、将来の仕事について	118
1. 就労の有無（高校生等調査）	118
2. 就労環境の満足状況	118
3. 満足していない理由	118
4. 将来の希望の仕事（中学生調査、高校生等調査）	119
5. 希望の仕事の町内所在（中学生調査、高校生等調査）	119
6. 将来の働きたい地域（中学生調査、高校生等調査）	120
Ⅳ 生活、悩み、満足度について	121
1. 地域のクラブ活動等の参加状況	121
2. 参加していない理由	121
3. 学校や遊び等に行く交通手段	122
4. 1週間の食事日数	123
5. 普段の就寝状況	124
6. 困ったこと等の相談できる人	125
7. 最近の生活の満足度	126
8. 半年間の生活の振り返り	126
Ⅴ 新型コロナウイルスによる生活の変化について	132
1. 新型コロナウイルスによる生活の変化	132
Ⅵ 居場所について	135
1. 子どもの居場所の利用経験、利用意向	135
2. 利用したことでの変化	137
Ⅶ ヤングケアラーの状況	138
1. 世話をしている家族の有無	138
2. 世話をしている家族の属性	138
3. 世話の内容	139
4. 世話をしていることで経験したこと	139
5. 学校や周りの大人にしてもらいたいこと	140
Ⅷ 自由意見	141
1. 小学校5年生の意見	141
2. 中学校2年生の意見	142

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「子ども・子育て支援法」第61条に基づき「金ケ崎町子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、子ども及び子育て世帯等に対して、本町が取り組むべき課題や施策の方向性等のニーズ及び教育・保育及び地域こども・子育て支援事業の「量の見込み」等を把握するためのアンケート調査を実施し、集計や分析を行い、計画に必要な基礎資料を作成することを目的とする。

2. 調査の概要

本調査は、「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」と「子どもの生活に関する調査」の大きく2種類の調査を実施した。それぞれの調査票の種類、対象者、調査方法、調査時期は以下の通りである。

(1) 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

調査票の種類	対象者	調査方法	調査時期
母子手帳交付者と小学生以下の保護者調査	町内の母子健康手帳交付者及び小学生以下の児童を持つ保護者を対象	- 町内の幼稚園、保育園、小学校に在籍している児童の保護者は施設を通して配付・回収 - 母子健康手帳交付者、未就学園児などの施設に在籍していない児童の保護者に対しては郵送による配付・回収	令和6年2月
中学生以上の保護者調査	町内の中学生以上で18歳までの子どもを持つ保護者を対象	- 中学校に在籍している児童の保護者は施設を通して配付・回収 16歳以上の児童の保護者に対しては郵送による配付・回収	令和6年2月

(2) 子ども生活に関する調査

調査票の種類	対象者	調査方法	調査時期
小学5年生調査	町内の小学校に在籍する小学校5年生の児童	・ 町内の小学校を通して配付・回収	令和6年2月
中学2年生調査	町内外の中学校に在籍する中学2年生の児童	・ 町内の中学校に在籍する児童に対しては中学校を通して配付・回収 ・ 町外の中学校に在籍する児童に対しては郵送による配付・回収	令和6年2月
高校2年生／16～17歳調査	町内に在住する高校2年生及び高校2年生の年齢に相当する16歳、17歳の児童	・ 郵送による配付・回収	令和6年2月

3. 調査の対象者数及び回答者数、回収率

各調査の対象者数及び回収された調査票から抽出された回答者数、回収率は以下の通りである。

調査の種類		対象者数	回答者数	回収率
ニーズ調査	母子手帳交付者及び小学生以下保護者調査	1,422	1,186	83.4%
	中学生以上の保護者超あ	819	518	63.2%
子ども調査	小学5年生調査	121	110	90.9%
	中学2年生調査	130	105	80.8%
	高校2年生／16～17歳調査	143	79	55.2%

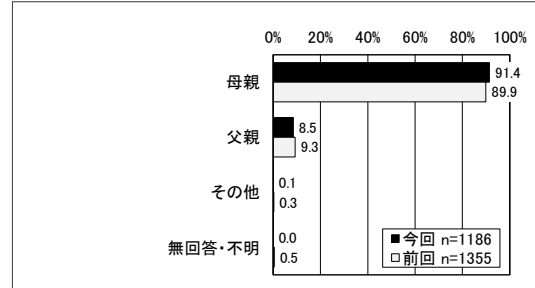
第2章 小学生以下ニーズ調査

I 対象のお子さんご家族の状況

1. 回答者

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。対象のお子さんからみた関係でお答えください。(1つのみ)

単位:回答数(件),構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 母親	1084	91.4	1218	89.9
2 父親	101	8.5	126	9.3
3 その他	1	0.1	4	0.3
無回答・不明	0	0.0	7	0.5
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

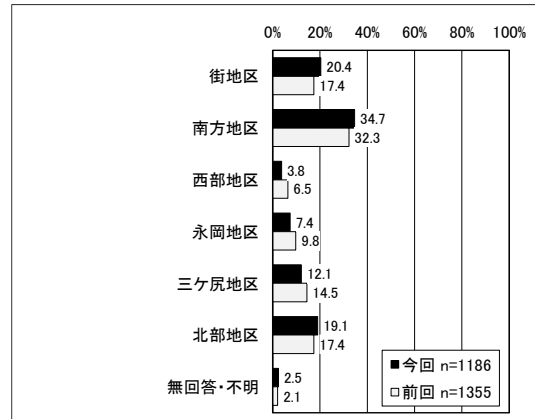


「母親」が91.4%とほとんどを占め、「父親」(8.5%)とわずかである。前回と比較しほとんど変化はない。

2. 居住地区

問2 お住まいの地区はどちらですか。(1つのみ)

単位:回答数(件),構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 街地区	242	20.4	236	17.4
2 南方地区	411	34.7	437	32.3
3 西部地区	45	3.8	88	6.5
4 永岡地区	88	7.4	133	9.8
5 三ヶ尻地区	144	12.1	196	14.5
6 北部地区	226	19.1	236	17.4
無回答・不明	30	2.5	29	2.1
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



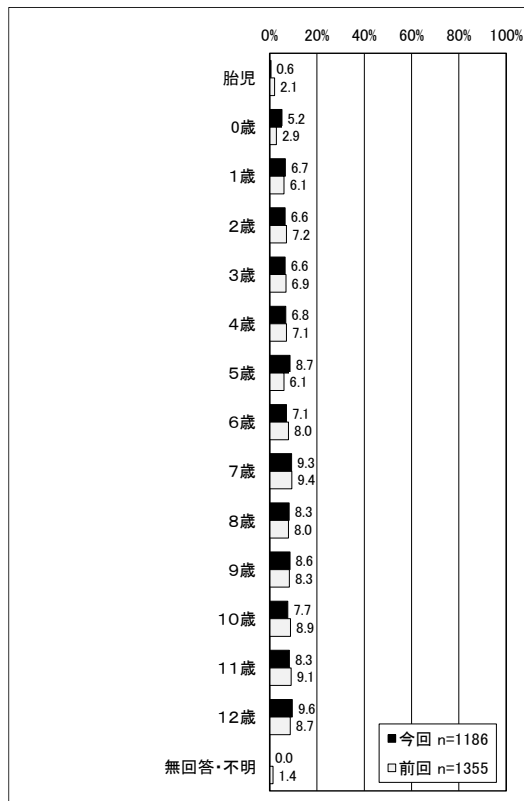
「南方地区」が34.7%で最も高く、「街地区」(24.2%)、「北部地区」(19.1%)、「三ヶ尻地区」(12.1%)と続く。前回と比較しほとんど変化はない。

3. 年齢

問3 小学生以下の全てのお子さんの生年月をご記入ください。母子手帳交付者は胎児の出産予定をご記入ください。
当てはまる年号にレ点をつけ、□内に年月の数字をご記入ください。（数字は一枠に一字）

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 胎児	7	0.6	28	2.1
2 0歳	62	5.2	39	2.9
3 1歳	79	6.7	83	6.1
4 2歳	78	6.6	97	7.2
5 3歳	78	6.6	94	6.9
6 4歳	81	6.8	96	7.1
7 5歳	103	8.7	82	6.1
8 6歳	84	7.1	108	8.0
9 7歳	110	9.3	127	9.4
10 8歳	98	8.3	108	8.0
11 9歳	102	8.6	113	8.3
12 10歳	91	7.7	120	8.9
13 11歳	99	8.3	123	9.1
14 12歳	114	9.6	118	8.7
無回答・不明	0	0.0	19	1.4
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



「12歳」が9.6%で最も高く、「7歳」（9.3%）、「5歳」（8.7%）、「9歳」（8.6%）、「11歳」（8.3%）、「8歳」（8.3%）と続く。全体的に年齢が低くなるほど少なくなり、少子化の傾向を反映している。前回と比較しほとんど変化はない。

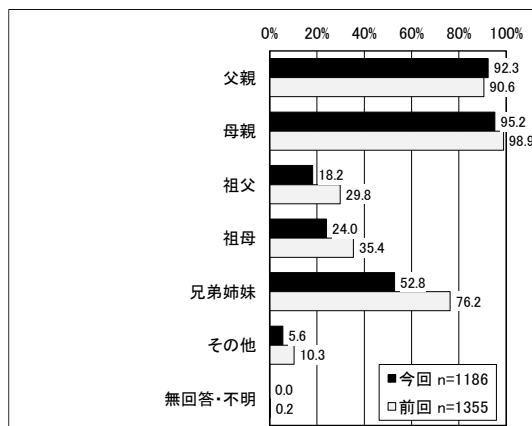
注：年齢は、平成6年3月末現在で集計

4. 同居者

問4 普段、対象のお子さんと一緒に住まいの方はどなたですか。（いくつでも）

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 父親	1095	92.3	1227	90.6
2 母親	1129	95.2	1340	98.9
3 祖父	216	18.2	404	29.8
4 祖母	285	24.0	480	35.4
5 兄弟姉妹	626	52.8	1033	76.2
6 その他	67	5.6	140	10.3
無回答・不明	0	0.0	3	0.2
回答数合計	3418	288.2	4627	341.5
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



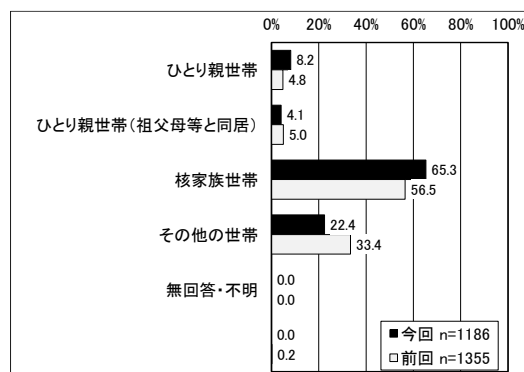
「母親」が95.2%で最も高く、「父親」は92.3%になっている。以下、「兄弟姉妹」（52.8%）、

「祖母」（24.0%）、「祖父」（18.2%）と続く。前回と比較し、「兄弟姉妹」「祖母」「祖父」が低下しており、少子化、核家族化の影響がみられる。

【家族構成】

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 ひとり親世帯	97	8.2	65	4.8
2 ひとり親世帯(祖父母等と同居)	49	4.1	68	5.0
3 核家族世帯	774	65.3	766	56.5
4 その他の世帯	266	22.4	453	33.4
無回答・不明	0	0.0	3	0.2
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



「核家族世帯」が65.3%で最も高く、「その他の世帯」（22.4%）が続く。前回と比較し、「核家族世帯」が上昇、「その他の世帯」が低下している。「その他の世帯」は祖父母との同居世帯がほとんどである。

注：問3の同居者により、以下の規則で集計

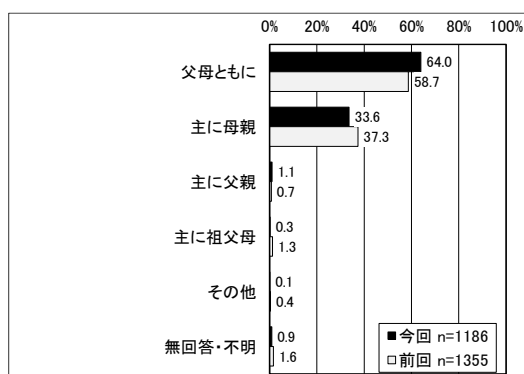
- ・「ひとり親世帯」：「父親」「母親」のどちらかがいない世帯
- ・「ひとり親世帯(祖父母等と同居)」：「ひとり親世帯」に「祖父」「祖母」のどちらかがいる世帯
- ・「核家族世帯」：「父親」「母親」の両方がいる世帯

5. 主に子育てをしている者

問5 対象のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で1つを選択してください。

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 父母ともに	759	64.0	795	58.7
2 主に母親	399	33.6	506	37.3
3 主に父親	13	1.1	10	0.7
4 主に祖父母	3	0.3	17	1.3
5 その他	1	0.1	5	0.4
無回答・不明	11	0.9	22	1.6
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



「父母ともに」が64.0%で最も高く、「主に母親」が32.6%で続く。その他はわずかである。前回と比較し、「父母ともに」が若干上昇している。

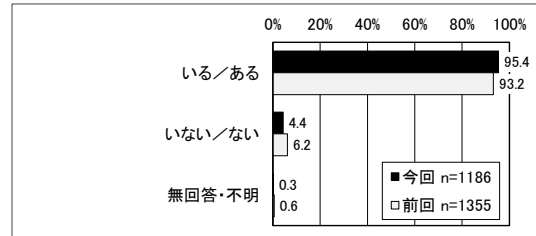
Ⅱ 子どもの育ちをめぐる環境

1. 気軽に相談できる人・場所の有無

問6 対象のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 いる／ある	1131	95.4	1263	93.2
2 いない／ない	52	4.4	84	6.2
無回答・不明	3	0.3	8	0.6
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



「いる／ある」が95.4%を占め、「いない／ない」は4.4%になっている。前回と比較しほとんど変化はない。

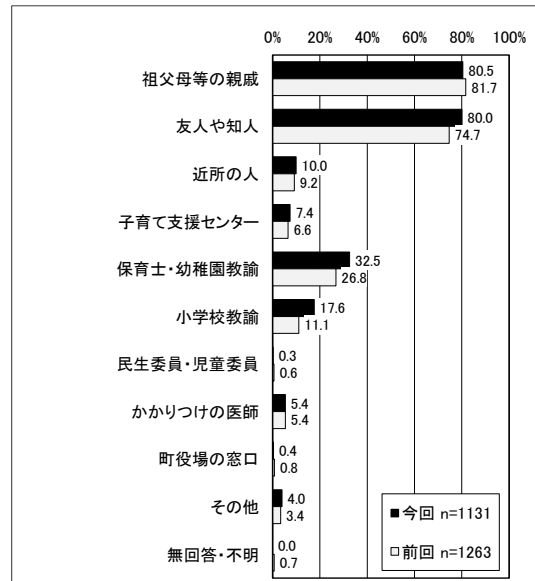
2. 気軽に相談できる人・場所

問6で「1. いる／ある」に回答した方にお聞きします。

問7 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(いくつでも)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 祖父母等の親戚	910	80.5	1032	81.7
2 友人や知人	905	80.0	943	74.7
3 近所の人	113	10.0	116	9.2
4 子育て支援センター	84	7.4	83	6.6
5 保育士・幼稚園教諭	368	32.5	338	26.8
6 小学校教諭	199	17.6	140	11.1
7 民生委員・児童委員	3	0.3	8	0.6
8 かかりつけの医師	61	5.4	68	5.4
9 町役場の窓口	5	0.4	10	0.8
10 その他	45	4.0	43	3.4
無回答・不明	0	0.0	9	0.7
回答数合計	2693	238.1	2790	220.9
回答者数合計	1131	100.0	1263	100.0



「祖父母等の親戚」が80.5%で最も高く、「友人や知人」も80.0%とほぼ同数になっている。以下、「保育士・幼稚園教諭」(32.5%)、「小学校教諭」(17.6%)が続く。前回と比較し、「友人や知人」「保育士・幼稚園教諭」「小学校教諭」が上昇している。

3. 相談できる人がいない、場所がない理由

問6で「2. いない／ない」に回答した方にお聞きます。
問8 相談できる人がいない、場所がない理由をご自由にお書き下さい。

- ・ どこで聞いてもらえるかよくわからない
- ・ 先天性の病気があるので細かなことを気軽に相談できない、分かってくれずらい。
- ・ ひとり親での仕事、家事、介護の為、相談できる時間が無く、場所もわからない父子家庭だと相談に行けても話しづらい環境が多い
- ・ 町外から引越しをしてきて場所などわからない。情報をどこで聞いてよいかよくわからない。
- ・ 父方祖父母が要介護状態、母方の祖父母は遠距離。
- ・ 人：母親等なくなっている、場所：そんなになじみがないのに相談したいとは思えない
- ・ 町外から引越しをしてきて場所などわからない。情報をどこで聞いてよいかよくわからない。

4. 事業の周知状況・利用状況・利用意向

問9 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。
①～⑨の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかにレ点をつけてください。

(1) 事業の周知状況(【A. 知っている】)

事業名	「はい」の構成比(%)		前回・ 今回の差
	今回	前回	
① 母親(父親)学級、両親学級、育児学級	74.5	72.9	+1.6
② 子育て相談窓口(町子育て支援課・子育て支援相談員)	88.4	83.9	+4.5
③ 金ケ崎町(子育て情報ガイド、町ホームページ)	78.0	72.2	+5.8
④ 家庭教育に関する学級・講座	32.4	39.6	-7.2
⑤ 保育所や幼稚園の園庭等の開放	63.1	77.6	-14.5
⑥ ファミリー・サポート・センター	78.1	72.0	+6.1
⑦ 子ども食堂	58.3		
⑧ 子育て支援センター	91.1		
⑨ 岩手県教育相談窓口	37.1		

「はい」の回答が最も高いのは「⑧ 子育て支援センター」の91.1%で、「② 子育て相談窓口(町子育て支援課・子育て支援相談員)」(88.4%)、「⑥ ファミリー・サポート・センター」(78.1%)と続く。一方、最も低いのは「④ 家庭教育に関する学級・講座」の32.4%である。前回と比較し、構成比が最も上昇しているのが「⑥ ファミリー・サポート・センター」の+6.1ポイントで、一方、最も低下しているのが「⑤ 保育所や幼稚園の園庭等の開放」の-14.5ポイントである。

(2) 事業の利用状況(【B. 利用したことがある】)

事業名	「はい」の構成比(%)		前回・ 今回の差
	今回	前回	
① 母親(父親)学級、両親学級、育児学級	45.7	40.8	+4.9
② 子育て相談窓口(町子育て支援課・子育て支援相談員)	31.2	33.7	-2.5
③ 金ケ崎町(子育て情報ガイド、町ホームページ)	40.8	34.7	+6.1
④ 家庭教育に関する学級・講座	6.9	13.1	-6.2
⑤ 保育所や幼稚園の園庭等の開放	27.7	27.8	-0.1
⑥ ファミリー・サポート・センター	6.5	3.7	+2.8
⑦ 子ども食堂	5.5		
⑧ 子育て支援センター	63.2		
⑨ 岩手県教育相談窓口	1.9		

「はい」の回答が最も高いのは「⑧ 子育て支援センター」の63.2%で、「① 母親(父親)学級、両親学級、育児学級」(45.7%)、「③ 金ケ崎町(子育て情報ガイド、町ホームページ)」(40.8%)と続く。一方、最も低いのは「⑨ 岩手県教育相談窓口」の1.9%である。前回と比較し、構成比が最も上昇しているのが「③ 金ケ崎町(子育て情報ガイド、町ホームページ)」の+6.1ポイントで、最も低下しているのが「④ 家庭教育に関する学級・講座」の-6.2ポイントである。

(3) 事業の利用意向(【C. 今後利用したい】)

事業名	「はい」の構成比(%)		前回・今 回の差
	今回	前回	
① 母親(父親)学級、両親学級、育児学級	25.7	32.1	-6.4
② 子育て相談窓口(町子育て支援課・子育て支援相談員)	41.6	42.1	-0.5
③ 金ケ崎町(子育て情報ガイド、町ホームページ)	52.4	49.8	+2.6
④ 家庭教育に関する学級・講座	28.7	35.7	-7.0
⑤ 保育所や幼稚園の園庭等の開放	42.7	38.1	+4.6
⑥ ファミリー・サポート・センター	26.4	28.6	-2.2
⑦ 子ども食堂	35.2	29.2	+6.0
⑧ 子育て支援センター	44.1		
⑨ 岩手県教育相談窓口	24.1		

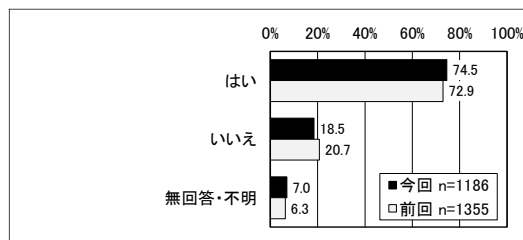
「はい」の回答が最も高いのは「③ 金ケ崎町(子育て情報ガイド、町のホームページ)」の52.4%で、「⑧ 子育て支援センター」(44.1%)、「⑤ 保育所や幼稚園の園庭等の開放」(42.7%)と続く。一方、最も低いのは「⑨ 岩手県教育相談窓口」の24.1%である。前回と比較し、「はい」の構成比が最も上昇しているのが「⑦ 子ども食堂」の+6.0ポイントで、最も低下しているのが「① 母親(父親)学級、両親学級、育児学級」の-6.4ポイントである。

① 母親(父親)学級、両親学級、育児学級

【A. 知っている】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

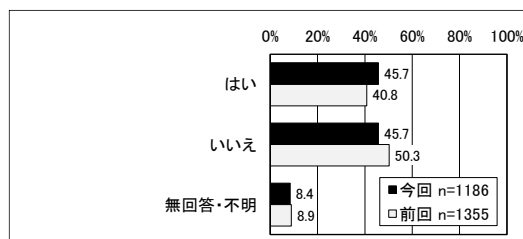
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	884	74.5	988	72.9
2 いいえ	219	18.5	281	20.7
無回答・不明	83	7.0	86	6.3
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【B. 利用したことがある】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

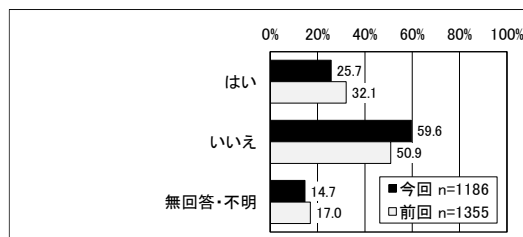
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	542	45.7	553	40.8
2 いいえ	542	45.7	681	50.3
無回答・不明	100	8.4	121	8.9
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【C. 今後利用したい】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	305	25.7	435	32.1
2 いいえ	707	59.6	690	50.9
無回答・不明	174	14.7	230	17.0
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

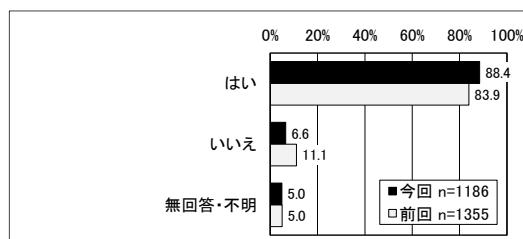


② 子育て相談窓口(町子育て支援課・子育て支援相談員)

【A. 知っている】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

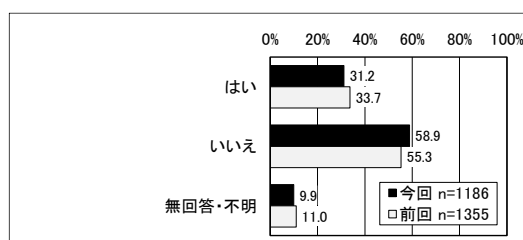
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	1049	88.4	1137	83.9
2 いいえ	78	6.6	150	11.1
無回答・不明	59	5.0	68	5.0
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【B. 利用したことがある】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

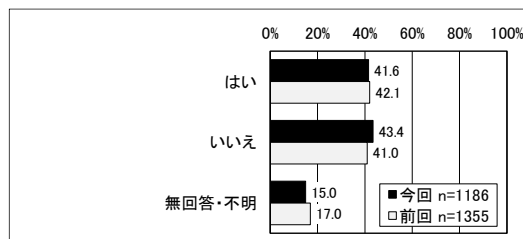
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	370	31.2	457	33.7
2 いいえ	698	58.9	749	55.3
無回答・不明	118	9.9	149	11.0
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【C. 今後利用したい】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	493	41.6	570	42.1
2 いいえ	515	43.4	555	41.0
無回答・不明	178	15.0	230	17.0
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

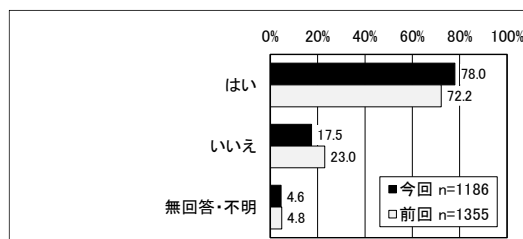


③ 金ヶ崎町(子育て情報ガイド、町ホームページ)

【A. 知っている】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

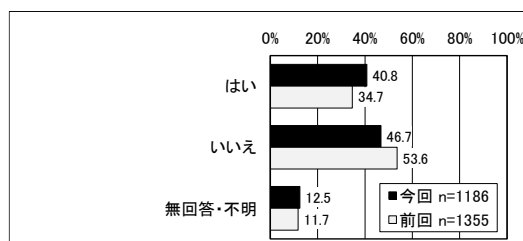
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	925	78.0	978	72.2
2 いいえ	207	17.5	312	23.0
無回答・不明	54	4.6	65	4.8
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【B. 利用したことがある】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

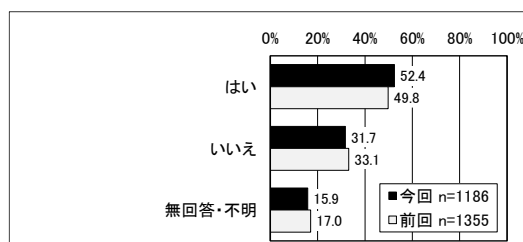
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	484	40.8	470	34.7
2 いいえ	554	46.7	726	53.6
無回答・不明	148	12.5	159	11.7
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【C. 今後利用したい】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	622	52.4	675	49.8
2 いいえ	376	31.7	449	33.1
無回答・不明	188	15.9	231	17.0
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

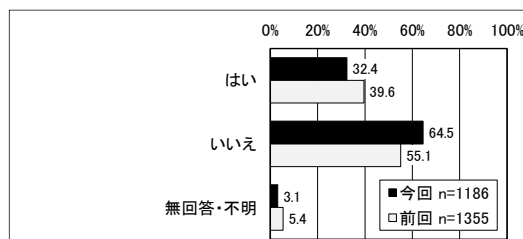


④ 家庭教育に関する学級・講座

【A. 知っている】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

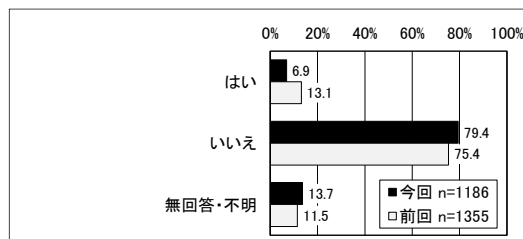
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	384	32.4	536	39.6
2 いいえ	765	64.5	746	55.1
無回答・不明	37	3.1	73	5.4
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【B. 利用したことがある】

単位：回答数(件),構成比(%)

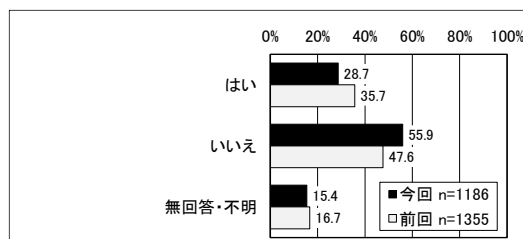
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	82	6.9	178	13.1
2 いいえ	942	79.4	1021	75.4
無回答・不明	162	13.7	156	11.5
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【C. 今後利用したい】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	340	28.7	484	35.7
2 いいえ	663	55.9	645	47.6
無回答・不明	183	15.4	226	16.7
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

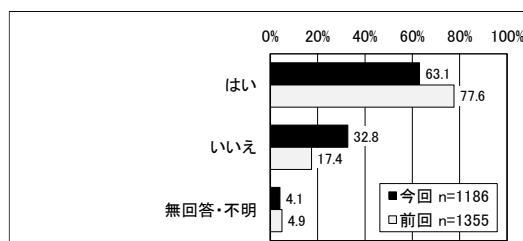


⑤ 保育所や幼稚園の園庭等の開放

【A. 知っている】

単位：回答数(件),構成比(%)

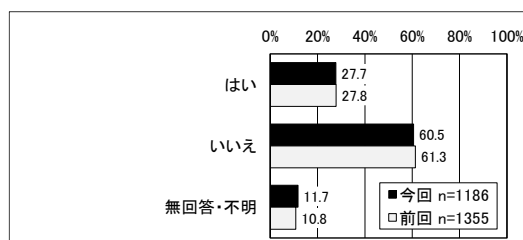
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	748	63.1	1052	77.6
2 いいえ	389	32.8	236	17.4
無回答・不明	49	4.1	67	4.9
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【B. 利用したことがある】

単位：回答数(件),構成比(%)

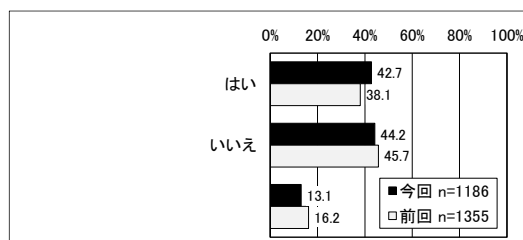
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	329	27.7	377	27.8
2 いいえ	718	60.5	831	61.3
無回答・不明	139	11.7	147	10.8
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【C. 今後利用したい】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	507	42.7	516	38.1
2 いいえ	524	44.2	619	45.7
無回答・不明	155	13.1	220	16.2
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

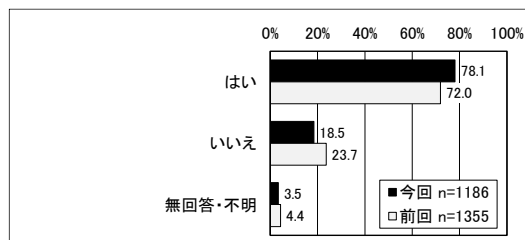


⑥ ファミリー・サポート・センター

【A. 知っている】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

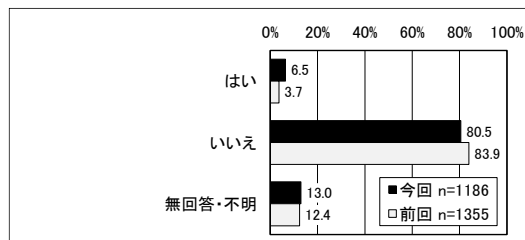
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	926	78.1	975	72.0
2 いいえ	219	18.5	321	23.7
無回答・不明	41	3.5	59	4.4
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【B. 利用したことがある】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

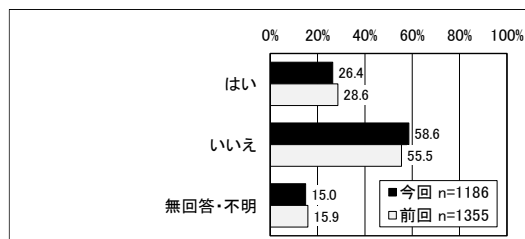
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	77	6.5	50	3.7
2 いいえ	955	80.5	1137	83.9
無回答・不明	154	13.0	168	12.4
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【C. 今後利用したい】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	313	26.4	387	28.6
2 いいえ	695	58.6	752	55.5
無回答・不明	178	15.0	216	15.9
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

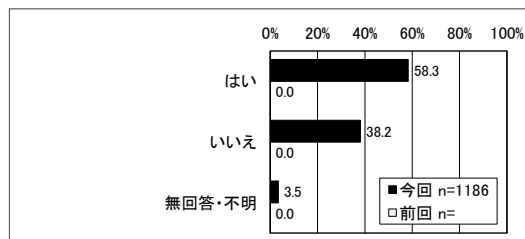


⑦ 子ども食堂

【A. 知っている】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

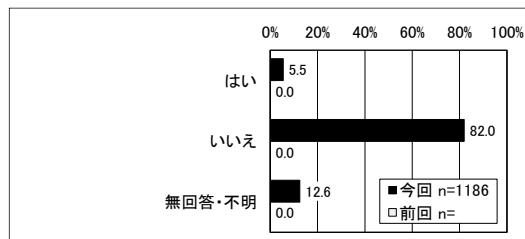
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	692	58.3		
2 いいえ	453	38.2		
無回答・不明	41	3.5		
回答者数合計	1186	100.0		



【B. 利用したことがある】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

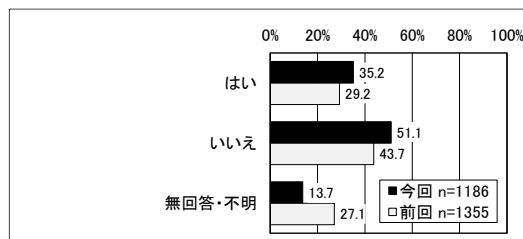
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 はい	65	5.5		
2 いいえ	972	82.0		
無回答・不明	149	12.6		
回答者数合計	1186	100.0		



【C. 今後利用したい】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢		今回		前回	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	はい	417	35.2	396	29.2
2	いいえ	606	51.1	592	43.7
	無回答・不明	163	13.7	367	27.1
	回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

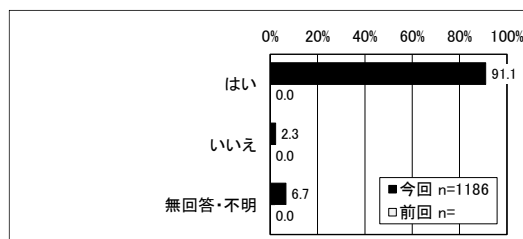


⑧ 子育て支援センター

【A. 知っている】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

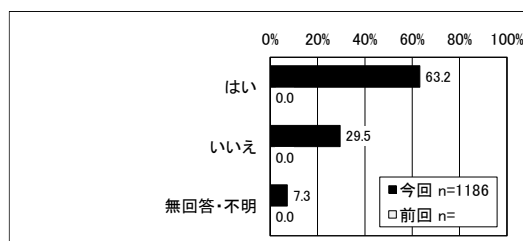
選択肢		今回		前回	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	はい	1080	91.1		
2	いいえ	27	2.3		
	無回答・不明	79	6.7		
	回答者数合計	1186	100.0		



【B. 利用したことがある】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

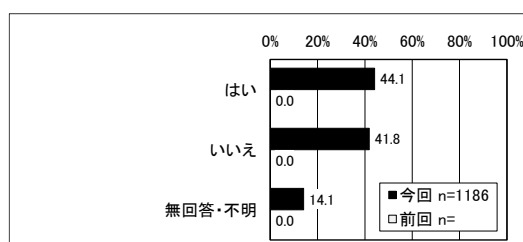
選択肢		今回		前回	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	はい	750	63.2		
2	いいえ	350	29.5		
	無回答・不明	86	7.3		
	回答者数合計	1186	100.0		



【C. 今後利用したい】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢		今回		前回	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	はい	523	44.1		
2	いいえ	496	41.8		
	無回答・不明	167	14.1		
	回答者数合計	1186	100.0		

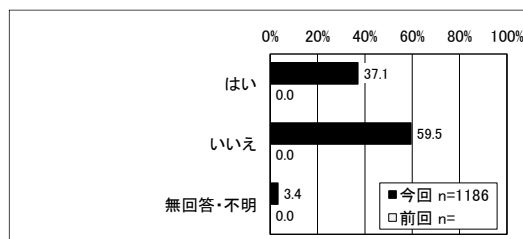


⑨ 岩手県教育相談窓口

【A. 知っている】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

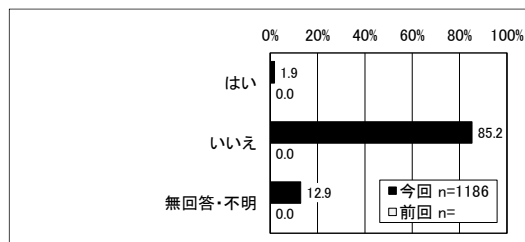
選択肢		今回		前回	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	はい	440	37.1		
2	いいえ	706	59.5		
	無回答・不明	40	3.4		
	回答者数合計	1186	100.0		



【B. 利用したことがある】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

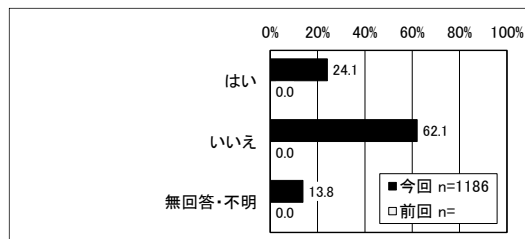
選択肢		今回		前回	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	はい	22	1.9		
2	いいえ	1011	85.2		
	無回答・不明	153	12.9		
	回答者数合計	1186	100.0		



【C. 今後利用したい】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢		今回		前回	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	はい	286	24.1		
2	いいえ	736	62.1		
	無回答・不明	164	13.8		
	回答者数合計	1186	100.0		



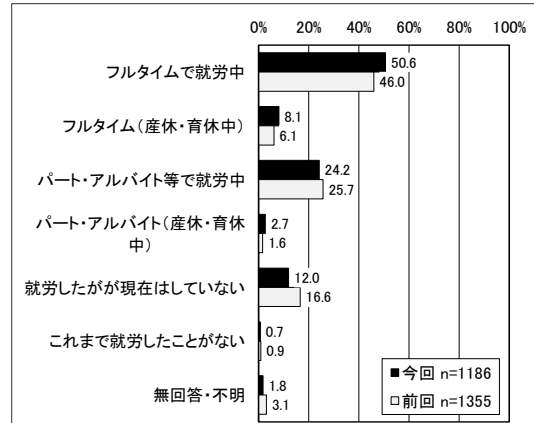
Ⅲ 保護者の就労状況

1. 就労状況(母親)

問10 母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、1つを選択してください。

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 フルタイムで就労中	600	50.6	623	46.0
2 フルタイム(産休・育休中)	96	8.1	83	6.1
3 パート・アルバイト等で就労中	287	24.2	348	25.7
4 パート・アルバイト(産休・育休中)	32	2.7	22	1.6
5 就労したが現在はしていない	142	12.0	225	16.6
6 これまで就労したことがない	8	0.7	12	0.9
無回答・不明	21	1.8	42	3.1
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



「フルタイムで就労中」が50.6%で最も高く、「パート・アルバイト等で就労中」(24.2%)が続く。前回と比較し、「フルタイムで就労中」「フルタイム(産休・育休中)」が若干上昇している。

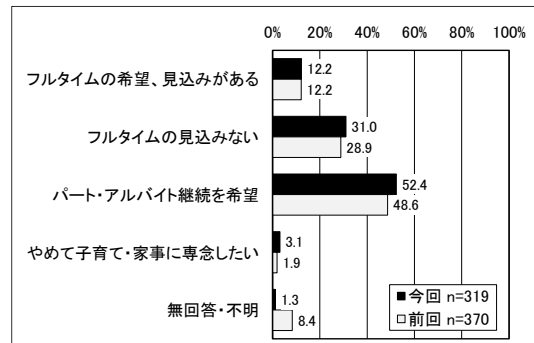
2. フルタイムへの転換希望(母親)

問10で「3.」か「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に回答した方にお聞きます。

問11 母親のフルタイムへの転換希望はありますか。(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 フルタイムの希望、見込みがある	39	12.2	45	12.2
2 フルタイムの見込みない	99	31.0	107	28.9
3 パート・アルバイト継続を希望	167	52.4	180	48.6
4 やめて子育て・家事に専念したい	10	3.1	7	1.9
無回答・不明	4	1.3	31	8.4
回答者数合計	319	100.0	370	100.0



「パート・アルバイト継続を希望」が52.4%で最も高く、「フルタイムの見込みない」(31.0%)が続く。前回と比較しほとんど変化はない。

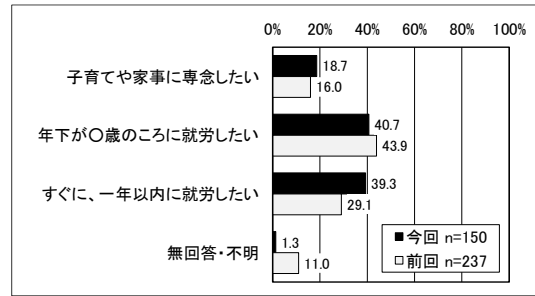
3. 就労希望(母親)

問10で「5. これまでに就労したことはあるが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に回答した方にお聞きます。

問12 母親は就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに□をつけ、□内に数字をご記入ください。(数字は一桁に一字)

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 子育てや家事に専念したい	28	18.7	38	16.0
2 年下が○歳のころに就労したい	61	40.7	104	43.9
3 すぐに、一年以内に就労したい	59	39.3	69	29.1
無回答・不明	2	1.3	26	11.0
回答者数合計	150	100.0	237	100.0

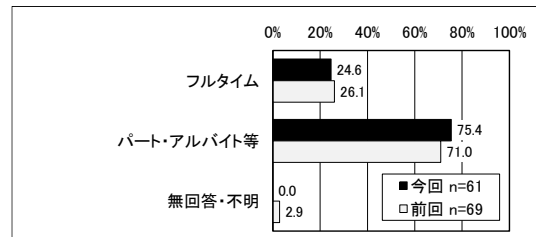


「年下が○歳のころに就労したい」が40.7%で最も高く、「すぐに、一年以内に就労したい」(39.3%)がほぼ同値で続く。前回と比較し、「すぐに、一年以内に就労したい」が上昇している。

4. 希望する就労形態(母親)

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 フルタイム	15	24.6	18	26.1
2 パート・アルバイト等	46	75.4	49	71.0
無回答・不明	0	0.0	2	2.9
回答者数合計	61	100.0	69	100.0



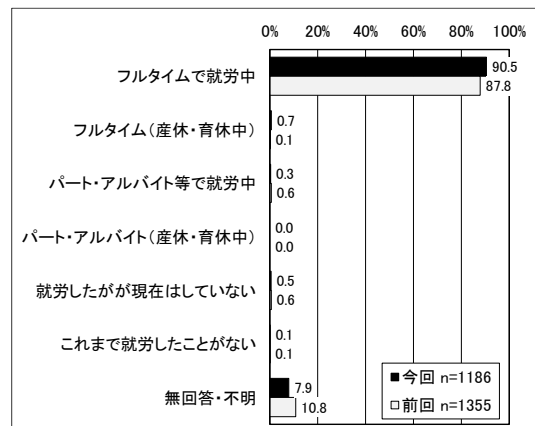
「パート・アルバイト等」が75.4%を占める。前回と比較しほぼ変化はない。「

5. 就労状況(父親)

問13 父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、1つを選択してください。

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 フルタイムで就労中	1073	90.5	1190	87.8
2 フルタイム(産休・育休中)	8	0.7	2	0.1
3 パート・アルバイト等で就労中	4	0.3	8	0.6
4 パート・アルバイト(産休・育休中)	0	0.0	0	0.0
5 就労したが現在はしていない	6	0.5	8	0.6
6 これまで就労したことがない	1	0.1	1	0.1
無回答・不明	94	7.9	146	10.8
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



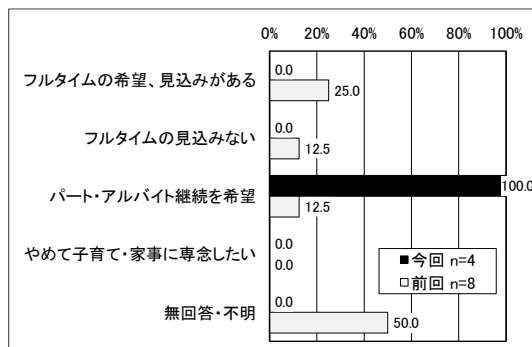
「フルタイムで就労中」が90.5%を占める。その他の回答はわずかである。前回と比較しほとんど変化はない。

6. フルタイムへの転換希望(父親)

問13で「3.」か「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に回答した方にお聞きます。
問14 父親のフルタイムへの転換希望はありますか。(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 フルタイムの希望、見込みがある	0	0.0	2	25.0
2 フルタイムの見込みない	0	0.0	1	12.5
3 パート・アルバイト継続を希望	4	100.0	1	12.5
4 やめて子育て・家事に専念したい	0	0.0	0	0.0
無回答・不明	0	0.0	4	50.0
回答者数合計	4	100.0	8	100.0



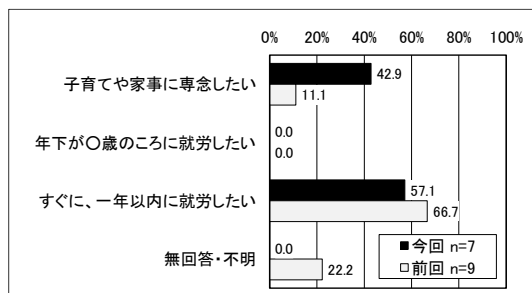
回答者は4人で、全員が「パート・アルバイト継続を希望」と回答している。

7. 就労希望(父親)

問13で「5. これまでに就労したことはあるが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に回答した方にお聞きます。
問15 父親は就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つにレ点をつけ、□内に数字をご記入ください。(数字は一枠に一字)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 子育てや家事に専念したい	3	42.9	1	11.1
2 年下が〇歳のころに就労したい	0	0.0	0	0.0
3 すぐに、一年以内に就労したい	4	57.1	6	66.7
無回答・不明	0	0.0	2	22.2
回答者数合計	7	100.0	9	100.0

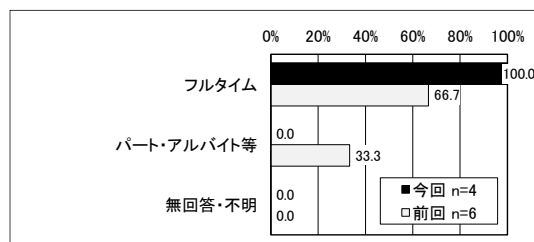


回答者は7人で、4人が「すぐに、一年以内に就労したい」、3人が「子育てや家事に専念したい」と回答している。

8. 希望する就労形態(父親)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 フルタイム	4	100.0	4	66.7
2 パート・アルバイト等	0	0.0	2	33.3
無回答・不明	0	0.0	0	0.0
回答者数合計	4	100.0	6	100.0



回答者は4人で、全員が「フルタイム」希望と回答している。

Ⅳ 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

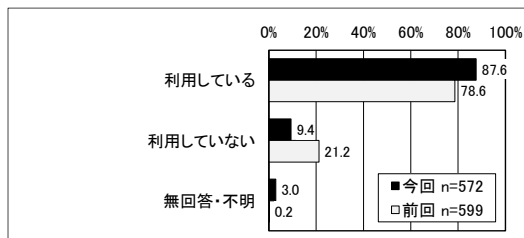
1. 定期的な教育・保育事業の利用状況

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、幼稚園や保育所など月単位で定期的に利用している施設等を指します。具体的には問17に示した事業が含まれます。

問16 対象のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの施設等を定期的に利用されていますか。

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している	501	87.6	471	78.6
2 利用していない	54	9.4	127	21.2
無回答・不明	17	3.0	1	0.2
回答者数合計	572	100.0	599	100.0



「利用している」が87.6%を占める。前回と比較し、「利用している」は上昇している。

2. 利用している定期的な教育・保育事業

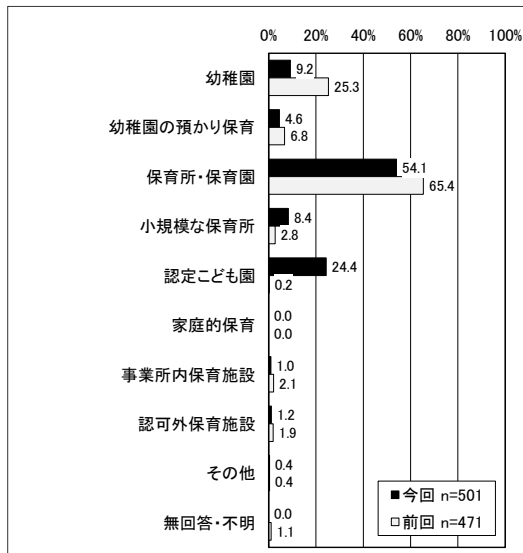
問16で「1. 利用している」に回答した方にお聞きます

問17 対象のお子さんは、平日どのような施設等を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している施設等をお答えください。(いくつでも)

また、回答した施設等について、現在の利用状況と、希望としてはどのくらい利用したいか(1週間当たりの日数、1日当たりの利用時間数と利用時間帯(24時間制(例)09時～18時)をお答えください。 内に数字をご記入ください。(数字は一桁に一字)

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 幼稚園	46	9.2	119	25.3
2 幼稚園の預かり保育	23	4.6	32	6.8
3 保育所・保育園	271	54.1	308	65.4
4 小規模な保育所	42	8.4	13	2.8
5 認定こども園	122	24.4	1	0.2
6 家庭的保育	0	0.0	0	0.0
7 事業所内保育施設	5	1.0	10	2.1
8 認可外保育施設	6	1.2	9	1.9
9 その他	2	0.4	2	0.4
無回答・不明	0	0.0	5	1.1
回答数合計	517	103.2	499	105.9
回答者数合計	501	100.0	471	100.0



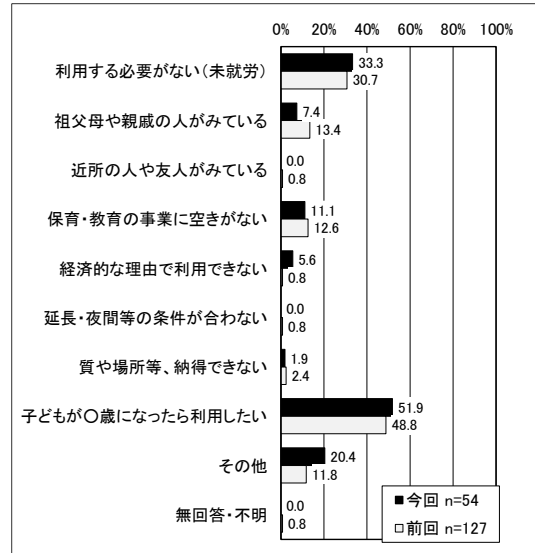
「保育所・保育園」が54.1%で最も高く、「認定こども園」(24.4%)、「幼稚園」(9.2%)と続く。前回と比較し、「認定こども園」が大幅に上昇している。

3. 定期的な教育・保育事業の未利用理由

問16で「2. 利用していない」に回答した方にお聞きます。
問18 利用していない理由は何ですか。(いくつでも)
また、「8. 子どもがまだ小さいため」を選んだ場合は、 内にお子さんの年齢の数字をご記入下さい。(数字は一桁に一字)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用する必要がある(未就労)	18	33.3	39	30.7
2 祖父母や親戚の人がみている	4	7.4	17	13.4
3 近所の人や友人がみている	0	0.0	1	0.8
4 保育・教育の事業に空きがない	6	11.1	16	12.6
5 経済的な理由で利用できない	3	5.6	1	0.8
6 延長・夜間等の条件が合わない	0	0.0	1	0.8
7 質や場所等、納得できない	1	1.9	3	2.4
8 子どもが○歳になったら利用したい	28	51.9	62	48.8
9 その他	11	20.4	15	11.8
無回答・不明	0	0.0	1	0.8
回答数合計	71	131.5	156	122.8
回答者数合計	54	100.0	127	100.0



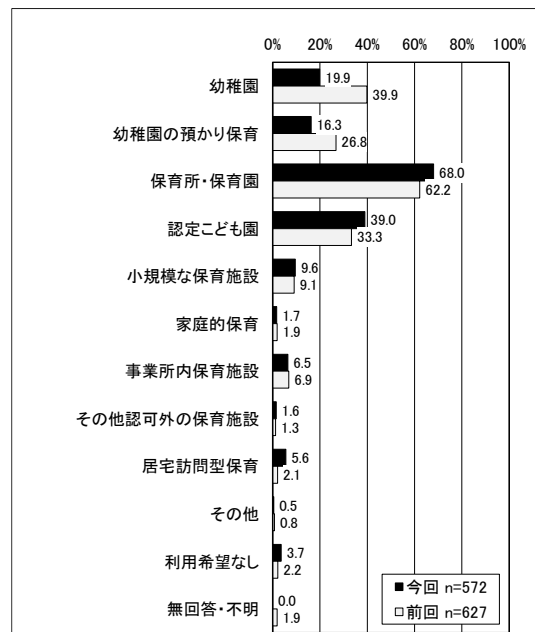
「子どもが○歳になったら利用したい」が51.9%で最も高く、「利用する必要がある(未就労)」(33.3%)、「保育・教育の事業に空きがない」(11.1%)と続く。前回と比較し、「祖父母や親戚の人がみている」が低下している。

4. 定期的な教育・保育事業の利用意向

問19 現在、利用している、利用していないにかかわらず、対象のお子さんが「定期的に」利用したいと考える施設等をお答えください。(いくつでも)なお、これらの施設等の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 幼稚園	114	19.9	250	39.9
2 幼稚園の預かり保育	93	16.3	168	26.8
3 保育所・保育園	389	68.0	390	62.2
4 認定こども園	223	39.0	209	33.3
5 小規模な保育施設	55	9.6	57	9.1
6 家庭的保育	10	1.7	12	1.9
7 事業所内保育施設	37	6.5	43	6.9
8 その他認可外の保育施設	9	1.6	8	1.3
9 居宅訪問型保育	32	5.6	13	2.1
10 その他	3	0.5	5	0.8
11 利用希望なし	21	3.7	14	2.2
無回答・不明	0	0.0	12	1.9
回答数合計	986	172.4	1181	188.4
回答者数合計	572	100.0	627	100.0



「保育所・保育園」が68.0%で最も高く、「認定こども園」（39.0%）、「幼稚園」（11.4%）と続く。前回と比較し、「認定こども園」「保育所・保育園」が上昇し、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」が大きく低下している。

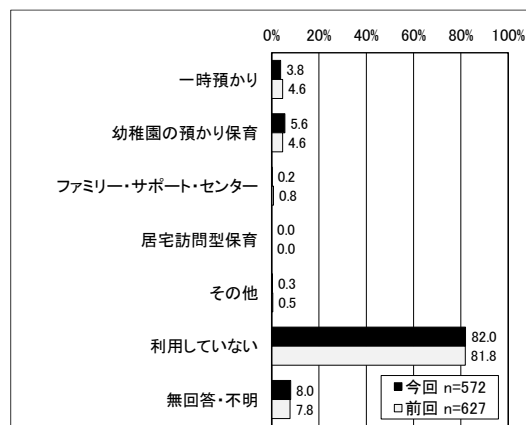
V 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

1. 不定期の教育・保育事業の利用状況

問20 対象のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに口をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を 内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 一時預かり	22	3.8	29	4.6
2 幼稚園の預かり保育	32	5.6	29	4.6
3 ファミリー・サポート・センター	1	0.2	5	0.8
4 居宅訪問型保育	0	0.0	0	0.0
5 その他	2	0.3	3	0.5
6 利用していない	469	82.0	513	81.8
無回答・不明	46	8.0	49	7.8
回答者数合計	572	100.0	628	100.2
回答者数合計	572	100.0	627	100.0



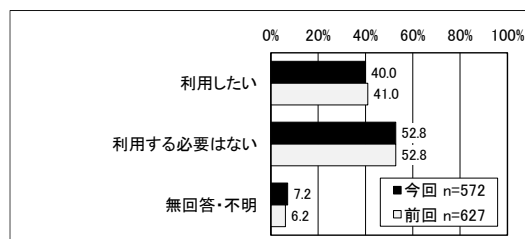
「利用していない」が82.0%を占め、その他はわずかである。前回と比較しほとんど変化はない。

2. 不定期の教育・保育事業の利用日数

問21 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてお答えください。「1. 利用したい」を選択した場合、ア～エのうち当てはまる記号すべてに口をつけ、必要な日数をご記入ください。利用したい日数の合計と、ア～エのそれぞれの日数を 内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字） なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用したい	229	40.0	257	41.0
2 利用する必要はない	302	52.8	331	52.8
無回答・不明	41	7.2	39	6.2
回答者数合計	572	100.0	627	100.0

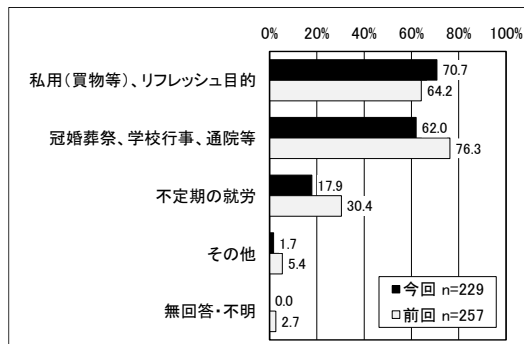


「利用する必要はない」が52.8%で半数以上を占め、「利用したい」は40.0%となっている。前回と比較しほとんど変化はない。

4. 利用意向理由

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 私用(買物等)、リフレッシュ目的	162	70.7	165	64.2
2 冠婚葬祭、学校行事、通院等	142	62.0	196	76.3
3 不特定の就労	41	17.9	78	30.4
4 その他	4	1.7	14	5.4
無回答・不明	0	0.0	7	2.7
回答者数合計	229	100.0	257	100.0



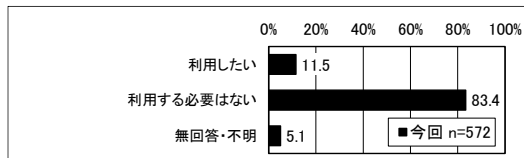
「利用したい」と回答した人の利用意向理由は、「私用(買物等)、リフレッシュ目的」が70.7%で最も高く、「冠婚葬祭、学校行事、通院等」(62.0%)が続く。前回と比較し、「私用(買物等)、リフレッシュ」が上昇し、「冠婚葬祭、学校行事、通院等」「不特定の就労」が低下している。

5. 泊りがけで子どもを見てもらう利用意向

問22 対象のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ。児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業。)の利用希望の有無についてお答えください。「1. 利用したい」を選択した場合、ア～エのうち当てはまる記号すべてに□をつけ、必要な日数をご記入ください。利用したい日数の合計と、ア～エのそれぞれの日数を 内に数字でご記入ください。(数字は一桁に一字)なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用したい	66	11.5		
2 利用する必要はない	477	83.4		
無回答・不明	29	5.1		
回答者数合計	572	100.0		

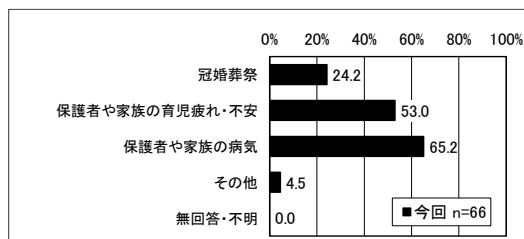


「利用する必要はない」が83.4%を占める。「利用したい」は11.5%になっている。

6. 利用意向理由

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 冠婚葬祭	16	24.2		
2 保護者や家族の育児疲れ・不安	35	53.0		
3 保護者や家族の病気	43	65.2		
4 その他	3	4.5		
無回答・不明	0	0.0		
回答数合計	97	147.0		
回答者数合計	66	100.0		



「利用したい」と回答した人の利用意向理由は、「保護者や家族の病気」が65.2%で最も高く、「保護者や家族の育児疲れ・不安」(53.0%)、「冠婚葬祭」(24.2%)と続く。

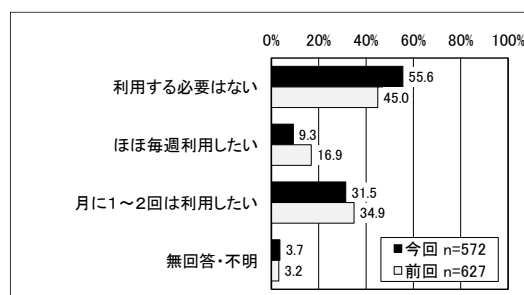
Ⅵ 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

問23 対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業（幼稚園、保育所など施設等）の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（1つのみ）
希望がある場合は、利用したい時間帯（24時間制（例）09時～18時）を 内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字） なおこれらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 土曜日の教育・保育事業の利用希望

単位：回答数（件）、構成比（%）

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用する必要はない	318	55.6	282	45.0
2 ほぼ毎週利用したい	53	9.3	106	16.9
3 月に1～2回は利用したい	180	31.5	219	34.9
無回答・不明	21	3.7	20	3.2
回答者数合計	572	100.0	627	100.0

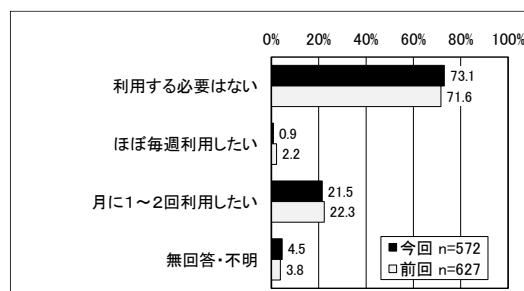


「利用する必要はない」が55.5%で最も高く、「月に1～2回は利用したい」（31.5%）、「ほぼ毎週利用したい」（9.3%）と続く。前回と比較し、「利用する必要はない」が上昇している。

2. 日・祝日の教育・保育事業の利用希望

単位：回答数（件）、構成比（%）

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用する必要はない	418	73.1	449	71.6
2 ほぼ毎週利用したい	5	0.9	14	2.2
3 月に1～2回利用したい	123	21.5	140	22.3
無回答・不明	26	4.5	24	3.8
回答者数合計	572	100.0	627	100.0



「利用する必要はない」が73.1%で最も高く、「月に1～2回利用したい」の21.5%が続く。前回と比較しほとんど変化はない。

3. 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

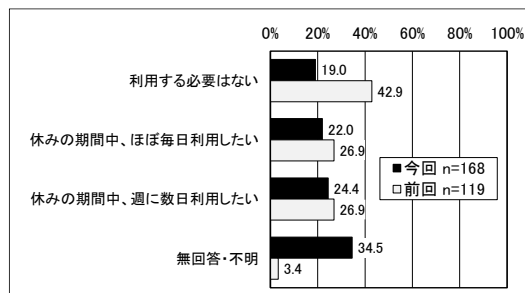
★「幼稚園・認定こども園(幼稚園部門のみ)」を利用されている方にお聞きます。

問24 対象のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の幼稚園や認定こども園の利用を希望しますか。(1つのみ)

希望がある場合は、利用したい時間帯(24時間制(例)09時～18時)を 内に数字でご記入ください。(数字は一桁に一字) なおこれらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用する必要はない	32	19.0	51	42.9
2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	37	22.0	32	26.9
3 休みの期間中、週に数日利用したい	41	24.4	32	26.9
無回答・不明	58	34.5	4	3.4
回答者数合計	168	100.0	119	100.0



「休みの期間中、週に数日利用したい」が22.4%で最も高く、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(22.0%)、「利用する必要はない」(19.0%)と続く。前回と比較し「利用する必要はない」が大幅に低下し、「無回答」が大幅に上昇している。

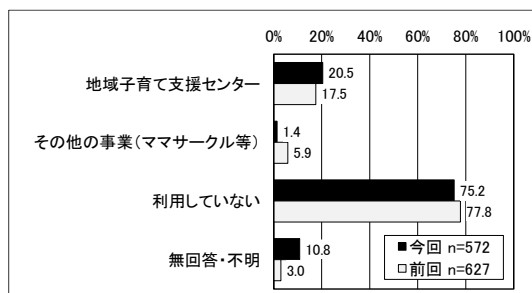
Ⅶ 地域の子育て支援事業の利用状況

1. 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問25 現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（いくつでも）
また、おおよその利用回数（頻度）を 内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

単位：回答数（件）、構成比（%）

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 地域子育て支援センター	117	20.5	110	17.5
2 その他の事業（ママサークル等）	8	1.4	37	5.9
3 利用していない	430	75.2	488	77.8
無回答・不明	62	10.8	19	3.0
回答数合計	617	107.9	654	104.3
回答者数合計	572	100.0	627	100.0



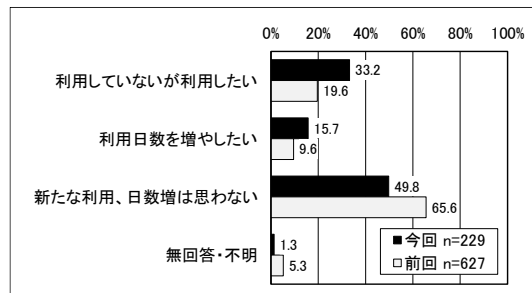
「利用していない」が75.2%を占め、「地域子育て支援センター」（20.5%）、「その他の事業（ママサークル等）」（1.4%）となっています。前回と比較しほとんど変化はない。

2. 地域子育て支援事業の利用意向

問26 問25のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（1つのみ）
おおよその利用回数（頻度）を 内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字） なおこれらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

単位：回答数（件）、構成比（%）

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用していないが利用したい	76	33.2	123	19.6
2 利用日数を増やしたい	36	15.7	60	9.6
3 新たな利用、日数増は思わない	114	49.8	411	65.6
無回答・不明	3	1.3	33	5.3
回答者数合計	229	100.0	627	100.0



「新たな利用、日数増は思わない」が49.8%で最も高く、「利用していないが利用したい」（33.2%）、「利用日数を増やしたい」（15.7%）と続く。前回と比較し「利用していないが利用したい」「利用日数を増やしたい」ともに上昇している。

VIII 病気の際の対応

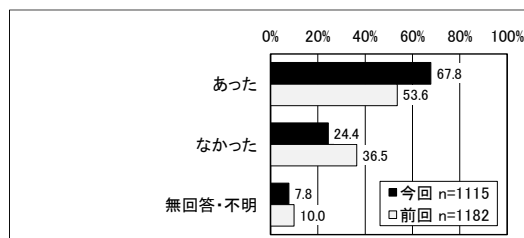
1. 病気やケガでの欠席状況

問16で「1. 利用している」に回答した方（幼稚園や保育園などの施設の事業を定期的に利用している方）と小学生の保護者にお聞きます。

問27 この1年間に、対象のお子さんが病気やケガで通常の事業の利用や小学校に通えなかったことはありますか。（1つのみ）

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 あった	756	67.8	633	53.6
2 なかった	272	24.4	431	36.5
無回答・不明	87	7.8	118	10.0
回答者数合計	1115	100.0	1182	100.0



「あった」が67.8%を占める。前回と比較し「あった」が上昇している。

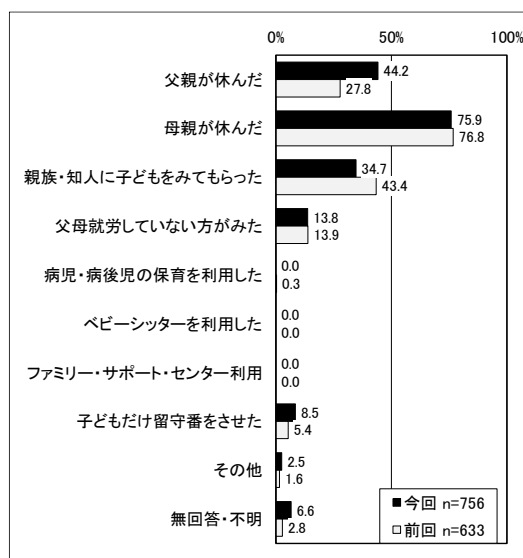
2. 欠席時の対処法

問27で「1. あった」に回答した方にお聞きます。

問28 対象のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業の利用や小学校に通えなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに口をつけ、それぞれの日数も 内に数字でご記入ください。数時間程度の対応の場合も1日とカウントしてください。（数字は一桁に一字）

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 父親が休んだ	334	44.2	176	27.8
2 母親が休んだ	574	75.9	486	76.8
3 親族・知人に子どもをみてもらった	262	34.7	275	43.4
4 父母就労していない方がみた	104	13.8	88	13.9
5 病児・病後児の保育を利用した	0	0.0	2	0.3
6 ベビーシッターを利用した	0	0.0	0	0.0
7 ファミリー・サポート・センター利用	0	0.0	0	0.0
8 子どもだけ留守番をさせた	64	8.5	34	5.4
9 その他	19	2.5	10	1.6
無回答・不明	50	6.6	18	2.8
回答数合計	1407	186.1	1089	172.0
回答者数合計	756	100.0	633	100.0



「母親が休んだ」が75.9%と最も高く、「父親が休んだ」（44.2%）、「親族・知人に子どもをみてもらった」（34.7%）と続く。前回と比較し、「父親が休んだ」が大幅に上昇している。

3. 病後児保育の利用意向

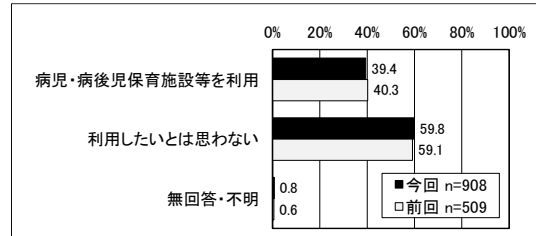
問28で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にお聞きます。

問29 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(1つのみ)

内に日数を数字でご記入ください。(数字は一桁に一字) なお病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 病児・病後児保育施設等を利用	358	39.4	205	40.3
2 利用したいとは思わない	543	59.8	301	59.1
無回答・不明	7	0.8	3	0.6
回答者数合計	908	100.0	509	100.0



「利用したいとは思わない」が59.8%を占める。前回と比較しほとんど変化はない。

Ⅸ 小学校就学後の放課後の過ごし方

1. 放課後の過ごし方(小学校低学年)

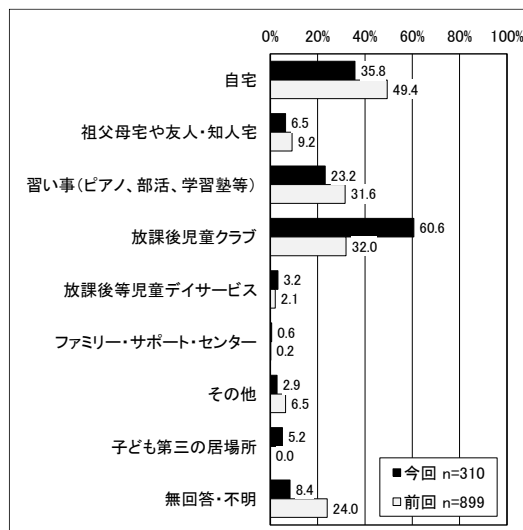
★小学校3年生以下のお子さんがある保護者に、放課後の過ごし方をお聞きます。

問30 対象のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(いくつでも)

それぞれ希望する日数を 内に数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も 内に数字でご記入ください。時間は必ず24時間制((例)09時～18時)でご記入ください。(数字は一桁に一字)

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 自宅	111	35.8	444	49.4
2 祖父母宅や友人・知人宅	20	6.5	83	9.2
3 習い事(ピアノ、部活、学習塾等)	72	23.2	284	31.6
4 放課後児童クラブ	188	60.6	288	32.0
5 放課後等児童デイサービス	10	3.2	19	2.1
6 ファミリー・サポート・センター	2	0.6	2	0.2
7 その他	9	2.9	58	6.5
8 子ども第三の居場所	16	5.2	0	0.0
無回答・不明	26	8.4	216	24.0
回答数合計	454	146.5	1394	155.1
回答者数合計	310	100.0	899	100.0



「放課後児童クラブ」が60.6%で最も高く、「自宅」(35.8%)、「習い事(ピアノ、部活、学習塾等)」(23.2%)と続く。前回と比較し「放課後児童クラブ」が大幅に上昇している。

2. 放課後の過ごし方(小学校高学年)

★小学生のお子さんがある全ての保護者に、放課後の過ごし方をお聞きます。

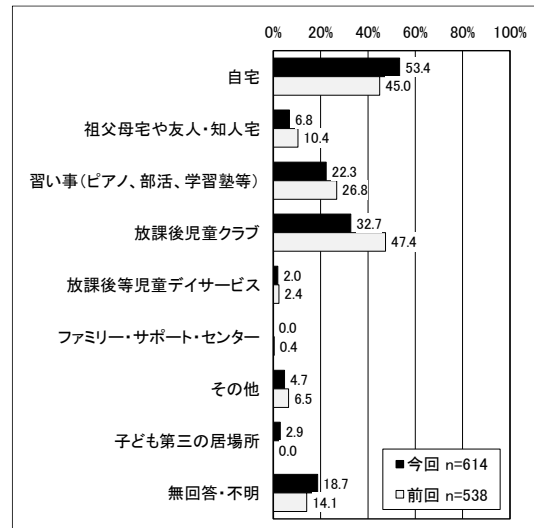
問31 対象のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)で、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(いくつでも)

それぞれの日数を 内に数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も 内に数字でご記入ください。時間は必ず24時間制((例)09時～18時)でご記入ください。(数字は一桁に一字)

※だいたい先になる方もいますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 自宅	328	53.4	242	45.0
2 祖父母宅や友人・知人宅	42	6.8	56	10.4
3 習い事(ピアノ、部活、学習塾等)	137	22.3	144	26.8
4 放課後児童クラブ	201	32.7	255	47.4
5 放課後等児童デイサービス	12	2.0	13	2.4
6 ファミリー・サポート・センター	0	0.0	2	0.4
7 その他	29	4.7	35	6.5
8 子ども第三の居場所	18	2.9	0	0.0
無回答・不明	115	18.7	76	14.1
回答数合計	882	143.6	823	153.0
回答者数合計	614	100.0	538	100.0



「自宅」が53.4%で最も高く、「放課後児童クラブ」(32.7%)、「習い事(ピアノ、部活、学習塾等)」(22.3%)と続く。前回と比較し、「自宅」が上昇している。

3. 土日祝の放課後児童クラブの利用意向

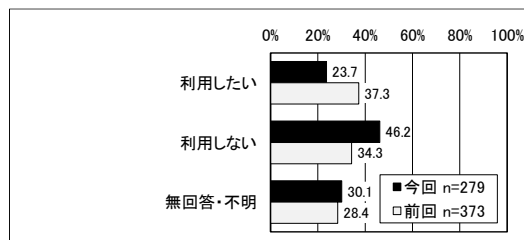
問30または問31で「4. 放課後児童クラブ(学童保育所)」に回答した方にお聞きます。
 問32 対象のお子さんについて、平日以外の土曜日や日曜・祝日、夏休み等の長期休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)は小学3年生以下の保護者の方、(2)はすべての保護者の方がそれぞれ1つを選択してください。

(1) 土曜日の利用意向

【土曜日/低学年】

単位:回答数(件),構成比(%)

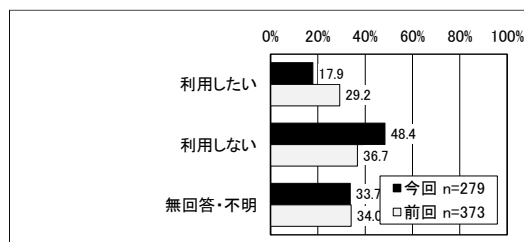
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用したい	66	23.7	139	37.3
2 利用しない	129	46.2	128	34.3
無回答・不明	84	30.1	106	28.4
回答者数合計	279	100.0	373	100.0



【土曜日/高学年】

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用したい	50	17.9	109	29.2
2 利用しない	135	48.4	137	36.7
無回答・不明	94	33.7	127	34.0
回答者数合計	279	100.0	373	100.0



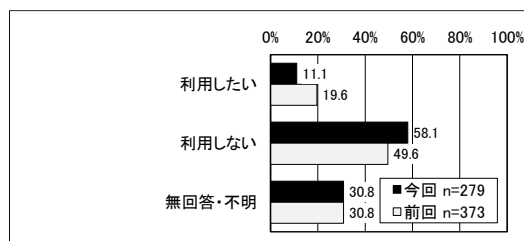
「利用したい」との回答は、「低学年」が23.7%、「高学年」が17.9%になっている。前回と比較しともに低下している。

(2) 日曜日・祝日の利用意向

【日・祝日/低学年】

単位:回答数(件),構成比(%)

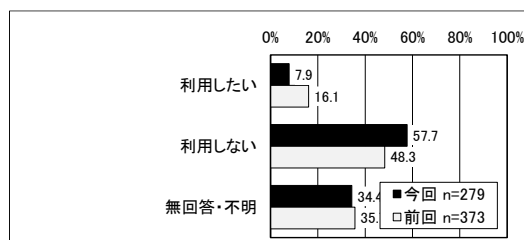
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用したい	31	11.1	73	19.6
2 利用しない	162	58.1	185	49.6
無回答・不明	86	30.8	115	30.8
回答者数合計	279	100.0	373	100.0



【日・祝日/高学年】

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用したい	22	7.9	60	16.1
2 利用しない	161	57.7	180	48.3
無回答・不明	96	34.4	133	35.7
回答者数合計	279	100.0	373	100.0



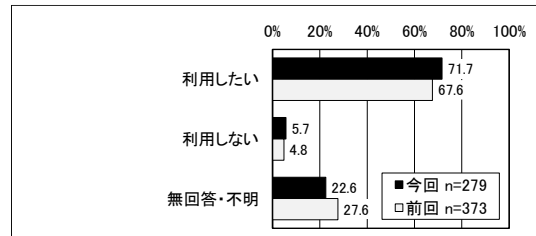
「利用したい」との回答は、「低学年」が11.1%、「高学年」が7.9%になっている。前回と比較しともに低下している。

(3) 長期休暇

【長期休暇/低学年】

単位:回答数(件),構成比(%)

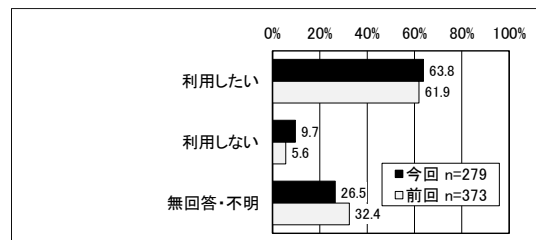
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用したい	200	71.7	252	67.6
2 利用しない	16	5.7	18	4.8
無回答・不明	63	22.6	103	27.6
回答者数合計	279	100.0	373	100.0



【長期休暇/高学年】

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用したい	178	63.8	231	61.9
2 利用しない	27	9.7	21	5.6
無回答・不明	74	26.5	121	32.4
回答者数合計	279	100.0	373	100.0



「利用したい」との回答は、「低学年」が71.1%、「高学年」が63.8%になっている。土曜日、日曜日・祝日と比較し、「利用したい」は大幅に高い回答率を示す。また、前回と比較しほとんど変化はない。

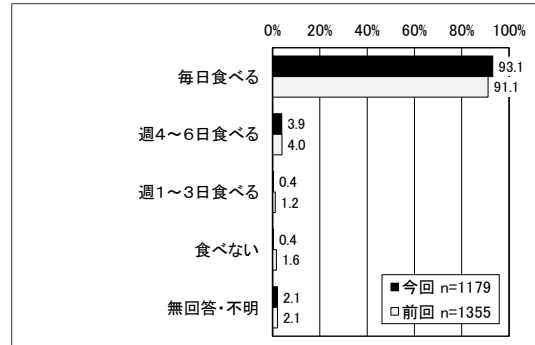
X お子さんの普段の食事や生活の様子

★お子さんの普段の食事の状況についてお聞きます。食事の仕方が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

1. 朝食の状況

問33 お子さんの朝食の状況について、1つを選択してください。

単位：回答数(件)、構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 毎日食べる	1098	93.1	1235	91.1
2 週4～6日食べる	46	3.9	54	4.0
3 週1～3日食べる	5	0.4	16	1.2
4 食べない	5	0.4	22	1.6
無回答・不明	25	2.1	28	2.1
回答者数合計	1179	100.0	1355	100.0



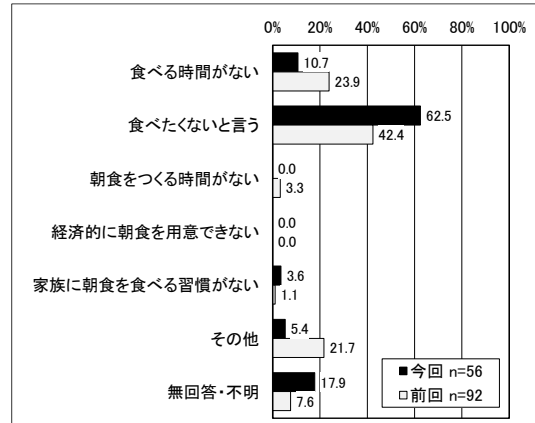
「毎日食べる」が93.1%を占め、その他はわずかである。前回と比較しほとんど変化はない。

2. 欠食理由

問33で「1. 毎日食べる」と回答した方以外にお聞きます。

問34 お子さんが朝食を食べない時の理由について、1つを選択してください。

単位：回答数(件)、構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 食べる時間がない	6	10.7	22	23.9
2 食べたくないと言う	35	62.5	39	42.4
3 朝食をつくる時間がない	0	0.0	3	3.3
4 経済的に朝食を用意できない	0	0.0	0	0.0
5 家族に朝食を食べる習慣がない	2	3.6	1	1.1
6 その他	3	5.4	20	21.7
無回答・不明	10	17.9	7	7.6
回答者数合計	56	100.0	92	100.0

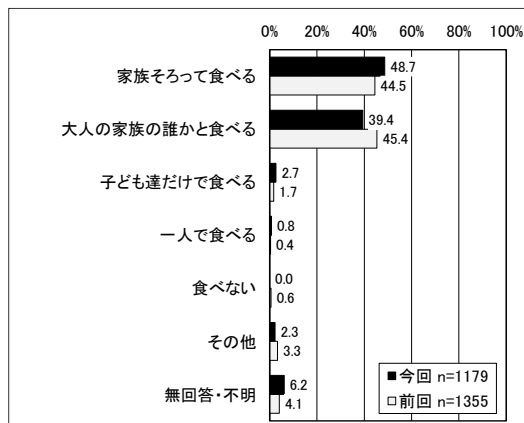


「食べたくないと言う」が62.4%を占め、「食べる時間がない」(10.7%)が続く。前回と比較し、「食べたくないと言う」が大幅に上昇している。

3. 夕食の状況

問35 お子さんの夕食の状況について、1つを選択してください。

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 家族そろって食べる	574	48.7	603	44.5
2 大人の家族の誰かと食べる	464	39.4	615	45.4
3 子ども達だけで食べる	32	2.7	23	1.7
4 一人で食べる	9	0.8	5	0.4
5 食べない	0	0.0	8	0.6
6 その他	27	2.3	45	3.3
無回答・不明	73	6.2	56	4.1
回答者数合計	1179	100.0	1355	100.0



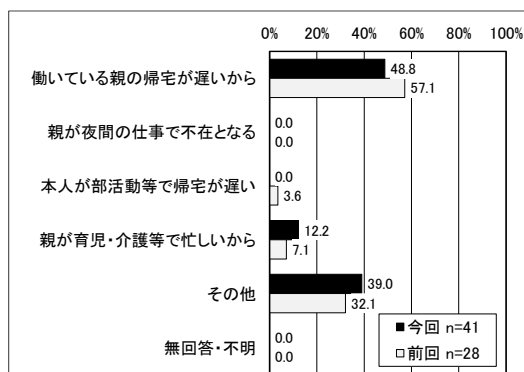
「家族そろって食べる」が48.7%で最も高く、「大人の家族の誰かと食べる」（39.4%）が続く。前回と比較し、「家族そろって食べる」が若干上昇している。

4. 孤食理由

問35で「3. 子ども達だけで食べる」「4. 一人で食べる」と回答した方にお聞きます。

問36 お子さんが夕食を子どもだけで食べるもっとも大きな理由について、1つを選択してください。

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 働いている親の帰宅が遅いから	20	48.8	16	57.1
2 親が夜間の仕事で不在となる	0	0.0	0	0.0
3 本人が部活動等で帰宅が遅い	0	0.0	1	3.6
4 親が育児・介護等で忙しいから	5	12.2	2	7.1
5 その他	16	39.0	9	32.1
無回答・不明	0	0.0	0	0.0
回答者数合計	41	100.0	28	100.0

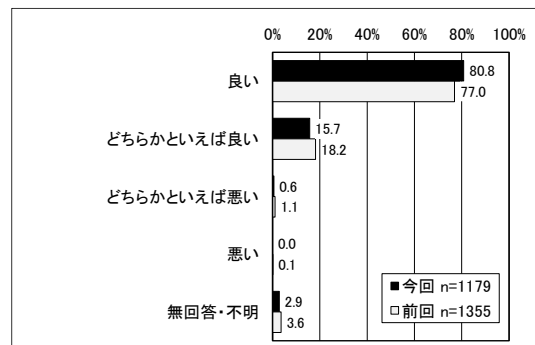


「働いている親の帰宅が遅いから」が48.9%で最も高く、「その他」（39.0%）、「親が育児・介護等で忙しいから」（12.2%）と続く。前回と比較し、「働いている親の帰宅が遅いから」が若干低下している。

5. 健康状態

問37 お子さんの健康状態について、1つを選択してください。

単位: 回答数(件), 構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 良い	953	80.8	1043	77.0
2 どちらかといえば良い	185	15.7	246	18.2
3 どちらかといえば悪い	7	0.6	15	1.1
4 悪い	0	0.0	2	0.1
無回答・不明	34	2.9	49	3.6
回答者数合計	1179	100.0	1355	100.0

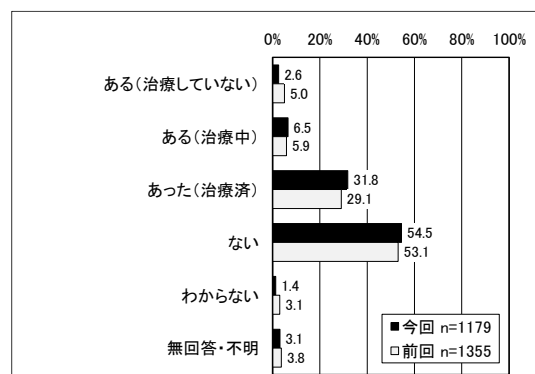


「良い」が80.8%を占める。前回と比較しほとんど変化はない。

6. 虫歯の状況

問38 お子さんの虫歯の状況について、1つを選択してください。

単位: 回答数(件), 構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 ある(治療していない)	31	2.6	68	5.0
2 ある(治療中)	77	6.5	80	5.9
3 あった(治療済)	375	31.8	394	29.1
4 ない	643	54.5	720	53.1
5 わからない	16	1.4	42	3.1
無回答・不明	37	3.1	51	3.8
回答者数合計	1179	100.0	1355	100.0



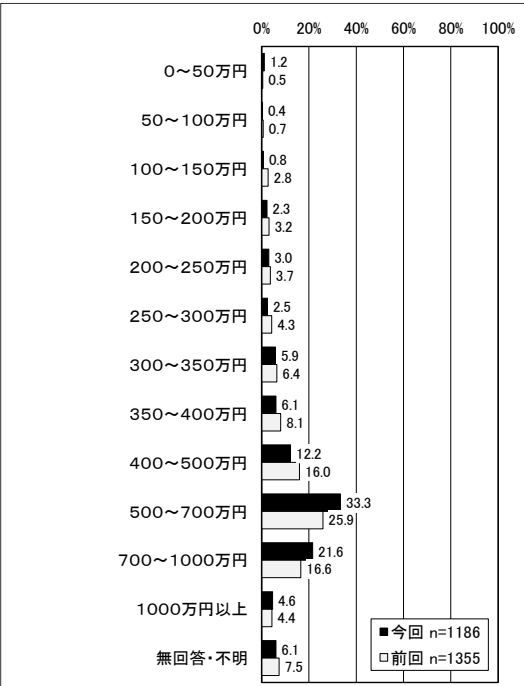
「ない」が54.5%を占め、「あった(治療済)」(31.8%)が続く。前回と比較しほとんど変化はない。

7. 世帯収入

問39 あなたの世帯全体の令和4年の年収(税金・社会保険料の控除前)はいくらですか。(1つのみ)

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 0～50万円	14	1.2	7	0.5
2 50～100万円	5	0.4	9	0.7
3 100～150万円	9	0.8	38	2.8
4 150～200万円	27	2.3	43	3.2
5 200～250万円	36	3.0	50	3.7
6 250～300万円	30	2.5	58	4.3
7 300～350万円	70	5.9	87	6.4
8 350～400万円	72	6.1	110	8.1
9 400～500万円	145	12.2	217	16.0
10 500～700万円	395	33.3	351	25.9
11 700～1000万円	256	21.6	225	16.6
12 1000万円以上	55	4.6	59	4.4
無回答・不明	72	6.1	101	7.5
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



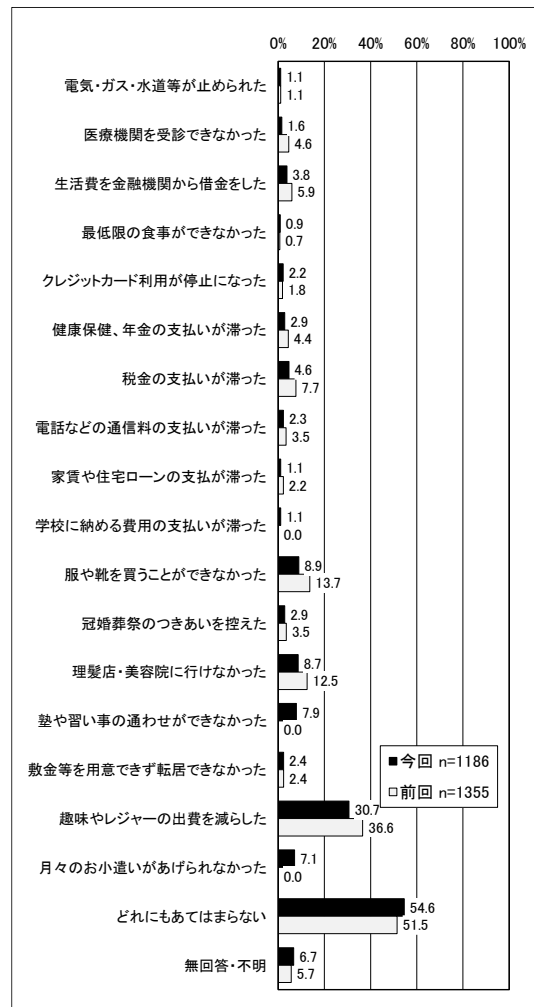
「500～700万円」が33.3で最も高く、「700～1000万円」(21.6%)、「400～500万円」(12.2%)と続く。前回と比較し、「500～700万円」「700～1000万円」が上昇している。

8. 経済的理由での経験

問40 あなたの世帯では、おおむね1年の間に、経済的な理由(お金が足りなくて)で、次のような経験をしたことがありますか。(いくつでも)

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 電気・ガス・水道等が止められた	13	1.1	15	1.1
2 医療機関を受診できなかった	19	1.6	62	4.6
3 生活費を金融機関から借金をした	45	3.8	80	5.9
4 最低限の食事ができなかった	11	0.9	9	0.7
5 クレジットカード利用が停止になった	26	2.2	25	1.8
6 健康保健、年金の支払いが滞った	34	2.9	59	4.4
7 税金の支払いが滞った	55	4.6	104	7.7
8 電話などの通信料の支払いが滞った	27	2.3	47	3.5
9 家賃や住宅ローンの支払いが滞った	13	1.1	30	2.2
10 学校に納める費用の支払いが滞った	13	1.1		
11 服や靴を買うことができなかった	106	8.9	186	13.7
12 冠婚葬祭のつきあいを控えた	34	2.9	48	3.5
13 理髪店・美容院に行けなかった	103	8.7	170	12.5
14 塾や習い事の通わせができなかった	94	7.9		
15 敷金等を用意できず転居できなかった	28	2.4	32	2.4
16 趣味やレジャーの出費を減らした	364	30.7	496	36.6
17 月々のお小遣いがあげられなかった	84	7.1		
18 どれにもあてはまらない	647	54.6	698	51.5
無回答・不明	80	6.7	77	5.7
回答数合計	1796	151.4	2138	157.8
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



「どれにもあてはまらない」が54.6%で最も高い。経験の回答では「趣味やレジャーの出費を減らした」が30.7%で最も高く、「服や靴を買うことができなかった」(8.9%)、「理髪店・美容院に行けなかった」(8.7%)、「塾や習い事の通わせができなかった」(7.9%)、「月々のお小遣いがあげられなかった」(7.1%)と続く。前回と比較すると、「趣味やレジャーの出費を減らした」が若干低下している。

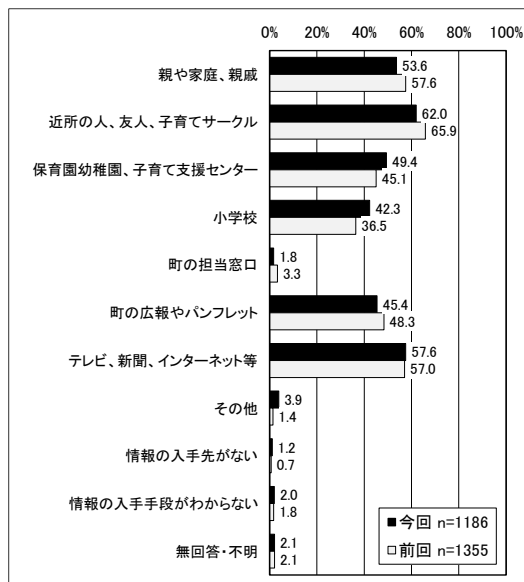
XI 全般的な事柄

1. 情報入手先

問41 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(いくつでも)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 親や家庭、親戚	636	53.6	780	57.6
2 近所の人、友人、子育てサークル	735	62.0	893	65.9
3 保育園幼稚園、子育て支援センター	586	49.4	611	45.1
4 小学校	502	42.3	494	36.5
5 町の担当窓口	21	1.8	45	3.3
6 町の広報やパンフレット	539	45.4	655	48.3
7 テレビ、新聞、インターネット等	683	57.6	773	57.0
8 その他	46	3.9	19	1.4
9 情報の入手先がない	14	1.2	10	0.7
10 情報の入手手段がわからない	24	2.0	24	1.8
無回答・不明	25	2.1	29	2.1
回答数合計	3811	321.3	4333	319.8
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



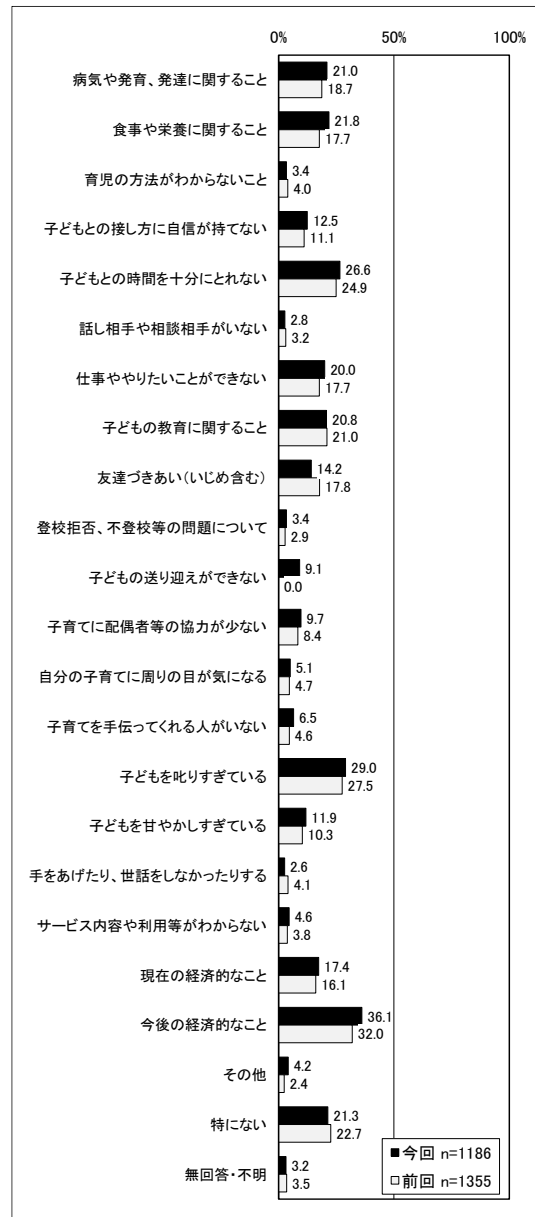
「近所の人、友人、子育てサークル」が62.0%で最も高く、「テレビ、新聞、インターネット等」(57.6%)、「親や家庭、親戚」(53.6%)と続く。前回と比較し、「小学校」が若干上昇している。

2. 悩んでいること

問42 子育てに関して、悩んでいることや困っていること、気になることはありますか。(いくつでも)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 病気や発育、発達に関すること	249	21.0	254	18.7
2 食事や栄養に関すること	259	21.8	240	17.7
3 育児の方法がわからないこと	40	3.4	54	4.0
4 子どもとの接し方に自信が持てない	148	12.5	150	11.1
5 子どもとの時間を十分にとれない	315	26.6	338	24.9
6 話し相手や相談相手がいらない	33	2.8	43	3.2
7 仕事ややりたいことができない	237	20.0	240	17.7
8 子どもの教育に関すること	247	20.8	284	21.0
9 友達づきあい(いじめ含む)	168	14.2	241	17.8
10 登校拒否、不登校等の問題について	40	3.4	39	2.9
11 子どもの送り迎えができない	108	9.1		
12 子育てに配偶者等の協力が少ない	115	9.7	114	8.4
13 自分の子育てに周りの目が気になる	60	5.1	64	4.7
14 子育てを手伝ってくれる人がいない	77	6.5	63	4.6
15 子どもを叱りすぎている	344	29.0	373	27.5
16 子どもを甘やかしすぎている	141	11.9	139	10.3
17 手をあげたり、世話をしなかったりする	31	2.6	56	4.1
18 サービス内容や利用等がわからない	54	4.6	51	3.8
19 現在の経済的なこと	206	17.4	218	16.1
20 今後の経済的なこと	428	36.1	433	32.0
21 その他	50	4.2	33	2.4
22 特にない	253	21.3	307	22.7
無回答・不明	38	3.2	47	3.5
回答数合計	3641	307.0	3781	279.0
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



「今後の経済的なこと」が36.1%で最も高く、「子どもを叱りすぎている」(29.0%)、「子どもとの時間を十分にとれない」(26.6%)、「食事や栄養に関すること」(21.8%)と続く。前回と比較しほとんど変化はない。

3. 公的制度の利用状況と利用意向

問43 あなたは次の公的制度を利用した(または支援を受けた)ことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。①～⑫の事業ごとに、現状、今後についてそれぞれ1つを選択してください。

(1) 公的制度の利用状況(「利用している・利用した」)

事業名	「利用している・利用した」の構成比(%)		前回・ 今回の差
	今回	前回	
① 児童扶養手当	12.5	49.4	-36.9
② 就学援助	4.0	4.6	-0.6
③ 生活保護	0.4	0.5	-0.1
④ 児童相談所	1.3	1.2	+0.1
⑤ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	5.6	2.7	+2.9
⑥ 母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金	0.6	1.1	-0.5
⑦ 学習支援事業	0.3	0.7	-0.4
⑧ 放課後子ども教室(キッズくらぶ)	43.8	35.4	+8.4
⑨ 放課後児童クラブ(学童保育所)	44.0	31.6	+12.4
⑩ ファミリー・サポート・センター	4.3	3.0	+1.3
⑪ 子育て支援センター	50.7		
⑫ 子ども食堂	5.8		

「利用している・利用した」の回答が最も高いのは「⑪ 子育て支援センター」の50.7%で、「⑨ 放課後児童クラブ(学童保育所)」(44.0%)、「⑧ 放課後子ども教室(キッズくらぶ)」(43.8%)と続く。一方、最も低いのは「⑦ 学習支援事業」の0.3%で、「③ 生活保護」(0.4%)、「⑥ 母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金」(0.6%)と続く。前回と比較し、構成比が最も上昇しているのが「⑨ 放課後児童クラブ(学童保育所)」の+12.5ポイントで、「⑧ 放課後子ども教室(キッズくらぶ)」(+8.4ポイント)が続く。一方、最も低下しているのが「① 児童扶養手当」の-36.9ポイントである。

(2) 公的制度の利用意向(「利用(利用継続)を希望する」)

事業名	「利用している・利用した」の構成比(%)		前回・ 今回の差
	今回	前回	
① 児童扶養手当	15.7	52.2	-36.5
② 就学援助	13.1	15.0	-1.9
③ 生活保護	5.8	4.7	+1.1
④ 児童相談所	7.2	8.7	-1.5
⑤ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	15.9	14.1	+1.8
⑥ 母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金	6.9	8.6	-1.7
⑦ 学習支援事業	6.2	8.0	-1.8
⑧ 放課後子ども教室(キッズくらぶ)	48.1	46.6	+1.5
⑨ 放課後児童クラブ(学童保育所)	53.9	47.0	+6.9
⑩ ファミリー・サポート・センター	15.1	19.8	-4.7
⑪ 子育て支援センター	35.3		
⑫ 子ども食堂	26.8		

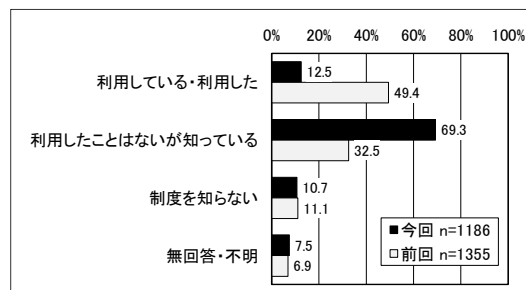
「利用(利用継続)を希望する」の回答が最も高いのは「⑨ 放課後児童クラブ(学童保育所)」の53.9%で、「⑧ 放課後子ども教室(キッズくらぶ)」(48.1%)、「⑪ 子育て支援センター」(35.3%)、「⑫ 子ども食堂」(26.8%)と続く。一方、最も低いのは「③ 生活保護」の5.8%で、「⑦ 学習支援事業」(6.2%)、「⑥ 母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金」(6.9%)と続く。前回と比較し、構成比が最も上昇しているのが「⑨ 放課後児童クラブ(学童保育所)」の+6.9ポイントで、「⑤ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー」(+1.8ポイント)、「⑧ 放課後子ども教室(キッズくらぶ)」(+1.5ポイント)が続く。一方、最も低下しているのが「① 児童扶養手当」の-36.5ポイントである。

① 児童扶養手当

【現状】

単位:回答数(件),構成比(%)

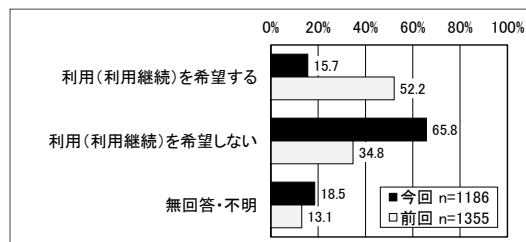
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	148	12.5	669	49.4
2 利用したことはないが知っている	822	69.3	441	32.5
3 制度を知らない	127	10.7	151	11.1
無回答・不明	89	7.5	94	6.9
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【今後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	186	15.7	707	52.2
2 利用(利用継続)を希望しない	780	65.8	471	34.8
無回答・不明	220	18.5	177	13.1
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

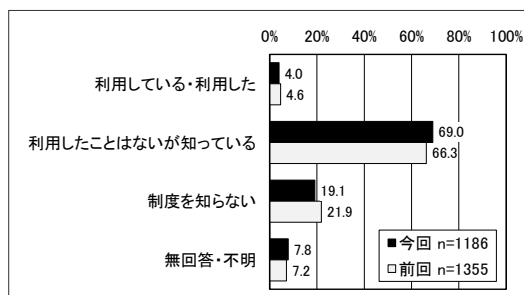


② 就学援助

【現状】

単位：回答数(件),構成比(%)

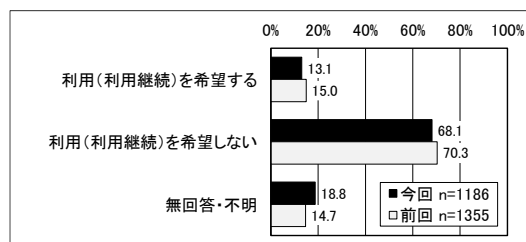
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	48	4.0	63	4.6
2 利用したことはないが知っている	818	69.0	898	66.3
3 制度を知らない	227	19.1	297	21.9
無回答・不明	93	7.8	97	7.2
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【今後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	155	13.1	203	15.0
2 利用(利用継続)を希望しない	808	68.1	953	70.3
無回答・不明	223	18.8	199	14.7
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

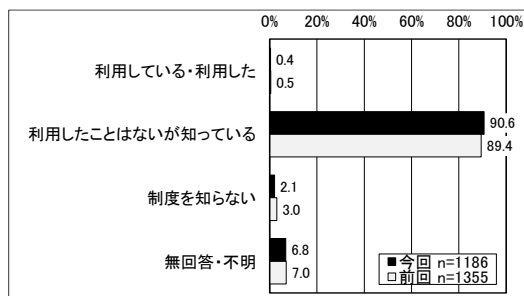


③ 生活保護

【現状】

単位：回答数(件),構成比(%)

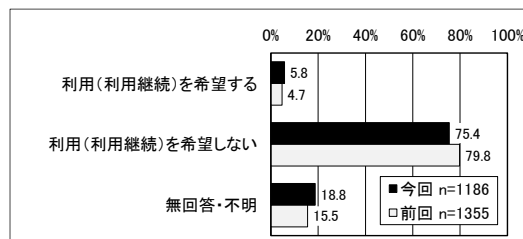
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	5	0.4	7	0.5
2 利用したことはないが知っている	1075	90.6	1212	89.4
3 制度を知らない	25	2.1	41	3.0
無回答・不明	81	6.8	95	7.0
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【今後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	69	5.8	64	4.7
2 利用(利用継続)を希望しない	894	75.4	1081	79.8
無回答・不明	223	18.8	210	15.5
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

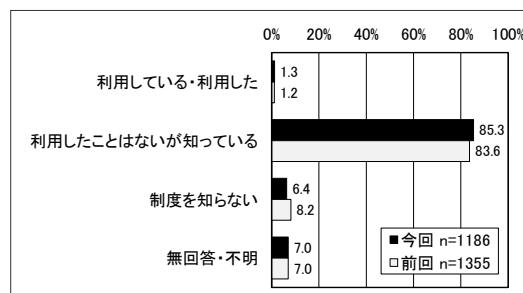


④ 児童相談所

【現状】

単位：回答数(件),構成比(%)

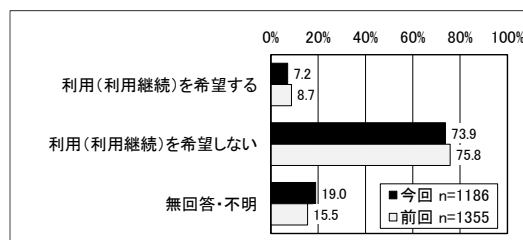
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	15	1.3	16	1.2
2 利用したことはないが知っている	1012	85.3	1133	83.6
3 制度を知らない	76	6.4	111	8.2
無回答・不明	83	7.0	95	7.0
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【今後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	85	7.2	118	8.7
2 利用(利用継続)を希望しない	876	73.9	1027	75.8
無回答・不明	225	19.0	210	15.5
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

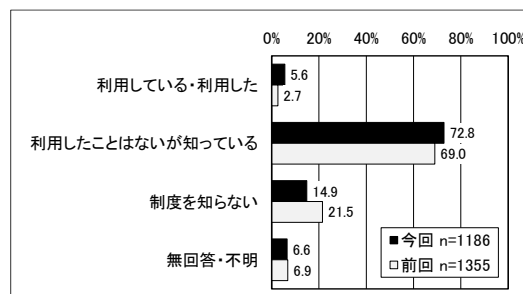


⑤ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー

【現状】

単位：回答数(件),構成比(%)

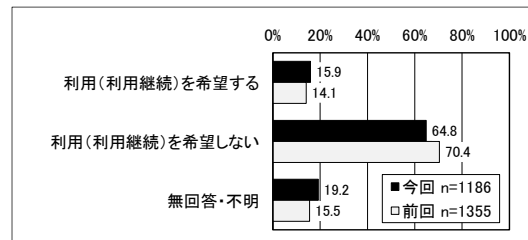
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	67	5.6	36	2.7
2 利用したことはないが知っている	864	72.8	935	69.0
3 制度を知らない	177	14.9	291	21.5
無回答・不明	78	6.6	93	6.9
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【今後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	189	15.9	191	14.1
2 利用(利用継続)を希望しない	769	64.8	954	70.4
無回答・不明	228	19.2	210	15.5
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

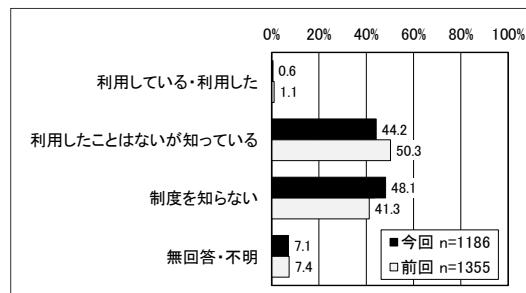


⑥ 母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金

【現状】

単位：回答数(件),構成比(%)

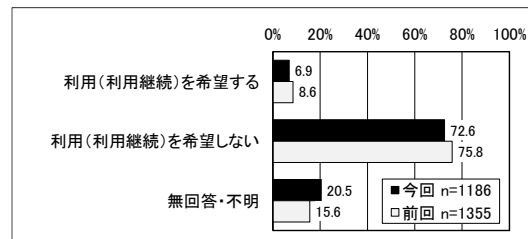
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	7	0.6	15	1.1
2 利用したことはないが知っている	524	44.2	681	50.3
3 制度を知らない	571	48.1	559	41.3
無回答・不明	84	7.1	100	7.4
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【今後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	82	6.9	116	8.6
2 利用(利用継続)を希望しない	861	72.6	1027	75.8
無回答・不明	243	20.5	212	15.6
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

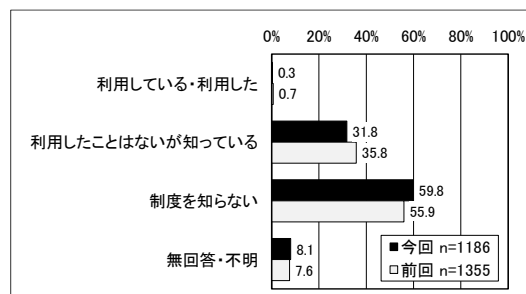


⑦ 学習支援事業

【現状】

単位：回答数(件),構成比(%)

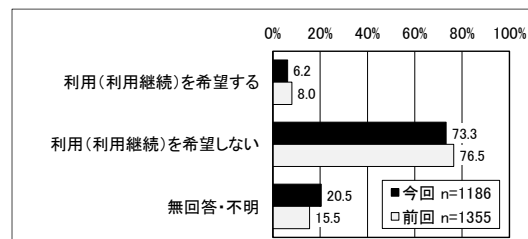
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	4	0.3	9	0.7
2 利用したことはないが知っている	377	31.8	485	35.8
3 制度を知らない	709	59.8	758	55.9
無回答・不明	96	8.1	103	7.6
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【今後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	74	6.2	109	8.0
2 利用(利用継続)を希望しない	869	73.3	1036	76.5
無回答・不明	243	20.5	210	15.5
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

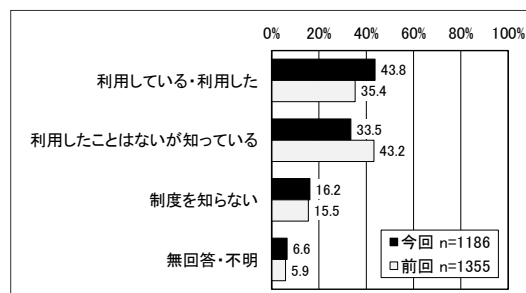


⑧ 放課後子ども教室(キッズくらぶ)

【現状】

単位：回答数(件),構成比(%)

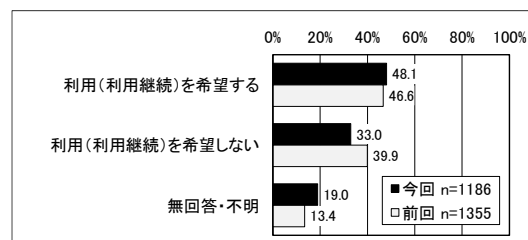
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	519	43.8	479	35.4
2 利用したことはないが知っている	397	33.5	586	43.2
3 制度を知らない	192	16.2	210	15.5
無回答・不明	78	6.6	80	5.9
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【今後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	570	48.1	632	46.6
2 利用(利用継続)を希望しない	391	33.0	541	39.9
無回答・不明	225	19.0	182	13.4
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

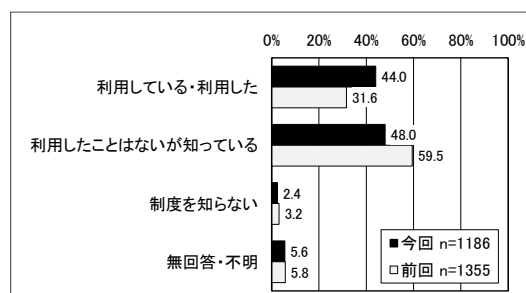


⑨ 放課後児童クラブ(学童保育所)

【現状】

単位：回答数(件),構成比(%)

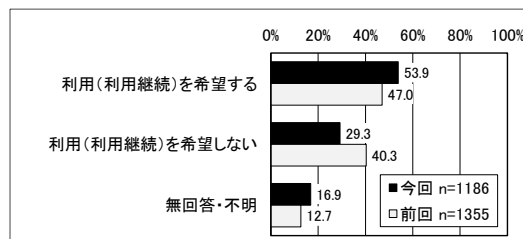
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	522	44.0	428	31.6
2 利用したことはないが知っている	569	48.0	806	59.5
3 制度を知らない	29	2.4	43	3.2
無回答・不明	66	5.6	78	5.8
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【今後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	639	53.9	637	47.0
2 利用(利用継続)を希望しない	347	29.3	546	40.3
無回答・不明	200	16.9	172	12.7
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

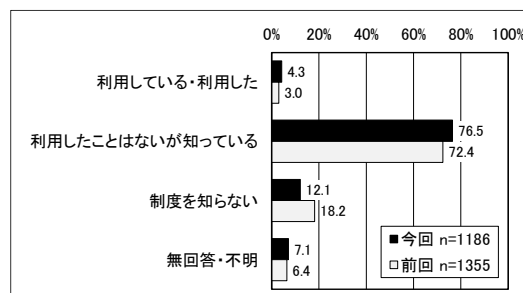


⑩ ファミリー・サポート・センター

【現状】

単位：回答数(件),構成比(%)

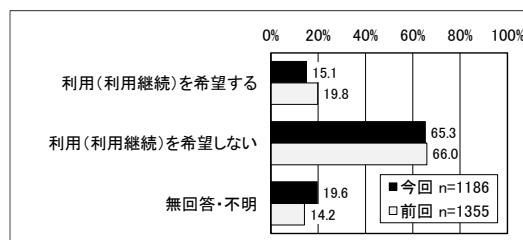
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	51	4.3	41	3.0
2 利用したことはないが知っている	907	76.5	981	72.4
3 制度を知らない	144	12.1	246	18.2
無回答・不明	84	7.1	87	6.4
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



【今後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	179	15.1	268	19.8
2 利用(利用継続)を希望しない	774	65.3	894	66.0
無回答・不明	233	19.6	193	14.2
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0

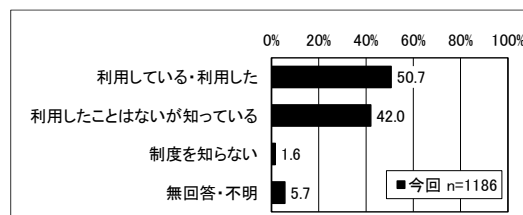


⑪ 子育て支援センター

【現状】

単位：回答数(件),構成比(%)

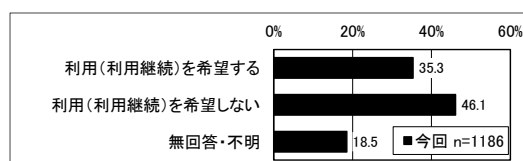
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	601	50.7		
2 利用したことはないが知っている	498	42.0		
3 制度を知らない	19	1.6		
無回答・不明	68	5.7		
回答者数合計	1186	100.0		



【今後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	419	35.3		
2 利用(利用継続)を希望しない	547	46.1		
無回答・不明	220	18.5		
回答者数合計	1186	100.0		

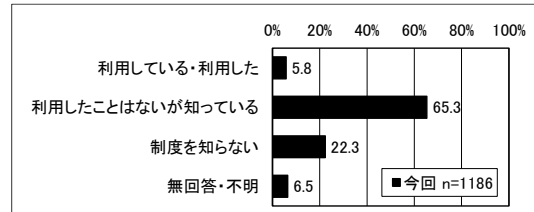


⑫ 子ども食堂

【現状】

単位：回答数（件），構成比（％）

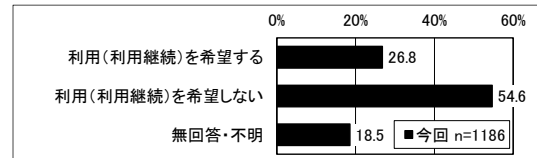
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	69	5.8		
2 利用したことはないが知っている	775	65.3		
3 制度を知らない	265	22.3		
無回答・不明	77	6.5		
回答者数合計	1186	100.0		



【今後】

単位：回答数（件），構成比（％）

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	318	26.8		
2 利用(利用継続)を希望しない	648	54.6		
無回答・不明	220	18.5		
回答者数合計	1186	100.0		

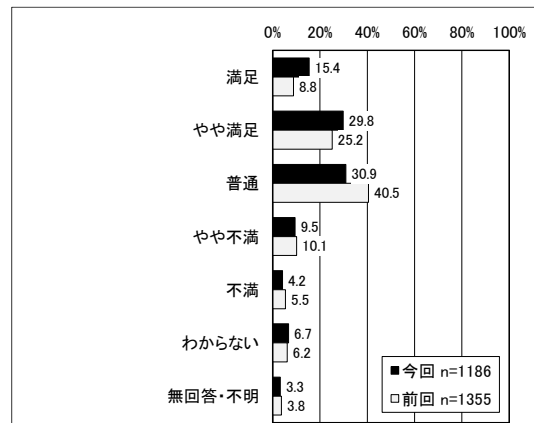


4. 本町の子育て支援に対する満足状況

問44 金ヶ崎町の「子育て支援」について、満足状況はいかがですか。（1つのみ）

単位：回答数（件），構成比（％）

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 満足	183	15.4	119	8.8
2 やや満足	354	29.8	341	25.2
3 普通	367	30.9	549	40.5
4 やや不満	113	9.5	137	10.1
5 不満	50	4.2	74	5.5
6 わからない	80	6.7	84	6.2
無回答・不明	39	3.3	51	3.8
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



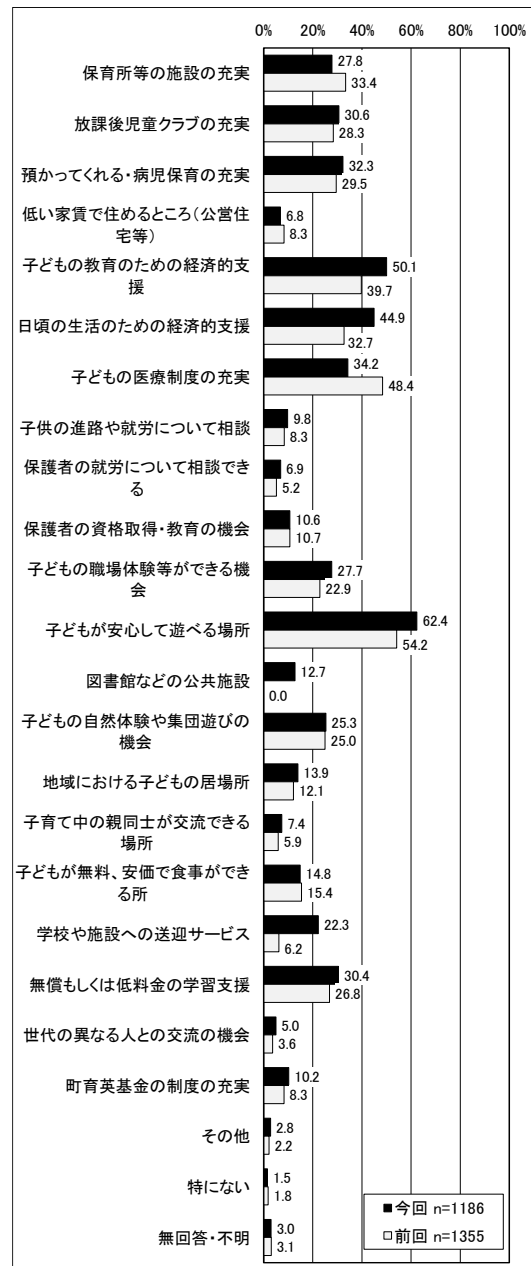
「普通」が30.9%で最も高く、「やや満足」（29.8%）がほぼ同値で続く。前回と比較すると、「満足」「やや満足」が上昇している。

5. 充実を望む子育て支援策

問45 あなたは子育てをしていくうえで、どのような支援が充実すると良いと思いますか。特に該当する番号を、5つまで選択してください。

単位：回答数(件)、構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 保育所等の施設の充実	330	27.8	452	33.4
2 放課後児童クラブの充実	363	30.6	384	28.3
3 預かってくれる・病児保育の充実	383	32.3	400	29.5
4 低い家賃で住めるところ(公営住宅等)	81	6.8	112	8.3
5 子どもの教育のための経済的支援	594	50.1	538	39.7
6 日頃の生活のための経済的支援	533	44.9	443	32.7
7 子どもの医療制度の充実	406	34.2	656	48.4
8 子供の進路や就労について相談	116	9.8	113	8.3
9 保護者の就労について相談できる	82	6.9	71	5.2
10 保護者の資格取得・教育の機会	126	10.6	145	10.7
11 子どもの職場体験等ができる機会	329	27.7	310	22.9
12 子どもが安心して遊べる場所	740	62.4	734	54.2
13 図書館などの公共施設	151	12.7		
14 子どもの自然体験や集団遊びの機会	300	25.3	339	25.0
15 地域における子どもの居場所	165	13.9	164	12.1
16 子育て中の親同士が交流できる場所	88	7.4	80	5.9
17 子どもが無料、安価で食事ができる所	176	14.8	209	15.4
18 学校や施設への送迎サービス	264	22.3	84	6.2
19 無償もしくは低料金の学習支援	361	30.4	363	26.8
20 世代の異なる人との交流の機会	59	5.0	49	3.6
21 町育英基金の制度の充実	121	10.2	112	8.3
22 その他	33	2.8	30	2.2
23 特にない	18	1.5	25	1.8
無回答・不明	36	3.0	42	3.1
回答数合計	5855	493.7	5855	432.1
回答者数合計	1186	100.0	1355	100.0



「子どもが安心して遊べる場所」が62.4%で最も高く、「子どもの教育のための経済的支援」(50.1%)、「日頃の生活のための経済的支援」(44.9%)、「子どもの医療制度の充実」(34.2%)と続く。前回と比較し、「子どもの教育のための経済的支援」「日頃の生活のための経済的支援」「子どもが安心して遊べる場所」の上位3項目が上昇し、加えて「学校や施設への送迎サービス」も上昇している。

XII 自由意見

問46 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

- 学童の1ヶ月の利用額が高くてびっくりしました。利用したい時だけの金額にしてほしい。
- 保育園や幼稚園を利用するにあたって毎年、就労証明書や現況届を提出しないといけないのが大変（子どもが増えるにつれて記入するところが多くなり、毎回、一から書かないといけないのが時間がかかる）保育園の利用時間について教育委員会の窓口で相談しに行った際に「同じような状況の方が他にもいますので」という言葉で片づけられた。もう少し親身になって聞いてほしい（子育ての大変さがまるでわかっていないように感じた）し同じような状況の方がいるなら尚更、話し合いをするなどしてから何かしらの回答がほしいと思った。こちらは時間をわざわざ作って相談しに行っているのに簡単に答えなくてほしい。今のままだと子供の人数が多いほど大変な状況なのでもう少し支援を考えてほしい。
- 問45でもレ点をつけましたが子どもの職場体験が出来る機会やいろんなスポーツをやらせてみたいですが、仕事の都合上スポ少などに送っていく時間が取られないので、スポーツも体験できる機会がありましたら参加したです。
- 金ヶ崎町は学童保育所が6年生まで利用できることがとても素晴らしいと思います。おかげで安心して仕事ができます。ただし、朝の開所が長期休暇ですと、AM8:00～となっており隣市や通勤のため、確実に遅刻します。7:30～開所を希望します。
- 子供の遊び場や施設が少ない・北部地区に保育施設を増やした方が良くと思う・公園はあるが、遊具が少なく、長い時間遊べない
- 夫婦ともにサービス業、土日祝勤務です。2年前に同居の祖母（娘から見て）が病気で介護状態となり、子どもを見てもらうことができず、有休を使って日祝休んで、子どもを世話するようになりましたが、有休も全く足りず……。日祝はたらい回ししている家庭は意外と多いのではないのでしょうか？日祝に定期的に預かってもらえる施設が欲しいです。
- 本当に子育て環境、実態を把握しているのか？と疑問に思う事が沢山ある。子ども一人一人育つ家庭環境が違うことをふまえたうえで高い目標をかかげず子育てする両親、子どもに寄り添ってほしい。
- 発達グレーゾーンの子に対するサポートや相談を充実してほしい
- 話しはそれますが、町は学校統合等についてどのような方向性になりそうですか？
- 保育園の充実、働いていなくても学童保育に行ける様にしてほしい。
- このアンケートは子育て支援課の方が集計するのでしょうか？大変労力がかかりそうなので子育て世代向けならWEBでの回答の方が集計する側も答える側もやりやすいのでは……と思ってしまいました。意見を聞いてくれようとするところはとてもありがたいですし、金ヶ崎の支援は他市町村より手厚く大変助かっています。給食費無償化は特に感謝しています。保育園を利用していますが、平日に（土日仕事で）休みがある職に就いています。以前通わせていた園では休みの日も時短で利用可でした。知人の利用している園でも可でした。現在利用している所は不可なのですが、入園が決まるまで知らず、髪を切りに行くだけでも予定を立てるのが難しいです。保育園の園児募集に休日の利用可・不可も書いてあったらとても

嬉しいと感じました（コロナで見学等できなかったの）。

- 遊ぶところがない
- 子どもとの時間がたくさんあるように思えても、親の役員の負担が多くその分時間も心の余裕も無くなっていると感じています。子どもに対して母親は一人ですが、子どもの人数分の役員回数を求められます。学校の他に地域でも子ども会でも役員があります。もっと負担や役員の数を減らしたりしてほしいです。何も役員になっていない年はあまりないのですが、そういう年は本当にほっとしています。会議への参加や家での役員仕事がない分、子どもとの時間が持てます。そのような時間が増えるように環境を改善してほしいです。
- 子供が遊べる場所(プール、スケート場、運動場、公園など)を金ヶ崎に作ってほしいです。金ヶ崎には少ないです。・支援制度など、広告などではなく、SNSやインターネットをもう少し活用してみてもはどうでしょう。その面でも金ヶ崎としてのアピールが少ない気がします。・安全で安心して子供達が過ごせる金ヶ崎をお願いします。
- 遊べる場所（公園など）が充実すると良いと思います。公園があっても草や木が生い茂っていて危険だったりもするので整備もされていたら、子ども達ももっと集まると思います。通学路が夏はつたが伸び、冬は雪で道路幅が狭くなり車道に出て歩いているので安全は通学路の確保も必要だと思います。学童に関して、利用学童が多い中、先生方には宿題を見て頂いたり、イベント開催などで細やかな配慮をして頂いて感謝しています。
- 町内で習い事ができるところが少なく残念です。森山のスイミングは曜日などのしびりがあるって都合がつかないと通えないし、ピアノ教室や書道などはやっているのでしょうか。情報もどこで聞けばいいのか分かりません。子どもの医療費の補助は充実していて大変ありがたいです。
- 宿題を学校で教えてもらいながら迎えを待てるようにしてほしい。長期休暇のみでも子供を預かってもらえる場所が欲しい。帰りのみで良いのでスクールバスが出してもらえるとクマなどの出現時に心配が減ると思う。
- 公園とか近くにないですよ。遊ぶ所がほしいです。
- 給食費無償は本当に助かっております。今後も引き続きお願いします。公園が近所ないので、のびのびと遊べる公園を作ってほしいです。（谷地下在住）
- 公園、ベンチ多くして欲しい。せせらぎ公園は熊が出る上に遠い。図書館の月曜閉館は振替休日にかぶるので別の曜日にもシャッフルでいいので休館日を見直して欲しい。
- 金ヶ崎町の医療制度（子ども無料等）にとっても助けられています。子どもが大きくなった時にお金がどれくらいかかるのか不安です。小さいうちの支援はとても充実していると思います。ありがとうございます。
- 岩手の療育センターが盛岡（紫波）にしかなく、遠い。
- 低価格で病児保育があれば親もますます働けて良いですね。就労支援にもなり、親も子も助かります。
- 外でスポーツのできる場所がほしいです。バスケットゴールやサッカーができるところ
- 金ヶ崎には広い土地がたくさんあるのですから、盛岡の様に広い公園を作って子供たちが遊べる場所を提供してほしいです。せせらぎ公園の整備も進めて下さい。みんなせせらぎではなく、町外の水遊びできる場所に行っちゃっていますよ（カルチュアパークや、古墳公

園)。子育て支援というなら、もっと子供たちが楽しめる場所、気軽に行ける場所の整備が必要だと思います。子育て支援というなら、もっと子供たちが楽しめる場所、気軽に行ける場所の整備が必要だと思います。また、小学校は学用品で年間1万円以上かかります。子どもも減っているのですから、児童ひとりにつき1万の補助とかあってもいいのではないのでしょうか。ランドセルも自分で準備になったので、昔のように学校で安く買えた方が良いでしょう。ジャージも入学時支給とか。もっと考えて欲しいです。

- 金ヶ崎はバスケットやバレーのスポ少、中学の部活でもスポーツでの子供達の活躍があります。休日、野球やサッカーは小学校の校庭でもできますが、コートが必要になるスポーツは場所がありません。バスケコート(半面でもいい)をフェンスで囲ったような場所があれば、もっともっと外で遊ぶ子が増え、部活動の成績も上がっていくと思います。設置検討をお願いします。
- 仕事を始めるにあたり、学童を利用したかったのですが家庭状況が利用に合わず入所ができませんでした。一人で留守ができるようになる年齢までは放課後待てる場所があると助かるのに…と切に願っています。仕事の日数が増やせず、子供の為に働いてお金を稼ぐことが難しいです。民間でも、町でもいいのでもっと預け先が選べて柔軟に対応してくれる所をつくってほしいです。期待しています。・こどもの医療費無料はこの先も続けていって下さい。明るい未来つくっていって下さい。
- 近くの習い事やスポーツ教室などの情報や口コミが知りたいが、ネットで調べてもいま一つ分からないので、そういう情報が知れると良い。
- 幼保一体型のこども園があればいいと思う。習い事の案内や体験を出来たらいいと思う。経済的支援もあればうれしい。近くに公園など遊ぶところがないのでどうしてもゲームばかりで遊んでしまう。土地の有効活用をして人口を増やしてほしいです。
- 山の方に行くほど住みにくい環境になっている。家の購入に関する補助金の額が、特定団地、宅地開発計画区域、それ以外に分かれているのは悲しかった。うちはそれ以外に建てましたがその差別はいらないと思います（町にだけ人を集めたいのか？）。
- 対象年齢ではない、子育て支援センター等の事を聞かれても困る。アンケートの取り方が、問い等考えても当てはまらなかったりしてやりづらかった。このアンケートは本当に必要なニーズや要望が集計できるのか疑問に思いました。
- 子どもたちのことを第一に考えて下さるとありがたいです（平等に）。
- 子供の医療費と給食費の無料はとても助かります。・町内にも、子供を無料で遊ばせることができる広い屋内施設などがあると嬉しいです。・学童内で習い事もできると便利だなと思います。
- 感染症で子供が学校を休んだ場合、親の看護休暇的な制度を希望します。有給扱いではなく、何か制度を設けることで、フルタイムで働いている家庭にとっては休みやすくなります。例えば、小学校休業等対応助成金制度なども。
- 母子家庭なので、保育園、学童保育所の先生方には様々な面で助けていただきました。それらに従事する方々の待遇が少しでも良くなるよう、町として力を入れて取り組んでいただきたいと思います。
- 公園の遊具がまだ少い気がします。夏は水遊びが出来る施設があると楽しいなと思います。

- 保育園が少ない。2歳児までの施設があっても転園したり、幼稚園を勧められたりする。幼稚園を利用する家庭が減っていて両親が就労しているのに、子育てする親への支援を考えてほしいと思う。子ども園を利用したいが、入園にお金がかかる、行事、役員の多さがあるとすると仕事に影響が出る。子どもに転園やクラスの雰囲気ができる民間の保育園に入れたりするのも心の負担が出る子は少なからずあるので色々見直して欲しい。
- 金ヶ崎には魅力的な公園が無いです。岩手で1番楽しめる公園などを作ってもらえると子供がより外で活発に遊ぶようになるのでは、と思います。
- 北上方面で仕事をするには保育園が遠すぎて不便です。水沢方面にばかり保育園が片寄っているのに何も対策してくれないのはどうしてですか?北上は工業団地も多く北上で働くには北部地区に住むのは子育てに向かないです。
- 明石市の子育て施設を参考にすることもひとつの方法。どれだけ町が心のこもった寄りそいができるかが一番大切だと考える。(人の問題)
- 通学路を安全にして欲しい。(街灯がない・部活帰りの中学生がかわいそう)学校・学童で習い事ができるといい。仕事をしているとやらせたいけど送迎できないのであきらめている。小学校の運動着を扱う店の駐車場とめにくい。行きやすくして欲しい。または、イオンにおいてほしい。他の学校のはあるがうちのはなかった。
- 産前産後のケアハウスを金ヶ崎町在住でも安く利用できるようになって欲しいです。(タクシー券はほとんど使わない人が多い気がします。)小学校などの中に、困った時、悩んだ時に気軽に相談出来る大人がいる部屋(保健室とは別)休憩室のようなゆっくり出来る場所があったら良いなと思います。
- 「子どもの森」のような無料で遊べる施設を作って欲しい。(室内、アスレチック両方)小規模等の施設を増やすだけではなく、こども園のようなものを人数枠を増やして誰でも利用できるようになれば助かると思う。室内プールでも子どもたちが楽しい、おもしろいと思えるような施設を作って欲しい。
- 大きな子ども達が自由に遊べる遊具のある公園を設置して欲しい。
- 保育所を利用したいが、空きがないので困っている。
- 教育に関して資金の補助等の見通しがあるとより安心した子育てができるかと思います。・教育現場以外においても親の負担が大きい。(子どもの人数も減っていることでより負担がのしかかる)(スポーツ活動等)
- 第3子の出産時に、第2子の幼稚園で預かり保育を利用しました。「出産(予定)日の8週間前の日の属する月の初日から産後8週を経過する日の属する月の末日まで」無料で利用できましたが、その期間は夫の育休もあり、どうしても預かり保育が必要というわけではありませんでした。その期間よりも、第3子の予防接種や健診の時に無料で利用できたら嬉しかったです。(町の健診は午後から、村井小児科は14:00~15:00なので)
- 育成会の廃止を求めます。なぜなら、運動部等の保護者、PTA役員など地区の自治会の役員などを含めるとほぼ毎年役員をしなくてはならないし、2つ以上のかけもちもあたりまえのようで大変でした。仕事もあるので役員の人間関係などで疲労してうつになりそうでした。子どもを育てる事で一番いやな事が役員だと思います。
- 中学校夏休み、冬休み、平日の部活の送迎バスの運行をしてほしい平日、仕事で送迎ができ

ない。冬期間は、通学距離にかんけいなく、バスが通るところはバスにのせてほしい。バスがガラガラなのでなおさら共働きなので送迎がむずかしいため

- 町内で遊ぶ場所（公園）が少なく感じる。安全で、小さな子も楽しく遊べるところがほしい。
- 認定こども園や学童保育所など利用する際の手続書類が多い。重複しているなど世帯にそれぞれの施設を利用する子どもがいると書類の準備が大変。特に就労証明書などは何枚を書いてもらうので会社をお願いするのに気をつかってしまう。共有できる情報は共有してもらえるとありがたい。
- 昨年、荒巻公園を整備されたかと思いますが、他地区にも遊び場があると良いなと思います。私は永岡地区に住んでいますが、自宅から近い場所にあるとすぐに行けますし、自転車の練習等自宅で出来ない運動も気軽に通いやすいです。外遊びのハードルが下がり、親子の交流につながりますので、ぜひご検討下さい。
- 永岡小学校の体育館がキレイになる事はうれしいですが、これから入学する子どもはどんどん減ってしまうのでそれより合併できる大きな小学校を作った方がいいと思いました。それに中学校のプールもなかなか修繕がされず心配しています。危険なまま去年は利用したそうです。子どもたちがケガをする前になおしてほしいです。
- 金ヶ崎町は子供の医療ヒが無料なので、すごく助かっています。私の住む永岡地区は子供達だけで、自由に遊べる場所（休日に）（子供が自転車などで行ける所）が、小学校くらいしかなく、公園などがあるといいなあと思います。長期休暇など町の図書館などの送迎サービスなどがあると、今以上に本に興味を持ち、学校以外の本にふれる機会が増えると思います。
- 学童が狭い。2〜3カ所の部屋に分れ、先生が見てくれているが、50人程度の子どもが遊ぶには狭いし、目が届きにくいのではと感じる。子ども食堂、必要とする人にはとてもありがたい物だと思うが、子どもだけで食事をしたりすることにつながらないか・・・親子関係の希薄化につながらないよう取り組んでいってほしいと願います。
- 人口減少、少子化は仕方ないが、永岡地区、西地区は友人宅（隣）までの距離がありすぎて親の送迎なくては遊びに行く事も気軽でない。送迎サービスとまでは言わないが交通が何とかなるとか必要に思う。友人も近くにいない、親の帰りも遅い、では子ども達だけで家にこもる流れになってしまうように思う。現に我が家がそうなっている…。
- 保育園や学校で使う教材、制服、体操着等の補助や提供を年収に関係なく行う事を検討していただきたいです。
- 子どもが安全に遊べる公園がもっとあるといいと思います。
- 学童の無料化希望。学校の毎月の集金分無料希望。学校帰り低料金で通える学習塾希望。
- 共働きの親が増えている中でもずっと変わらず日曜祝日に子どもを見てくれる所がない。長期の休みもシフトを気にしながらお休みを取ったり…毎回とるわけではなくても月に1〜2回安心しててもらえる場所があるといいなと思う。今はばあちゃんがみってくれるけど介護状態になったらと思うと不安です。子育て支援に手厚いと今も満足しているがもっと親も働きやすくなるといいなと思う。小学生に上がるといっきに遊ばせられる施設がなくなるのが残念。大きい子だって体を動かしたりしたいのに。雨が降った日、雪の日、暑い日など天候に左右されずに遊べる所近くにあればなあと思う。
- スクールカウンセラーとの面談の機会をもう少し多くとれると良いなと感じます。カウンセ

ラーの人数や相談や会話ができる環境があればと思います。相談に行く方もまわりの目を気にしたりして足がむかないかも。大人も子供も小さな事でも話せる時間や場所はほしいのかなと思います。学校の先生に話しづらい子もいるかも。

- 生理用品の配布は知っている人が知っている場所だけにあるのではなく一律に10代～40代の女性には配ってほしい。子どもの学習支援についても町民には一律に低所得世帯だけでなく年収1000万円以下を一律に援助してほしい。町外の学校に通う子どもにも定期券購入の支援をお願いします。
- 遊び場が少ない。江刺のカルチュアパークのような所が金ケ崎にも欲しい。
- 子育てに関する助成など他の地域に比べ充実しており感謝しております。子供の遊び場（特に雨天時や冬季）があまりなく、室内で（可能であれば無料）子供を遊ばせられる場所があると大変助かります。
- 子どもの遊べる場所、公園などもっと増やしてほしい。
- 住民税が高すぎるので安くしてほしいです。
- 産婦人科がほしいです。
- 図書館の本が古い本が多いので新しい本をどんどん借りれるようにしてほしい。習い事の種類の少ないのもっと充実してほしい。幼稚園の長期休みの時の預かり保育料を無償にしてほしい。
- 今の所、金ケ崎町の子育て支援は他市町村より充実していると思いますので、引き続きご支援お願い致します。
- 金ケ崎町には子ども達が遊べる公園等がなく、町外へ出ることが多いです。財政的には他の市町村よりあると思いますので力を入れてほしい。高齢者率も高いですが子ども達が過ごしやすい環境を築かなければ「子」は減ります。町の存続のためにも頑張ってもらいたいです。他市町村より「魅力」ある町にしていきたいと思います！！※P5～P10第3子を記入してしまいました。すみません。
- 家の前の水路（U路溝）が落ちたらあぶないのでふた等してほしい。
- 金ケ崎の学童保育の料金がとても高いと思います。水沢等の他学童保育は月3000円程度と聞きます。他地区の人にびっくりされます。現在の半額程度にしてほしいです。よろしくおねがいします！！できれば令6年～。★料金高いことで預けるのを躊躇し、低学年の子が家に1人でいる等の声も聞かれます。
- ありがとうございます。今後も子育ての支援の継続をお願いします。
- 外遊びが少ない。周囲に子供がいない。子供がいても遊びにつながらない。家でメディア利用が多いので、外遊びの機会があればよい。子供が興味を持てるイベントがあればよい。
- 近い将来子どもが進学する金ケ崎中学校への支援や施設の充実を望みます。スクールバスではないが、徒歩登校では大変な生徒の通学支援図書館をきちんと生徒が利用できるものにする等図書室は会議室や補習室のようで、本来のつかわれ方をしていないこと、上の子どもの頃から気になっています。
- 金ケ崎の教育は遅れていると感じる。電子黒板が無く、タブレットも授業や家庭学習に活用されているのかわからない。他の市町村との差を感じ、とても不安。塾も少ないし、北上市、一関市に住めば良かったと後悔。新幹線があれば、県外の学校にも通学しやすかった。

- 学校に居る時間が長いので学校と町がもっと協力してより良い学校の環境を整えて欲しいです。通学路の整備、学校設備の改善、先生の教育、クラブ活動の向上等小学校に入学するまでの支援には十分満足している。
- 発達障害の子どもたちが運動療法を受けられる場があると良い。
- スクールカウンセラーさんからHSCだと言われ、小学校への行き渋りに悩んでいます。仕事もしているのでカウンセラーさん以外の児童窓口があればと思います。また、学校に行けずに悩んでいる子の「居場所」（勉強をみてくれたり、遊んだり…）がほしいです。（平日）
- 町内のこども園は中身が幼稚園のままで、1号の保護者に負担がかかっています。支援はお金を掛けることばかりではなく、子どもの通院や予防接種などに他の兄弟（上の子・下の子）を連れての受診はかなりしんどく、そういった時に、付き添いや病院等で見守り（子守）してくれたりするサービスがあったらすごく助かるを思います。保育園でも一時預かりを設けてくれています。預かってもらえない事のほうが多く困ったこともあり、預かり内容を聞かれたり、利用しにくいです。リフレッシュ可と書いてあるが受け入れてもらえない感じなので、ファミサポさんに全振りしたら良いと思います。ファミサポさんの事業を手厚くして下さい。学用品（特に中学校）鬼剣舞等の負担なく参加できるようにして欲しいです。学校等の役員をへらしたり（検討）考える場を設けて欲しいです。
- 子供達が通年安心して遊べる場所が近くにほしいです。
- 子どもの医療費がかからないのはとても良いと思う。・各種ワクチンも無料でできると助かる。
- 家の近くに公園が無い為、子供の遊び場所が家の前になってしまい。隣のお家のにボールが転がっていったりしてしまい近所トラブルになりそう。でも私がいつまでも見守りできないし。近くに公園があったら良いのになと思います。
- 登下校の際の送迎ができない家庭は大変かと思う。熊や悪天候の急な引き渡しは対応できる家とできない家がある。
- うちの子はアレルギーがあります。今時めずらしい事ではありませんが、アレルギー、特にアナフィラキシー等おこし亡くなっている子供も全国にはいますが、金ヶ崎町内でのマニュアル等はないのでしょうか。どの施設もあいまいで、いざそういう子供がでた時は助からないのではと危機感を持つ出来事がありました。今後のためにもぜひお願いしたいです。
- 小学生のアンケートは別にするなどにしてほしいです。アンケートが分かりにくいです。問43の今後の利用について必要なのか、違う形でだしてほしかったです。金ヶ崎町は子どもと住める賃貸が少ないようなので増やしてほしいです。小学生がもっと自由に遊べる広い場所があればと思います。中学校へのスクールバスももっとたくさんの生徒が使えるようになればいいと思います。有料でもいいので、申し込みしたら利用できるなど、柔軟な考え方が必要だと思います。
- 学童の無償化。子ども手当増額。給料も上らず物価高で子どものための貯蓄ができなくなっているため。
- 利用しやすい（清潔な）公園がほしいです。歩道を整備して子ども達が安全に歩ける道路にしてほしいです。
- 冬期間のみ金中生希望者がスクールバス利用のできる登下校ができるといいと願っています。

(将来の話ではありますが…)

- 認定こども園なのに保護者が参加しなければいけない行事が多すぎる。保育園も兼ねているので行事の参加・不参加は自由にして欲しい。
- 子どもの遊び場が圧倒的に少ない。雪国なのだから屋内遊び場があってもいいのではないかな？公園も魅力的でない。遊び場の選択肢がなくて困る。・妊娠、出産の支援として「タクシー券」をもらえるが正直使わなかった。使わなかった分うまれた子のおむつやベビー用品を買えるクーポンにしてくれたり他の何か使えるものにかえてくれたりしてくれるとすごく助かるのに…と思う。タクシー券では使わない人にとってはただの紙になってしまいます…(泣)
- 子どもが安心して遊べる施設(屋内屋外)が近くにあると(金ヶ崎町)休みの日など、親子の充実した時間が過ごせると思います。
- 子育てをしながら働くというのは、とても肩身の狭い思いです。どのお母さんもそうだと思いますが、病気や何かの際には職場に頭を下げて休みをとるのだと思います。去年学童の説明会を聞いて、希望者が多い場合は入れない場合、雇用形態を変えたり、もしくは仕事自体できなくなるのではないかと思います。もっとお母さん方が働きやすいような社会になればいいなと思います。家庭状況を把握していただき、受け入れ態勢の拡充を願います。少子化対策と子育て支援。学童希望者が多い場合、入れないというのは拮抗しています。子育て支援をあげるなら、長期的な支援が必須だと思います。
- 低料金で遊べる施設や学習(習い事)の場があるとうれしい。
- 保育園(希望の園)に入りやすいようになってほしい。給食費の無償化。
- 金ヶ崎町で保育、教育に関する仕事をしている者です。土曜日や日、祝日に保育を利用されている方がいますが、親が仕事が休みでも1日中(8時~17時30)保育施設にいなけらばならないお子さんはかなりの負担になっています。親のリフレッシュも分かりますが、利用時間に制限を設けても良いのではないのでしょうか？正直現場はひていしています。リフレッシュ目的の場合はせめて利用時間を9時~16時にして頂きたいです。と教育委員会に進言して頂けないのでしょうか？
- 出産後のママのケアが出来る場所が欲しい。
- 遊具のある公園を増やして欲しいです。一つの公園にたくさんの子供で、中々遊べません。
- もっと子供が遊べる公園を作ってほしい。休日外で遊ばせたいが近くに公園がなく困ってます。もう少し公園が増えてくれるとうれしいです。
- 医療に関してはおおむね満足。
- 祖母と一緒に住んでいるということで学童に入れず少し残念です。祖母が出かけていて(泊まり)いない事も多く、友達と勉強したり、遊んだりできるといいなあとと思います。
- 子どもが遊べる屋内施設を増やしてほしい。子どもが遊ぶ場所が無さすぎる。・認定こども園南方幼稚園が0歳から預けられるようになってほしい。(第一子の時、フルタイムで働いているのに、保育園に全部入れず小規模保育園→こども園という流れになった)・現在通っているこども園が人手不足を感じる。人員確保がんばってほしい。現在、園の行事で草とり、大掃除が年に計4回あるが、その都度仕事を休まなくてはいけないので外部に委託することはできないのか。そのために町が園への予算を増やしてあげるべきだと思う。

- 病児保育があれば働くことができるので増やして欲しい。
- 保育料など世帯収入に応じて決められると頑張って収入を増やす努力をしているのに損する気分になります。片親への保育料半額免除とかであれば良いと思いますが、両親が就労している場合は全家庭同じにしてほしいです。
- 他市町村の友人から金ケ崎は子育てに関して充実していていいね、と言われることが多い。これからも、より子育てしやすい環境、制度の充実に期待したい。よろしくお願いします。
- 育児休暇中に保育時間を短縮に変更させられるのがよく分からない。希望があれば短縮する形で良いのではと思う。
- 保育料の減額
- 子どもたちのためとはいえ、PTAの活動がとても負担になっていると感じております。仕事、子育て（お互いの）両親等の介護、地域のこと、子ども会幼稚園PTA（小学校PTA）負担軽減してほしい。
- 金ケ崎町の18歳まで医療費無償、給食費無償はとても素晴らしいと感じています。これからも金ケ崎町で子育てをしていく予定でいます。スポーツや習い事などが充実すると良いなあと思います。
- 現在、みどりの郷が閉鎖されているが「休みの日にはココ」といったような、家族が揃って楽しめるような場所があれば嬉しいです。
- おおむね満足していますが、働く親が増えているのに、子供を預かってくれる場所（保育園や学童など）が少ないなと思います。体育館やグラウンドもすごく立派なものがあるのに、スポ少や使ったことがある人以外、使用方法もわからず、休みの雨や雪の日、体を動かしてあそびたいのにできないと思っています。支援センターも上の子が小学中～高学年になると一緒につれていきづらく、日・祝日もとじこもりがちになります。
- 子育て支援センター以外に60代以上のボランティアを利用（募集）し定期的な子育てサークルを開設してほしい。60代以上の方々はまだまだ元気だし、子供とふれあうことで、生きがいを再発見してほしい。そして、地域ぐるみで子供たちを育ててほしい。よいと思っている例が紫波町で行っている「ひよこひろば」。紫波町のように子供がおじいちゃん、おばあちゃんとふれあう機会があるとよいと思う。金ケ崎は世代交流が少なすぎると感じる。
- こどものあれこれやってみたい！という気持ちに添えてあげたいが、金銭面、送迎がネックになってしまいます。町内で習い事をする場合、全て送迎付き（自宅近くまでOK）にしてもらえると放課後の過ごし方がもっと豊かになる気がします。キッズクラブは安心して預けられるのでもう少し回数を増やして欲しい。体を動かすもの以外にも工作系や家ではできない体験をさせてあげられる機会をつくって頂けると嬉しい。
- 金ケ崎町について産婦人科ができるとうれしいです。できれば出産までできると良いと思います。
- 更に子育てしやすい町になるように宜しくお願いします。
- オムツ、ミルク等お金がかかるのでその分のお金等が欲しい。子どもが騒いでも大丈夫な屋内の施設が欲しい。籍を入れない”内縁の夫、妻”と暮らしている人達もひとり親として認められ保育料免除になるのか？色々な補助を受けているとしたら納得できない。普通に働いている家庭でも値上がり家計は厳しい。税金や保育料を払っているのに補助金もらえないのが

不公平。

- 子どもとの時間をもっととりたいたいと思っても仕事が忙しく思うように時間がとれない。小学校くらいまで時短で働けるようにしたり金銭的な支援が充実するとよいと思う。金銭的に余裕があれば働かず子どもといたい。子育て支援が親支援ではなく子どもにも目を向けたものになってほしい。親が預けたいときに預けられる場所があることは必要だがそれが子どものためになるのか？その環境を本当に整えられるのか？考える必要がある。
- 安心していつでも遊べる公園が少ない。荒巻公園は新しく囲いができ小さい子も遊べる遊具ができたが、囲いができて安全だと思うのかグラウンド以外の囲いのすぐとなりで硬式のボールのキャッチボールをする人が増え（たまたま行った時にだけなのか）安心して遊べない場なのだと感じた。社会人野球も東の駐車場をうめつくすため子連れは駐車場外に停めているのも何度かみた。せせらぎ公園も遊具はできたが、タイルがボロボロで怪我しそうだと感じた。自動販売機もない。おもちゃ美術館は冬季休みだし支援センターも日、祝休み幼稚園も日祝のみ。新しい遊具を置くだけではなく皆さんが通いやすい環境作りの方にも力をいれて欲しい
- 雨の日に遊べる公共施設があると助かる。月～土だと支援センターがあるが日、祝だと遊べないのでアスレチックなど中で遊べるところがあると嬉しい。・病児保育や24時間保育があると嬉しい。
- 公園はあるのに、遊具が古かったり、少なかったりと子供が遊べる公園が少ない。
- 保育園の「ごはん持参」が意図が分からず不思議です。特に夏場は食中毒の危険もあるので、サブスクでも良いので、ごはんの提供、もしくは町からの支援があると良く思います。・「図書館のベビールーム」や「もりの学び舎」等町内では子どもを遊ばせられる場所が多くあり助かっています。支援センターも最近はおもちゃが充実して嬉しいです。・金ケ崎の子どもの医療制度に助かっています。結婚を考えている知り合いに金ケ崎をお勧めしました。さらなる充実に期待しております。
- 子育ての過程で何度か子育て支援課の保健師さんがたへ相談（発達について）したことがありました。支援センターの方々にもいろいろ聞いて頂き金ケ崎は子育てに安心して取り組める場所だと思います。これからの活動も期待しています。これからもよろしくお願いします。
- このようなアンケートについて、スマホで回答できるようにして頂けるとありがたい。ニーズの調査は大事ですが子育てしながらこのボリュームのアンケートに回答するのは大変です。
- 医療費や保育園の費用の無償化など経済的にとても助かっています。今後も経済的支援の継続をお願いします。ただ子どもが増えて仕事を休むこと、育児、家事の負担がすごく増えました。仕事をフルタイムで働くことの限界を感じています。子どもの人数、同居しているか、実家の協力を得られるかによって支援内容が異なると思いますので、合った支援内容の助言、提供をお願いします。また、ベビーシッターやファミリーサポートも利用したい、気になっていました。もっと利用しやすいようにしてほしいです。
- 奥州市のように産後ケア事業（日帰り・宿泊・食事あり）を行ってほしい。核家族が増加してきていると思うので、産後ママたちのメンタルケアの為にも、外部の方との交流、相談、息抜き場が必要。子どもが遊べる室内施設がほしい。土曜日を開放してもらえるとありがたい。他市町村と比較して、商業施設も少ないため、公共施設の充実化を希望します。小児

科・皮膚科・眼科・耳鼻科が不足している為増やしてほしい。仕事前後の通院がかなり大変で、子育て世代のキャリアアップにも支障が出る為。（仕事に影響）

- 金ケ崎に小児科が少ないのもっと沢山あると通院しやすいし、セカンドオピニオンで様々な治療の選択肢が広がると思います。障がいのある子が学習しやすいように金ケ崎小学校と中学校にエレベーターを設置してほしい。金ケ崎に中学校が1つしかないので、スクールバスを利用したいがどのようなルートがあるのか分からない。どこかで情報を発信してもらえると保護者は助かると思います。
- 子どもの遊べる場所を増やしてほしい。せせらぎ公園が近場で自然もあり、とても良い場所であるが、遊具がもうすこしあっても良いと思う。
- 金ケ崎は子どもに優しいよねと、他の地域の方からも良く言われます。これからもそんな町であってほしいです。よろしくお願いします。
- 子どもが遊べる公園がない（あっても遊具がない）上記にも書いたが花巻のおもちゃ美術館や広域公園みたいなのが欲しい。
- 妊娠中にタクシー券を頂いたが、車を運転したり、家族に乗せてもらったりしてなかなか使う機会がなかった。産後オムツやミルクを購入したりするのに、なかなかお金がかかったのでそういうのに利用できる券などがあるとうれしいです。あと、産後1ヶ月ぐらいで予防接種の接種券が届いても頭が働いていないので目を通すのが大変でした。一気に送って頂けるのはありがたいですが、少し時期をずらしてもいいのではないのでしょうか？あと封筒に「接種券在中」とか書いてあるとありがたいです。（数が多くて準備することが大変だと思いますが）
- 子どもの遊び場の充実。他市町村と比べ、公園、遊具などが少ない。・子育て支援センターの充実。ある程度大きくなってくると飽きてしまい、今は行っていない。・室内遊び場がほしい。・南方幼稚園の園庭開放は知人から聞いて初めて知った。他にも使用できる園はあるのか？・町内から出なくても、子どもが楽しめるイベントが増えると嬉しい。
- 更なる英語教育の充実を計ってほしい。
- ※ひとり親です。学習面においてのサービスは塾などは高額でひとり親には正直長期的に通わせるのが難しいので個々に合った学習サポートのサービスが充実するとうれしいです。（学習面の発達に不安があるので個別サポートがあると尚うれしいです。）ひとり親世帯が低家賃で住めるところも必要だと思います。金ケ崎町内のアパートは高すぎます。町営住宅も募集が少ないのと住宅の老朽化が気になります。
- 外で子供達が遊べる遊具がいっぱいある公園があればいいなと思います。できれば、街の中心部あたりに。公園と名の付く場所はありますが、小さい子用の遊具が多かったり、古くなって撤去されたまま遊具の数が増えなかったり、外で遊ぶ回数を多くさせたいので、何かお願いしたいと思います。
- 中学校の部活について、部活に必ずしも所属しなくて良いというのは本当でしょうか？もし本当であればこれから何年か後に中学に進む時、放課後、どう過ごすのかがとても心配です。スポーツクラブや塾などの都合で、そうなったと聞きましたが、そうでない子の部活の部活の在り方、放課後の使い方を考えてもらえたらいいと思います。
- 物価が上がっているので児童手当の額を増やしてほしい。

- 金ヶ崎役場の保育科？の男性の対応が冷たくて嫌な気持ちになる。
- 就労するにあたり、保育園を利用することができとてもありがたく感じています。まだ子どもが小さいため、体調を崩しやすいので、病児保育の施設があるともっと助かると思うことがあります。また、近所に気軽に安全に遊べるスペースがなく、家庭にいることが多いので、広場のような場所があると子どもがのびのび遊ぶことができよと思います。
- 子供たちの下校時（特に冬期）、帰り道が暗くて心配なので、街灯を増やして欲しい。
- 子どもそれぞれの個性を尊重する教育、子どもの意見を発信できる環境であってほしいと思います。
- 仕事がフルタイムなので、習いごとは学校の近くのそろばんくらいしかできない。習いごとなどの送迎サービスがあればもっといろいろ習わせることができるので。
- 子育て支援センター以外にも、室内で体を動かして遊べる施設があるとうれしい。公園の数を増やす、もしくは現在ある公園（荒巻公園以外）に遊具を増やすなどしてほしい。
- 町の離乳食教室に行き、各段階の目安が知れてよかったです。初期の1回だけではなく、10か月頃の後期にも、食べムラや好き嫌い、つかみ食べなど相談したいことが増えるので、2回目も開催していただけるとよかったなと思います。子育て支援センターを利用したい気持ちもありますが、感染対策や普段の実態がいまいち見えてこず、一度も利用したことがありません。ママドゥールさんの訪問には手遊び歌など教えてもらいよかったですが、なんとなく母乳信仰が強いのかなと、口ぶりから感じました。私自身、悩んでミルクに移行したので、そういうお母さんもいることを知っていただけたらと思います。
- 気軽に行ける交流の場を設けてほしい（なかなか一步が踏み出せないで）
- 近くに親せきはいないが、地元よりも子育て支援が充実していて大変満足している。情報収集のために広報をじっくり読むが支援センターや子ども食堂、図書館の情報があまりなくて「行ってもいいのかな？」となり、実際行く際に勇気がいりました。おたよりみたいな物があると、見ていて楽しいし、町の雰囲気も分かるような気がします。
- 子供と気軽に行ける場所をもっと増やしてほしいです。室内でたくさん体を動かせる場所が金ヶ崎町に限らず少ないなと思っています。外に行きたいけど暑すぎる寒すぎる時に行ける場所が増えたらいいなと思います。
- これから就業したいと思っているが学童に入れるか分からないと言われ動けない。学童の人数が多くては入れたいと思わないが長期休み働けないので他の選択肢がなくて困っている。3人子供がいるが病気になった時に困る。小児科はありがたいが耳鼻科、皮膚科に行くのも遠いし小学校の帰宅をまつと遅くなる。あと入院で付きそいした時など単身世帯に放課後サービスを短期で受けさせてほしい。
- このアンケートの問いが多すぎる。真剣に答えたいと思ったが答えているうちによく分からなくなりました。ちゃんと読んで答えるのに30分近くかかります。子育て中に負担です。計画作りに必要なのだと思いますが、計画を作ることを目的とせず計画を実行していただくことを望みます。
- 金ヶ崎町は他の市区町村と比べて手当や環境、支援など充実していると思います。ただ、保育所などが町なかに集中していて、預けてから職場までの通勤に時間がかかってしまいます。もう少し分散してくれたらなあと思うことがあります。

- 学童のおやつ制度を無くし、おやつは家庭から持たせるなど（1か月分とか）して学童の金額を下げてほしい。
- 学童を利用したいが金額が高く断念した。来年は小学生が2人になり、多少安くはなるが祖父母宅にお願いするしかない。ただ高齢になるのでそちらも心配。それと年間契約というのが困る。冬休み、夏休みだけの利用ができればありがたい。
- 生活のために両親共働きではあるが、子どもとゆとりをもって接する時間も本当は欲しい。経済的援助もしくは、賃金の上昇率により、短時間の労働により家庭での時間や経済的に余裕のある生活ができればいいと感じます。
- 習いごとをさせたいが送迎できず断念した。（両親フルタイム、祖母免許返納）登下校の際、熊出没、強風、ホワイトアウト時、上記のような時、タクシー利用や集団でマイクロバス等で送迎してほしい。お金はかかってもよい。（水沢のタクシー会社でありと聞いた）
- 話しがまちがえてるかもしれないが、卒業式が2名までになると、下の子たちはどこへ？家で1人でまたせるわけにもいかず、土よう日だと学童もあいてないファミサポ？学童を利用していないとそもそもの預かり先がない？
- 森山のプールをもっと利用させてあげたいです。長期休みにスクールバスを利用しての送迎やプール教室への送迎があるとうれしいです。長期休みのみでも学童など、子どもを預ける場所や小学校でもおもいっきり遊べる場所、雨や雪が降っても遊べる室内場がほしいです。
- 金ヶ崎では子どもの医療費、給食費の無償化でとても助かっています。学童保育も平日預かって下さり仕事できています。ありがとうございます。
- 保育園の先生によって親への伝え方がキツイ。きずつく。小児科が少ない。有住さんでは2才だとコロナやインフルの検査していないと言われた。村井さんしかない。12/29保育園休み→保育園以外の一時的にあずかりしらない。ファミサポでいこうあり。父母仕事（会社カレンダーによる）どこにあずければ
- 親が休みの日は園を休ませ家での保育をお願いされるが、親の心身の疲労についても理解してほしい。子どもと笑って過ごすため、平日、休日問わず、親のリフレッシュのために預かってくれる制度、施設（安心安全な）がほしい。いつも預けている園が一番安心します。・子育て支援センターの日、祝日の開放希望
- 現在、学児を利用させていただいてますが、仕事が定時で終わっても延長になってしまう時があります。原因は職場付近の帰宅ラッシュの混雑です。又、母親の方は単純に職場が少し遠いため間に合いません。なので学児の延長開始時間を30分遅くしていただきたいです。
- 来年度で三ヶ尻幼稚園が開園するという事で、開園後の施設の利用について、子供達が集えるような施設や、図書館など皆が利用できる様な場になってほしいと望んでいます。
- 花巻公園のように遊具がたくさんある公園を南方にも作ってほしい。せせらぎ公園はとても広いのに遊具がなさすぎる。新しい住宅地に小さな公園のような物も少しずつ増えているが小さいし遊びづらい。ボール遊びしづらいし、遊具もない。他の市町村の公園見てください！！住宅地の中心に見晴らしのいい安心安全の公園をぜひ！！
- 室内の遊び場が欲しい。
- 公園等のトイレ洋式化。小さい子向けのトイレがあると助かります。入園前の園庭開放（園見学、体験）が多くあると良い。感染症（コロナ）の登園（欠席）の基準、回復後の検査の

必要性等、町として統一して提示して欲しい。

- 就労しているしていない保護者に限らず、保育施設の条件（特に0～3歳）の保育施設に気軽に安心してお願いできるようにしてほしいです。併せて施設の職員さんにも負担にならずにお互いに充実できる環境になればいいなと思います。
- 給食費が無料になりとても助かってます。ありがとうございます。
- 子どもが遊べる場所がほしいです。特に屋内、雨や寒い日に家にいるとユーチューブばかりになってしまうからです。子育て支援センターは3歳以上になるともう遊べるものがないからです。・子どもが体調悪いと仕事を休まなければならなくて、それを職場に伝える事にストレスを感じます。もっと働きやすい世の中になるといいですね。・金ヶ崎診療所に耳鼻科を願います。
- 親の時間を大切にするあまり、子どもという時間がどんどん減っていくのは環境充実につながるのか疑問であり、子どものこと中心に考えると親という時間を持つことも子育ての環境充実につながるのではと考える。
- 教育環境の改善。学校の先生の指導がバラバラ。特に補助の先生の対応が悪い。発達障がいグレーゾーンの子が多いのか、幼い子が多いのか分からないが学級が落ちつかない。グレーゾーンの子であれば医療機関に繋げてほしい。いじめの対応もしっかりしてほしい。その時に解決しないと何年経っても終わらない。先生方にも「非を認める」気持ちを持ってほしい。
- 医療費無料、助かっています。ありがとうございます。
- 三ヶ尻幼稚園の閉園を中止にしてください。閉園が決まっても入園したい子供達があります。私の子供も入園従っていたので残念にしています。これ以上金ヶ崎の幼稚園を減らさないでください。金ヶ崎に認定こども園を増やしてください。預けたいのに預ける場所がありません片道20分の送りは大変です。
- 小中の医療費自己負担なしを続けていってもらえたらと思います。
- 産婦人科、小児科を町内に十分に備えてほしい。子どもを産むのに大事なことだと思う一番。
- ひとり親家庭にばかり手当て（補助金）が頻繁に支給されている印象（金ヶ崎に限らず国として）うちのように子ども3人の中間所得層は家計が苦しい。給食費無償などはとても助かっているので、その他の支援を充実してくれるとうれしいです。
- 金ヶ崎は住みやすい土地だと思います。子育てだけではなく福祉（老人、障害者向け）事業ももっと充実していたら、一生住みたいと思ってもらえるのではないかと思います。
- 北部地区在住ですが、保育施設（2歳未満）の選択肢が無く困りました。やむを得ず、街地区の施設へ入所予定ですが、10キロ以上はなれているため、時間やガソリン代などがかかります。補助などがあると助かると思います。（近くに施設があるのが一番望ましいですが）
- 病後児施設が何か所かあると親としても働きやすいと思う。昨年、母が第2子を出産後に上の子が連続して体調を崩し、1か月以上も保育園に預けられない状態で出産直後でしんどかった。仕事をしていても母ばかり有給が削られるのは良くないですし、職場に何度も頭を下げなければならず、とても心苦しい。子どもに八つ当たりしてしまうこともあった。
- 在宅育児支援など、すばやい経済的サポートに感謝しています。・近くに子どもが遊べる公園がなく困っています。金ヶ崎駅付近に遊び場がなく、荒巻公園まで車で移動していま

す。・友人らが、保育園がなかなか決まらないうと悩んでいました。スムーズに決まると職場復帰しやすい環境になると思います。

- 子育て支援センターのような室内でのびのび遊べるような場所をもっと増やしてほしいです。
- 冬の室内遊びができる場所を増やしてほしいなと思います
- 1歳未満～3歳までの保育料の支援がほしい。第一子からも4月から通わせるつもりだが、保育料がいくらになるのか恐怖しかないです。
- もっと子供が思いっきり遊べる施設や公園などがあつたら良いなと思います。
- 子育て支援センターの先生先生方にはとても助けられています。いつも温かく迎えて下さり、お声がけ頂き、ほっとできる貴重な場所です。先生方に出逢えたことで金ケ崎に住んでよかった。これからも住み続けたいと思いました。また、保健センターの職員の皆さまにも乳児の時からお世話になり、いつも親身になって頂いております。金ケ崎町の「みんなで子育て」というスローガンをありがたく感じております。ありがとうございます。
- 子ども医療費受給者証はとても助かっています。（風邪をひきやすい幼児がいるので）ファミサポでホームスタート事業がはじまればうれしいなと思います。
- 土、日や祝日など休みの日に室内で子供が遊べる施設があると助かります。有料でも良いので。（矢巾にあるやはパークのような子育て支援や遊び場、イベントも定期的に行っているようなところがあると良いなと思います。）
- 子供の命を預かる重責を担う保育士さんが低賃金なのはおかしいと思う。もっと待遇を上げるべき。
- 子どもが小学生入学後のことで、学童保育に入れる予定が無いため、子どもが友だちと気軽に安全に遊べるような場所があれば良いなと思っておりました。そのような場所があるのか無いのかも知らないなので情報もほしいです。
- 保育料や医療費、金銭的な支援は他の地域より進んでおり素晴らしいと思う。一方で時間の支援(気軽に預かってくれるサービス等)が遅れていると感じる。コロナ禍という事であり、親が休みの日は子供を休ませるようにと国から言われ、自分の時間が全て、確保できずやんでしまった時期があった。ファミサポは顔合わせ数日前予約等条件があり利用しづらい。北上のhokkoのような施設もしくは、常識の範囲内で親のリフレッシュの為の保育利用を認めて欲しい。
- 問28について、年齢が低いので何日休んだか分かりません。休む頻度は母親の方が多いです。
- 認定こども園を利用しているが、保育士の方の業務量が多く大変な様に感じる。質の良い保育の為には「保育士になりたい」と思える環境が大事だと思います。保育士の人数を増やしたり、賃金を上げるなどして頂きたいです。
- 気軽に遊びに行ける施設や理由にかかわらず気軽に子どもを預けられる託児所や学童などが金ケ崎町にはなく、就労したり、急な用事があり預けたいと思っていても、あきらめなければならない事が多々ありました。町内の一時預り保育も1カ所しかなく、預けたい日に園の都合があり断られ困っている保護者のお話を聞いた事があります。そのような施設が金ケ崎にもできてほしいと子育てをしてきて感じています。
- 子育てにかかる様々なものが無償になっていますが、教育現場への人材確保と増員、子どもたちが安心して過ごすことができる学校（校舎）の充実に力を入れて頂きたいです。手当て

や支援金は必ず子どもたちに還元されるものであってほしいと思います。

- 親の共働きで習い事などの送迎をしてもらえるようなサービスがあると助かります。
- 子供の町の医療費無償はとてありがたいです。学習塾や習いごとにもう少し選択肢があるといいと思います。
- 祝日、仕事になることが多く祝日でも小さな子を預けられる所がほしいです。
- 兄弟は同じ保育園に入れるようにして下さい。（我が家には関係ないのですが）家庭の問題が見逃されやすくなる、送迎の負担が大きい。行事が同じ日になったりして子も親もかなしいから。このアンケートの質問が多くて負担なのでもう少し考えて作って下さい。
- 親が子供の給食費を支払うのは当たり前のことなので、無償にするのではなく、より良いものを提供して欲しいです。無償化して内容が変わっているのではと心配です。コロナ禍の影響もあってか、色々な人との触れ合う場面が減っていて残念に思います。
- 低所得世帯だけでなく、ひとり親、子育て世帯への支援の拡充を希望します。（経済的支援）
- 給食費無料はありがたいですが、「手作り弁当の日」負担なので、なくして欲しいです。小学生が放課後、休日に遊べる室内施設があると良いと思います。（天気によって左右されて子供の居場所がないので）きつずクラブの長期休みのイベントのお知らせを早めにお知らせもらえると予定を決めやすいです。行きたいイベントが同日だったりするにでいつも残念に思います。永岡小と西小でやっている県南青少年の家の宿泊通学希望者も参加させてほしいです。（今のところ永岡小と西小しかない行事ですね）
- 生涯に渡って“金ヶ崎町に住む”ためのきっかけづくり、仕組みづくりをして欲しい。今のところ「両親の援助が受けられるから金ヶ崎町に住む」という理由しか金ヶ崎町に住み続けるメリットがない。老人は、数年したら働けなくなってしまうことを考えると、若い働き手の定住、子育て家族の定住など将来30年40年に渡って住みたい、働きたい、と思えるような仕組みを増やさないと金ヶ崎町の人口は減る一方だ。地方自治体のため、老人への援助も必要とは思いますが、もっと若い人を向いた町づくりをして欲しい。
- 金ヶ崎町は子育て支援なども充実していると思いますし、町民はとてもやさしいですし住みやすい町だと感じております。核家族化が進んでいる現在、子どもが体調不良になった時にはだいたい母親が仕事を休んだりしないといけなく場合が多く、その時に減給となります。それが大変、という声も私含め友人も話していました。感染症だと一週間休みなどなので大幅な減給です。お金が足りないと心にも余裕がなくなりイライラしがちになり悪循環です。ぜひ児童手当UPをお願いしたいです（小学生までなど）。保護者の資格取得のための教育の機会を、例えば週1で全8回みたいな感じで設けるのもすごく良いと思いました。（働きながら通えるように）出産後に退職して時短勤務をはじめた（別会社で）という親のためにも子どもが10歳になるまで手当がでたりするような制度があれば今後女性の出産率も上がるのかなとも思います。仕事をやめたくない、続けたい（経済的に）という女性のため。
- 町の検診を受ける時など、保育園または幼稚園に通っていない子どもを同伴しなければいけない時、事前に知らせて当日は小さくて良いのでキッズスペースなど子どもが待てられる場所を設けて欲しいです。もしくは、土曜、日曜日の検診日を増やしていただくか、日時の確保が難しい場合は土日の検診日で受診したいと思います。
- 熊出没する時期や、冬期間、安全に学校へ登校できるスクールバスを運行してほしいです。

- 子どもが小さい頃、保育園を探すタイミングで、ゆうゆう保育園が閉園しました。場所的にも通いやすく、ありがたかったです。本来は企業内の方のための施設を一般の方も利用できるようにして下さり、助かりました。
- 金ヶ崎には子供が遊べる屋内施設がほぼないので、北上や水沢などに出掛けなくてはならないので、金ヶ崎にも小さい子…小学生までが遊べる施設ができたらいいなと思っています。森山総合運動公園が屋内外共に子供向けの施設を増やすなどして繁栄したらいいなと思います。
- 医療制度の拡充は今後も継続を、小学校（中学？）の学校給食費は無償化すべき。
- 休日に子どもが遊べる場所が少ない（公共施設、民間どちらでも）
- 通学路の安全確保（道路整備やスクールバスの充実）冬の悪天候の際、安全に登下校出来るように、現状のスクールバスのコース以外の地域も利用出来るようにしてほしい。（冬以外にも熊の目撃も多く、歩かせるのが不安）
- 匿名かつメールで子育ての相談ができるサービス（電話や対面だと話しにくいため。すでにあるサービスでしたらすみません）町内の飲食店や施設の子供（赤ちゃんから）も利用しやすい環境づくり遊べる場所も増やしてほしい（例えばみどりの郷のところ。プール、スケート、いちご狩りなど子供を連れていくのにとっても最適な場所だったので、なくなってしまっ残念です。温泉内の子供の遊び場も好きだったのでまた営業してほしいです。）

第3章 中学生以上ニーズ調査

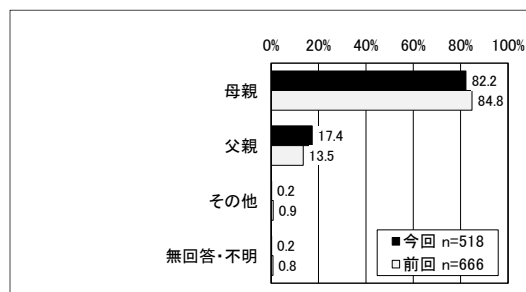
I 対象のお子さんご家族の状況

1. 回答者

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。対象のお子さんからみた関係でお答えください。(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 母親	426	82.2	565	84.8
2 父親	90	17.4	90	13.5
3 その他	1	0.2	6	0.9
無回答・不明	1	0.2	5	0.8
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



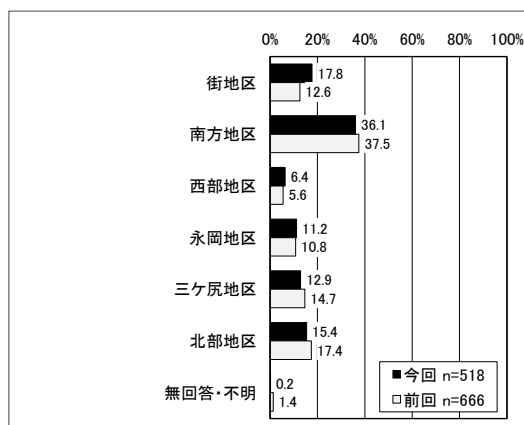
「母親」が82.2%とほとんどを占め、「父親」が17.4%になっている。小学生以下調査と比較すると「父親」が高くなっている。また、前回と比較しほとんど変化はない。

2. 居住地区

問2 お住まいの地区はどちらですか。(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 街地区	92	17.8	84	12.6
2 南方地区	187	36.1	250	37.5
3 西部地区	33	6.4	37	5.6
4 永岡地区	58	11.2	72	10.8
5 三ヶ尻地区	67	12.9	98	14.7
6 北部地区	80	15.4	116	17.4
無回答・不明	1	0.2	9	1.4
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

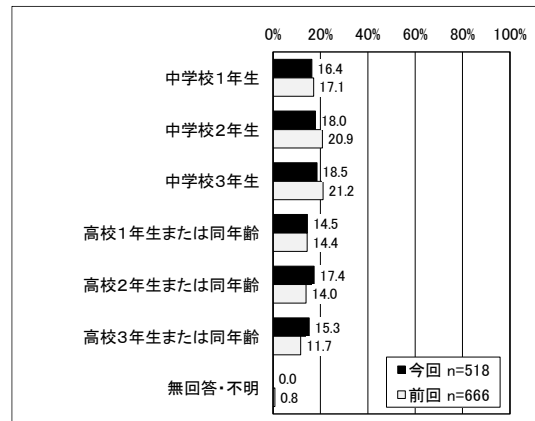


「南方地区」が36.1%で最も高く、「街地区」(17.8%)、「北部地区」(15.4%)、「三ヶ尻地区」(12.1%)と続く。小学生以下調査とほぼ同様である。前回と比較し、「町地区」が若干上昇している。

3. 学年

問3 中学生以上のお子さんは何年生ですか。該当するお子さん全てを選択してください。(いくつでも)

単位:回答数(件),構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 中学校1年生	85	16.4	114	17.1
2 中学校2年生	93	18.0	139	20.9
3 中学校3年生	96	18.5	141	21.2
4 高校1年生または同年齢	75	14.5	96	14.4
5 高校2年生または同年齢	90	17.4	93	14.0
6 高校3年生または同年齢	79	15.3	78	11.7
無回答・不明	0	0.0	5	0.8
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

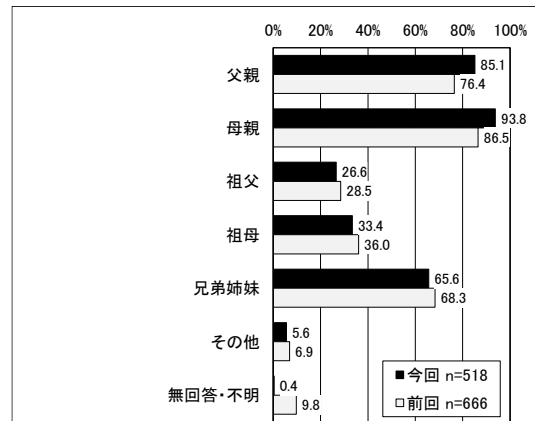


「中学3年生」が18.5%で最も高く、「中学2年生」(18.0%)、「高校2年生または同年齢」(17.4%)、「中学1年生」(16.4%)、「高校3年生または同年齢」(15.3%)、「高校1年生または同年齢」(14.5%)と続く。各学年ほぼ均等の構成担っている。前回と比較しほとんど変化はない。

4. 同居者

問4 普段、対象のお子さんと一緒に住まいの方はどなたですか。(いくつでも)

単位:回答数(件),構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 父親	441	85.1	509	76.4
2 母親	486	93.8	576	86.5
3 祖父	138	26.6	190	28.5
4 祖母	173	33.4	240	36.0
5 兄弟姉妹	340	65.6	455	68.3
6 その他	29	5.6	46	6.9
無回答・不明	2	0.4	65	9.8
回答数合計	1609	310.6	2081	312.5
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



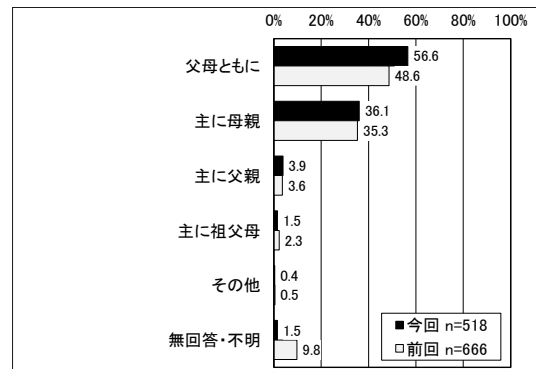
「母親」が93.8%で最も高く、「父親」は85.1%になっている。以下、「兄弟姉妹」(65.6%)、「祖母」(33.4%)、「祖父」(26.6%)と続く。小学生以下調査と比較し、「父親」が低く、「兄弟姉妹」「祖母」「祖父」が高くなっている。また前回と比較し、「父親」「母親」が上昇している。

5. 主に子育てをしている者

問5 対象のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で1つを選択してください。

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 父母ともに	293	56.6	324	48.6
2 主に母親	187	36.1	235	35.3
3 主に父親	20	3.9	24	3.6
4 主に祖父母	8	1.5	15	2.3
5 その他	2	0.4	3	0.5
無回答・不明	8	1.5	65	9.8
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



「父母ともに」が56.6%で最も高く、「主に母親」が36.1%で続く。小学生以下調査と比較し、「父母ともに」が低下している。また前回と比較し、「父母ともに」が上昇している。

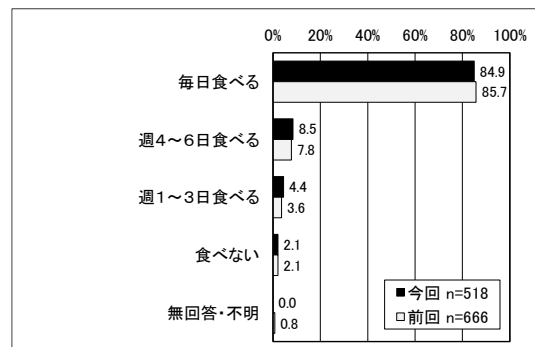
Ⅱ 食事

★お子さんの普段の食事の状況についてお聞きます。食事の仕方が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

1. 朝食の状況

問6 お子さんの朝食の状況について(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 毎日食べる	440	84.9	571	85.7
2 週4～6日食べる	44	8.5	52	7.8
3 週1～3日食べる	23	4.4	24	3.6
4 食べない	11	2.1	14	2.1
無回答・不明	0	0.0	5	0.8
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

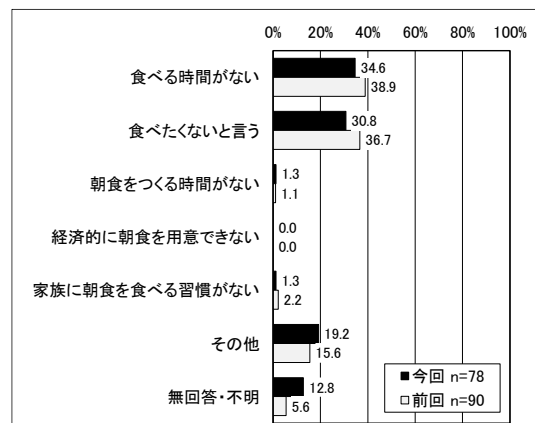


「毎日食べる」が84.9%を占め、「週4～6日食べる」(8.5%)と続く。小学生以下調査と比較し、「毎日食べる」が低くなっている。また前回と比較しほとんど変化はない。

2. 欠食理由

問6で「1. 毎日食べる」と回答した方以外にお聞きます。
問7 お子さんが朝食を食べない時の理由について(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 食べる時間がない	27	34.6	35	38.9
2 食べたくないと言う	24	30.8	33	36.7
3 朝食をつくる時間がない	1	1.3	1	1.1
4 経済的に朝食を用意できない	0	0.0	0	0.0
5 家族に朝食を食べる習慣がない	1	1.3	2	2.2
6 その他	15	19.2	14	15.6
無回答・不明	10	12.8	5	5.6
回答者数合計	78	100.0	90	100.0



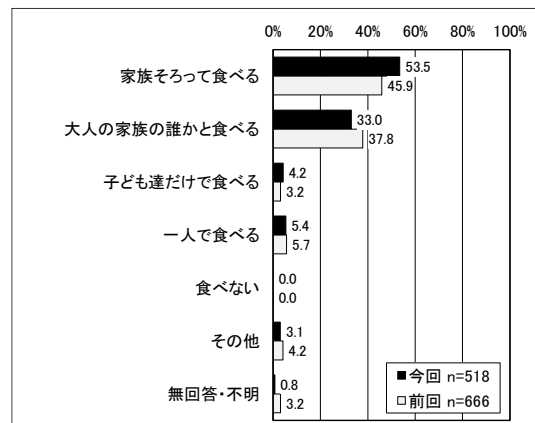
「食べる時間がない」が34.6%で最も高く、「食べたくないと言う」(30.8%)が続く。小学生以下調査と比較し、「食べる時間がない」が大幅に高くなっている。また前回と比較し、「食べる時間がない」「食べたくないと言う」がともに若干低下している。

3. 夕食の状況

問8 お子さんの夕食の状況について(1つのみ)

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 家族そろって食べる	277	53.5	306	45.9
2 大人の家族の誰かと食べる	171	33.0	252	37.8
3 子ども達だけで食べる	22	4.2	21	3.2
4 一人で食べる	28	5.4	38	5.7
5 食べない	0	0.0	0	0.0
6 その他	16	3.1	28	4.2
無回答・不明	4	0.8	21	3.2
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



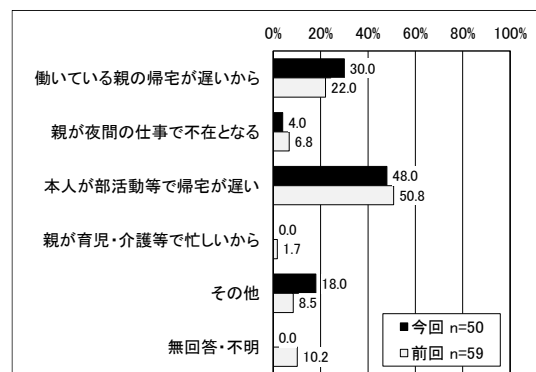
「家族そろって食べる」が53.5%で最も高く、「大人の家族の誰かと食べる」(33.0%)が続く。小学生以下調査と比較し、「家族そろって食べる」が若干高くなっている。また前回と比較し、「家族そろって食べる」が上昇している。

4. 問9 孤食理由

問8で「3. 子ども達だけで食べる」「4. 一人で食べる」と回答した方にお聞きます。
問9 お子さんが夕食を子どもだけで食べるもっとも大きな理由について(1つのみ)

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 働いている親の帰宅が遅いから	15	30.0	13	22.0
2 親が夜間の仕事で不在となる	2	4.0	4	6.8
3 本人が部活動等で帰宅が遅い	24	48.0	30	50.8
4 親が育児・介護等で忙しいから	0	0.0	1	1.7
5 その他	9	18.0	5	8.5
無回答・不明	0	0.0	6	10.2
回答者数合計	50	100.0	59	100.0



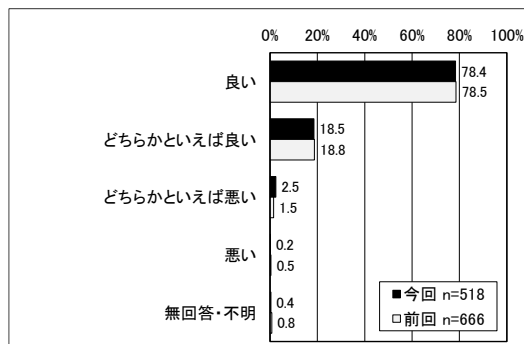
「本人が部活動等で帰宅が遅い」が48.0%で最も高く、「働いている親の帰宅が遅いから」(30.0%)、「その他」(39.0%)と続く。小学生以下調査と比較し、「本人が部活動で帰宅が遅い」が第1の理由になっている。また前回と比較し、「働いている親の帰宅が遅いから」が上昇している。

Ⅲ 健康状態

1. 健康状態

問10 お子さんの健康状態について(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 良い	406	78.4	523	78.5
2 どちらかといえば良い	96	18.5	125	18.8
3 どちらかといえば悪い	13	2.5	10	1.5
4 悪い	1	0.2	3	0.5
無回答・不明	2	0.4	5	0.8
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

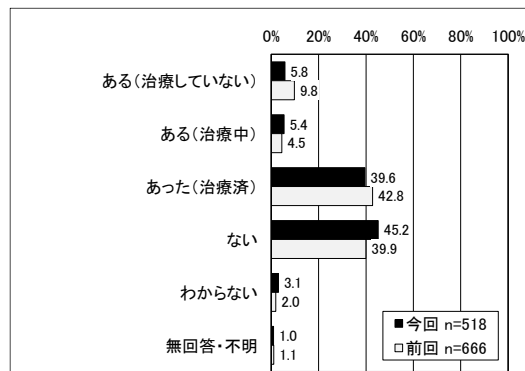


「良い」が78.4%を占める。小学生以下調査と比較しほとんど差はない。また前回と比較しほとんど変化はない。

2. 虫歯の状況

問11 お子さんの虫歯の状況について(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 ある(治療していない)	30	5.8	65	9.8
2 ある(治療中)	28	5.4	30	4.5
3 あった(治療済)	205	39.6	285	42.8
4 ない	234	45.2	266	39.9
5 わからない	16	3.1	13	2.0
無回答・不明	5	1.0	7	1.1
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



「ない」が45.2%で最も高く、「あった(治療済)」(39.6%)が続く。小学生以下調査と比較し、「あった(治療済)」が高くなっている。また前回と比較し、「ない」が若干上昇している。

Ⅳ 家庭生活・学校生活

1. 過去1か月間の子どもの様子

問12 次の①から⑧で過去1か月のお子さんの様子について、それぞれ1つを選択してください。

(1) 「当てはまる」回答の比較

「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」を合わせた「当てはまる」の構成比を比較すると以下の通りである。

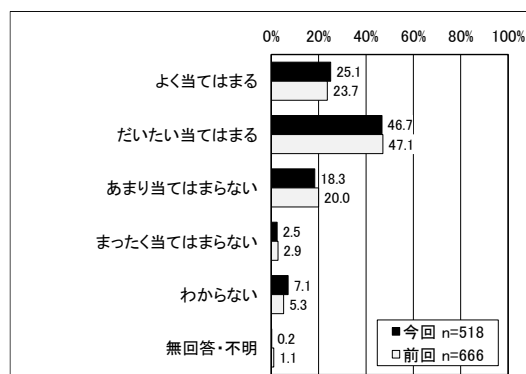
事業名	「当てはまる」の構成比 (%)		前回・ 今回の差
	今回	前回	
① 将来についての夢や希望を持っている	71.8	70.8	+1.0
② 何事にも一生懸命取り組むことが多い	77.4	81.0	-3.6
③ 学校の出来事について話す	75.5	74.3	+1.2
④ 近所の人にきちんとあいさつすることができる	80.9	82.8	-1.9
⑤ 大人が指示しなくても、自分で学校の準備、宿題、家の手伝いができる	73.7	75.9	-2.2
⑥ 必要な時には助けを求めることができる	86.9	86.8	+0.1
⑦ 目的を達成するために、必要な我慢をすることができる	79.4	78.1	+1.3
⑧ わからないことがあるとき、質問をすることができる	78.3	81.5	-3.2

「当てはまる」の回答が最も高いのは、「⑥ 必要な時には助けを求めることができる」の86.9%で、「④ 近所の人にきちんとあいさつすることができる」(80.9%)、「⑦ 目的を達成するために、必要な我慢をすることができる」(79.4%)と続く。一方、最も低いのは「① 将来についての夢や希望を持っている」の71.8%である。前回と比較し、構成比が最も上昇しているのが「⑦ 目的を達成するために、必要な我慢をすることができる」の+1.3ポイントで、一方、最も低下しているのが「② 何事にも一生懸命取り組むことが多い」の-3.6ポイントである。

① 将来についての夢や希望を持っている

単位：回答数(件)、構成比(%)

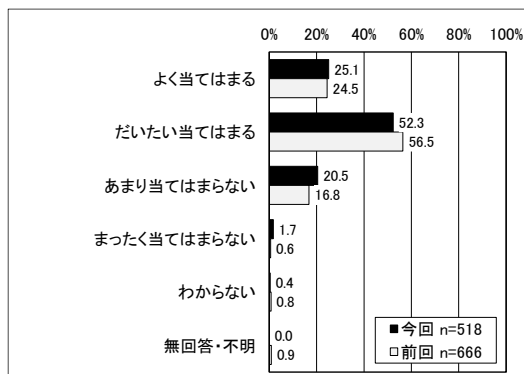
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 よく当てはまる	130	25.1	158	23.7
2 だいたい当てはまる	242	46.7	314	47.1
3 あまり当てはまらない	95	18.3	133	20.0
4 まったく当てはまらない	13	2.5	19	2.9
5 わからない	37	7.1	35	5.3
無回答・不明	1	0.2	7	1.1
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



② 何事にも一生懸命取り組むことが多い

単位：回答数(件),構成比(%)

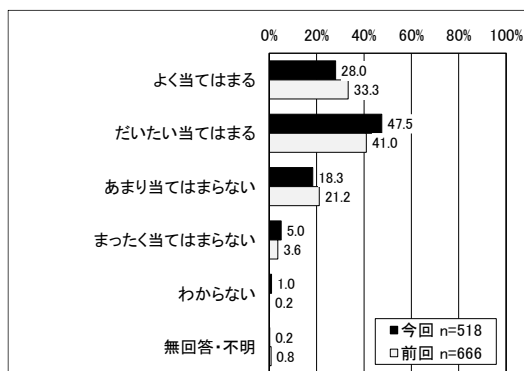
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 よく当てはまる	130	25.1	163	24.5
2 だいたい当てはまる	271	52.3	376	56.5
3 あまり当てはまらない	106	20.5	112	16.8
4 まったく当てはまらない	9	1.7	4	0.6
5 わからない	2	0.4	5	0.8
無回答・不明	0	0.0	6	0.9
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



③ 学校の出来事について話す

単位：回答数(件),構成比(%)

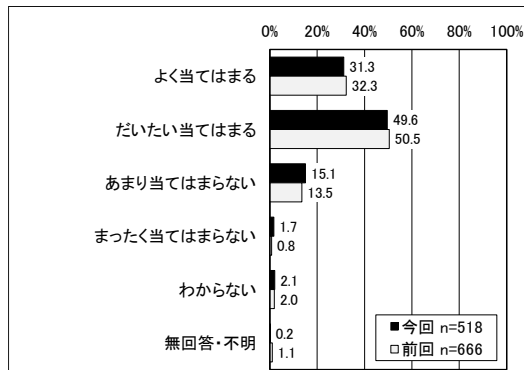
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 よく当てはまる	145	28.0	222	33.3
2 だいたい当てはまる	246	47.5	273	41.0
3 あまり当てはまらない	95	18.3	141	21.2
4 まったく当てはまらない	26	5.0	24	3.6
5 わからない	5	1.0	1	0.2
無回答・不明	1	0.2	5	0.8
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



④ 近所の人にきちんとあいさつすることができる

単位：回答数(件),構成比(%)

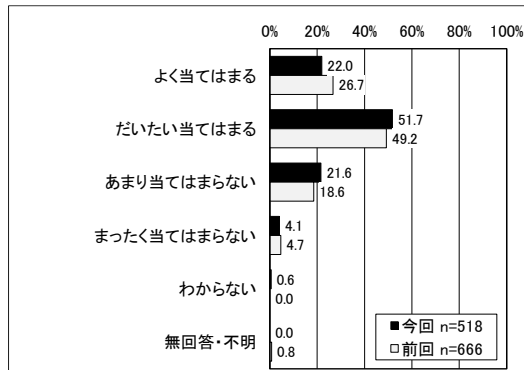
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 よく当てはまる	162	31.3	215	32.3
2 だいたい当てはまる	257	49.6	336	50.5
3 あまり当てはまらない	78	15.1	90	13.5
4 まったく当てはまらない	9	1.7	5	0.8
5 わからない	11	2.1	13	2.0
無回答・不明	1	0.2	7	1.1
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



⑤ 大人が指示しなくても、自分で学校の準備、宿題、家の手伝いができる

単位：回答数(件),構成比(%)

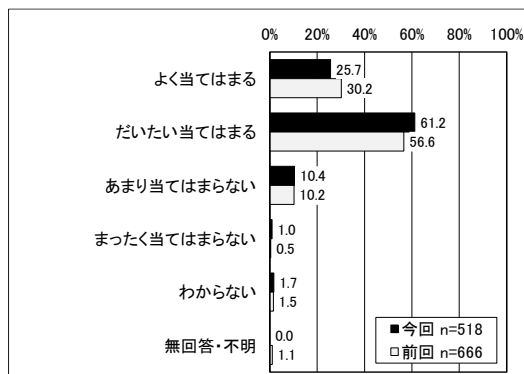
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 よく当てはまる	114	22.0	178	26.7
2 だいたい当てはまる	268	51.7	328	49.2
3 あまり当てはまらない	112	21.6	124	18.6
4 まったく当てはまらない	21	4.1	31	4.7
5 わからない	3	0.6	0	0.0
無回答・不明	0	0.0	5	0.8
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



⑥ 必要な時には助けを求めることができる

単位：回答数(件),構成比(%)

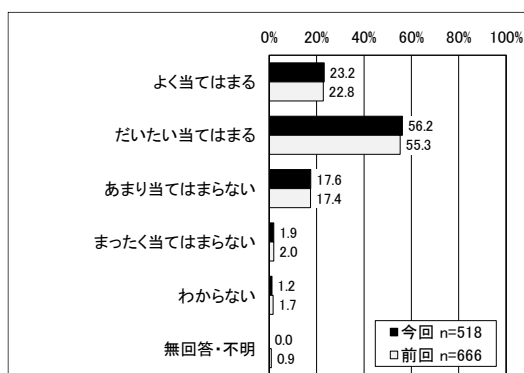
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 よく当てはまる	133	25.7	201	30.2
2 だいたい当てはまる	317	61.2	377	56.6
3 あまり当てはまらない	54	10.4	68	10.2
4 まったく当てはまらない	5	1.0	3	0.5
5 わからない	9	1.7	10	1.5
無回答・不明	0	0.0	7	1.1
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



⑦ 目的を達成するために、必要な我慢をすることができる

単位：回答数(件),構成比(%)

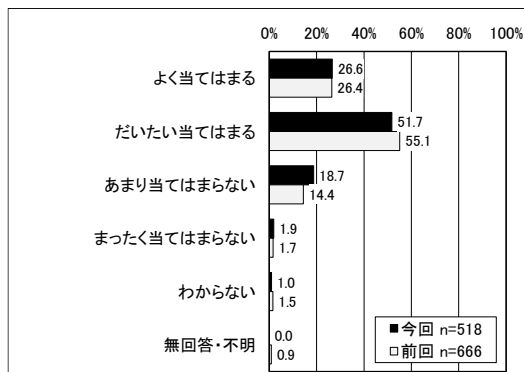
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 よく当てはまる	120	23.2	152	22.8
2 だいたい当てはまる	291	56.2	368	55.3
3 あまり当てはまらない	91	17.6	116	17.4
4 まったく当てはまらない	10	1.9	13	2.0
5 わからない	6	1.2	11	1.7
無回答・不明	0	0.0	6	0.9
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



⑧ わからないことがあるとき、質問をすることができる

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 よく当てはまる	138	26.6	176	26.4
2 だいたい当てはまる	268	51.7	367	55.1
3 あまり当てはまらない	97	18.7	96	14.4
4 まったく当てはまらない	10	1.9	11	1.7
5 わからない	5	1.0	10	1.5
無回答・不明	0	0.0	6	0.9
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

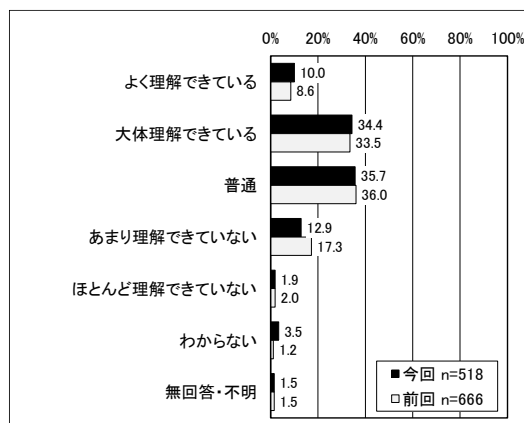


2. 学習の理解度

問13 あなたからみて、お子さんの学校での学習の理解状況について、該当する番号を1つ選択してください。

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 よく理解できている	52	10.0	57	8.6
2 大体理解できている	178	34.4	223	33.5
3 普通	185	35.7	240	36.0
4 あまり理解できていない	67	12.9	115	17.3
5 ほとんど理解できていない	10	1.9	13	2.0
6 わからない	18	3.5	8	1.2
無回答・不明	8	1.5	10	1.5
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



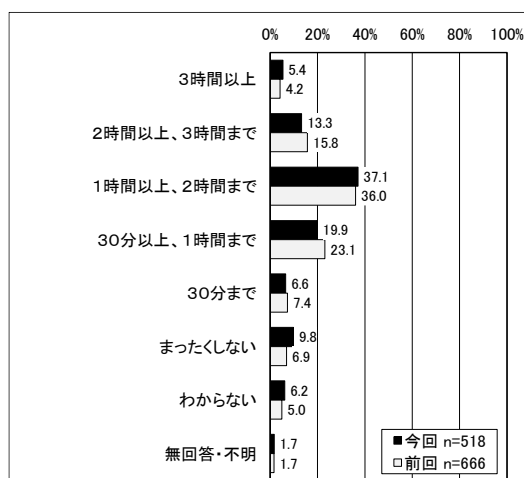
「普通」が35.7%で最も高く、「大体理解できている」が34.4%で続く。前回と比較しほとんど変化はない。

3. 学校以外での学習時間

問14 お子さんは学校が終わってから、普段(月～金曜日)、塾の時間を含め家庭などで1日あたりどのくらいの時間、勉強していますか。(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 3時間以上	28	5.4	28	4.2
2 2時間以上、3時間まで	69	13.3	105	15.8
3 1時間以上、2時間まで	192	37.1	240	36.0
4 30分以上、1時間まで	103	19.9	154	23.1
5 30分まで	34	6.6	49	7.4
6 まったくしない	51	9.8	46	6.9
7 わからない	32	6.2	33	5.0
無回答・不明	9	1.7	11	1.7
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

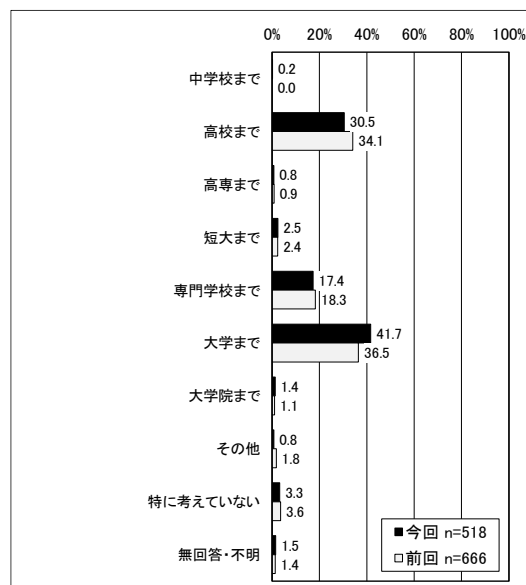


「1時間以上、2時間まで」が37.1%で最も高く、「30分以上、1時間まで」(19.9%)、「2時間以上、3時間まで」(13.3%)と続く。前回と比較しほとんど変化はない。

4. 現実的な最終学歴

問15 お子さんは、現実的にどの段階の学校まで進むと考えていますか。(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 中学校まで	1	0.2	0	0.0
2 高校まで	158	30.5	227	34.1
3 高専まで	4	0.8	6	0.9
4 短大まで	13	2.5	16	2.4
5 専門学校まで	90	17.4	122	18.3
6 大学まで	216	41.7	243	36.5
7 大学院まで	7	1.4	7	1.1
8 その他	4	0.8	12	1.8
9 特に考えていない	17	3.3	24	3.6
無回答・不明	8	1.5	9	1.4
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

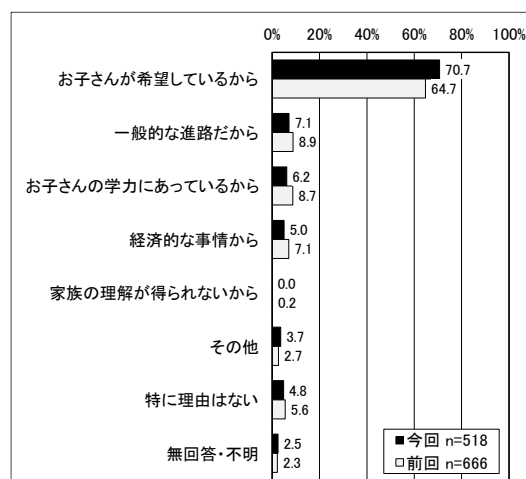


「大学まで」が41.7%で最も高く、「高校まで」(30.5%)、「専門学校まで」(17.4%)と続く。前回と比較しほとんど変化はない。

5. 最終学歴選択理由

問16 あなたが問15のようにお考えになる理由は何ですか。(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 お子さんが希望しているから	366	70.7	431	64.7
2 一般的な進路だから	37	7.1	59	8.9
3 お子さんの学力にあっているから	32	6.2	58	8.7
4 経済的な事情から	26	5.0	47	7.1
5 家族の理解が得られないから	0	0.0	1	0.2
6 その他	19	3.7	18	2.7
7 特に理由はない	25	4.8	37	5.6
無回答・不明	13	2.5	15	2.3
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

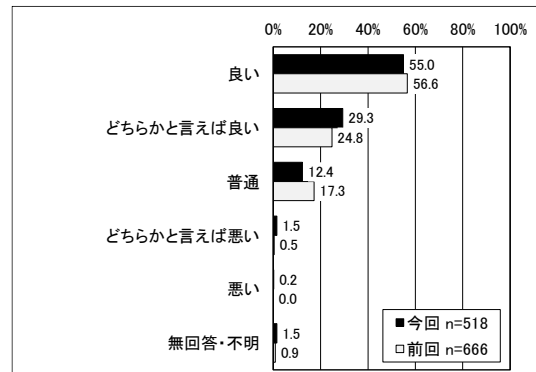


「お子さんが希望しているから」が70.7%を占める。その他の理由はすべて10%未満である。前回と比較し、「お子さんが希望しているから」が若干上昇しています。

6. 子どもとの関係性

問17 あなたとお子さんの関係はいかがですか。(1つのみ)

選択肢	単位:回答数(件),構成比(%)			
	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 良い	285	55.0	377	56.6
2 どちらかと言えば良い	152	29.3	165	24.8
3 普通	64	12.4	115	17.3
4 どちらかと言えば悪い	8	1.5	3	0.5
5 悪い	1	0.2	0	0.0
無回答・不明	8	1.5	6	0.9
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

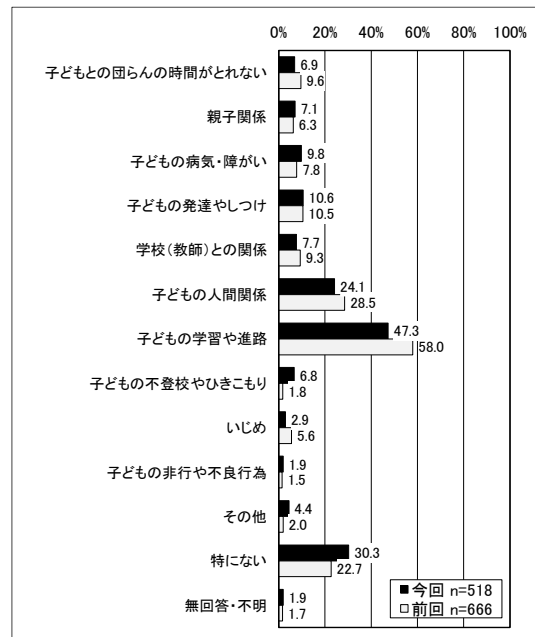


「良い」が55.0%を占め、「どちらかと言えば良い」(29.3%)、「普通」(12.4%)と続く。前回と比較し、「どちらかと言えば良い」が若干上昇している。

7. 子どもに関して心配なこと

問18 お子さんに関して心配なことは何ですか。(いくつでも)

選択肢	単位:回答数(件),構成比(%)			
	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 子どもとの団らんの時間がとれない	36	6.9	64	9.6
2 親子関係	37	7.1	42	6.3
3 子どもの病気・障がい	51	9.8	52	7.8
4 子どもの発達やしつけ	55	10.6	70	10.5
5 学校(教師)との関係	40	7.7	62	9.3
6 子どもの人間関係	125	24.1	190	28.5
7 子どもの学習や進路	245	47.3	386	58.0
8 子どもの不登校やひきこもり	35	6.8	12	1.8
9 いじめ	15	2.9	37	5.6
10 子どもの非行や不良行為	10	1.9	10	1.5
11 その他	23	4.4	13	2.0
12 特にない	157	30.3	151	22.7
無回答・不明	10	1.9	11	1.7
回答数合計	839	162.0	1100	165.2
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



「子どもの学習や進路」が47.3%で最も高く、「特にない」(30.3%)、「子どもの人間関係」(24.1%)と続く。前回と比較し、「子どもの学習や進路」が低下し、「特にない」が上昇している。

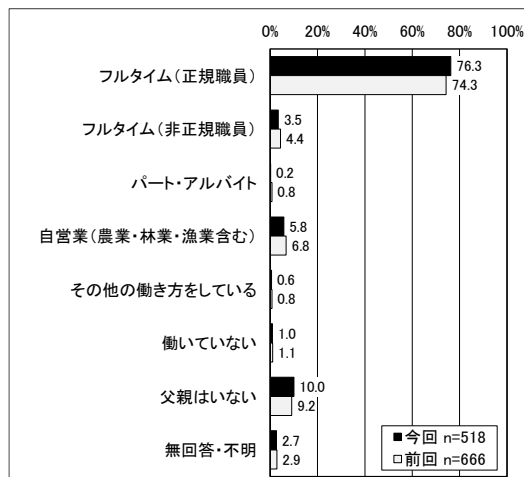
V 就労状況

1. 父親の就労状況

問19 父親の現在のお仕事は次のどれに最も近いですか。(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 フルタイム(正規職員)	395	76.3	495	74.3
2 フルタイム(非正規職員)	18	3.5	29	4.4
3 パート・アルバイト	1	0.2	5	0.8
4 自営業(農業・林業・漁業含む)	30	5.8	45	6.8
5 その他の働き方をしている	3	0.6	5	0.8
6 働いていない	5	1.0	7	1.1
7 父親はいない	52	10.0	61	9.2
無回答・不明	14	2.7	19	2.9
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



「フルタイム(正規職員)」が76.3%を占め、その他は10%未満となっている。前回と比較しほとんど変化はない。

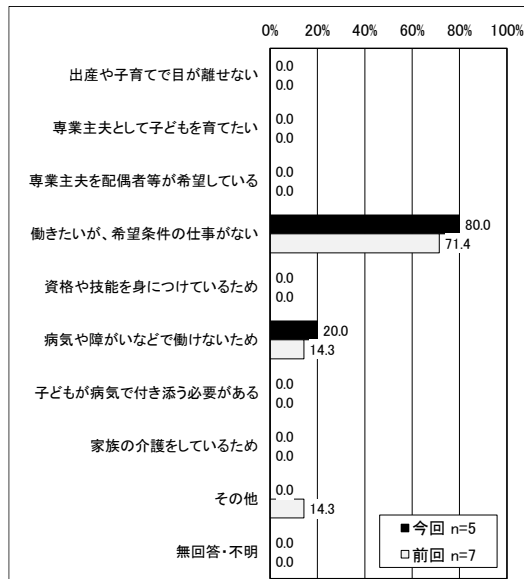
2. 父親が働いていない理由

問19で「6. 働いていない」と回答した方にお聞きます。

問20 父親の現在の状況に最も近いと思うものは何ですか。(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 出産や子育てで目が離せない	0	0.0	0	0.0
2 専業主夫として子どもを育てたい	0	0.0	0	0.0
3 専業主夫を配偶者等が希望している	0	0.0	0	0.0
4 働きたいが、希望条件の仕事がない	4	80.0	5	71.4
5 資格や技能を身につけているため	0	0.0	0	0.0
6 病気や障がいなどで働けないため	1	20.0	1	14.3
7 子どもが病気で付き添う必要がある	0	0.0	0	0.0
8 家族の介護をしているため	0	0.0	0	0.0
9 その他	0	0.0	1	14.3
無回答・不明	0	0.0	0	0.0
回答者数合計	5	100.0	7	100.0



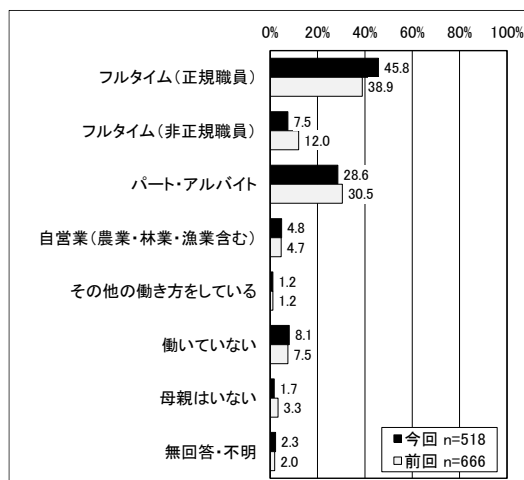
「働いていない」との回答者は5人で、そのうち4人が「働きたいが、希望条件の仕事がない」、1人が「病気や障がいなどで働けないため」との回答である。

3. 母親の就労状況

問21 母親の現在のお仕事は次のどれに最も近いですか。(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 フルタイム(正規職員)	237	45.8	259	38.9
2 フルタイム(非正規職員)	39	7.5	80	12.0
3 パート・アルバイト	148	28.6	203	30.5
4 自営業(農業・林業・漁業含む)	25	4.8	31	4.7
5 その他の働き方をしている	6	1.2	8	1.2
6 働いていない	42	8.1	50	7.5
7 母親はいない	9	1.7	22	3.3
無回答・不明	12	2.3	13	2.0
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



「フルタイム(正規職員)」が45.8%で最も高く、「パート・アルバイト」(28.6%)が続く。前回と比較し、「フルタイム(正規職員)」が上昇している。

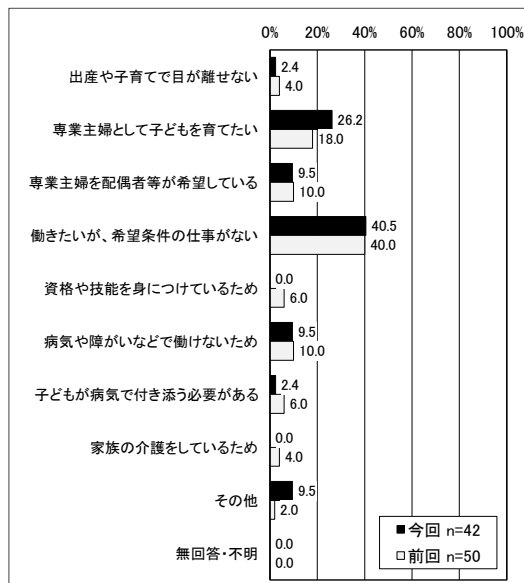
4. 母親が働いていない理由

問21で「6. 働いていない」と回答した方にお聞きます。

問22 母親の現在の状況に最も近いと思うものは何ですか。(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 出産や子育てで目が離せない	1	2.4	2	4.0
2 専業主婦として子どもを育てたい	11	26.2	9	18.0
3 専業主婦を配偶者等が希望している	4	9.5	5	10.0
4 働きたいが、希望条件の仕事がない	17	40.5	20	40.0
5 資格や技能を身につけているため	0	0.0	3	6.0
6 病気や障がいなどで働けないため	4	9.5	5	10.0
7 子どもが病気で付き添う必要がある	1	2.4	3	6.0
8 家族の介護をしているため	0	0.0	2	4.0
9 その他	4	9.5	1	2.0
無回答・不明	0	0.0	0	0.0
回答者数合計	42	100.0	50	100.0



「働きたいが、希望条件の仕事がない」が40.5%で、父親同様最も高く、「専業主婦として子どもを育てない」(26.2%)が続く。前回と比較し、「専業主婦として子どもを育てたい」が上昇している。

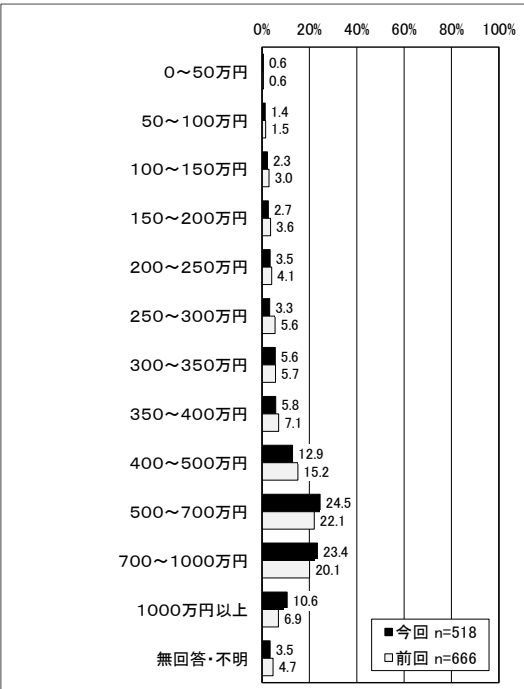
VI 現在の暮らし向き

問23 対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業（幼稚園、保育所など施設等）の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（1つのみ）
希望がある場合は、利用したい時間帯（24時間制（例）09時～18時）を 内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字） なおこれらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 世帯所得

問23 あなたの世帯全体の令和4年の年収（税金・社会保険料の控除前）はいくらですか。（1つのみ）

単位：回答数（件）、構成比（％）				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 0～50万円	3	0.6	4	0.6
2 50～100万円	7	1.4	10	1.5
3 100～150万円	12	2.3	20	3.0
4 150～200万円	14	2.7	24	3.6
5 200～250万円	18	3.5	27	4.1
6 250～300万円	17	3.3	37	5.6
7 300～350万円	29	5.6	38	5.7
8 350～400万円	30	5.8	47	7.1
9 400～500万円	67	12.9	101	15.2
10 500～700万円	127	24.5	147	22.1
11 700～1000万円	121	23.4	134	20.1
12 1000万円以上	55	10.6	46	6.9
無回答・不明	18	3.5	31	4.7
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

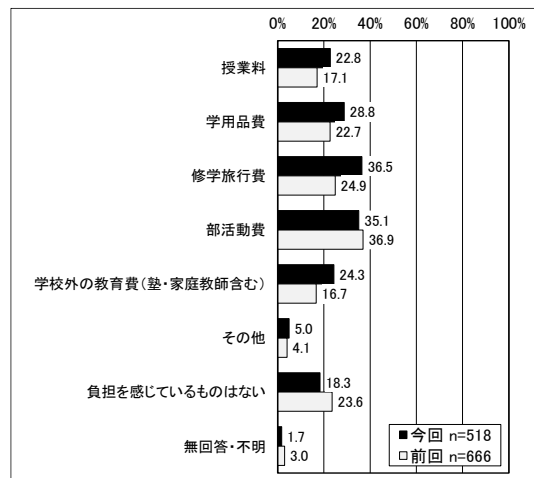


「500～700万円」が24.5％で最も高く、「700～1000万円」（23.4％）、「400～500万円」（12.9％）、「1000万円以上」（10.6％）と続く。前回と比較し、500万円以上の価格帯で若干上昇している。

2. 教育経費で負担が大きいもの

問24 お子さんの教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものはありますか。(いくつでも)

単位:回答数(件),構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 授業料	118	22.8	114	17.1
2 学用品費	149	28.8	151	22.7
3 修学旅行費	189	36.5	166	24.9
4 部活動費	182	35.1	246	36.9
5 学校外の教育費(塾・家庭教師含む)	126	24.3	111	16.7
6 その他	26	5.0	27	4.1
7 負担を感じているものはない	95	18.3	157	23.6
無回答・不明	9	1.7	20	3.0
回答数合計	894	172.6	992	148.9
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



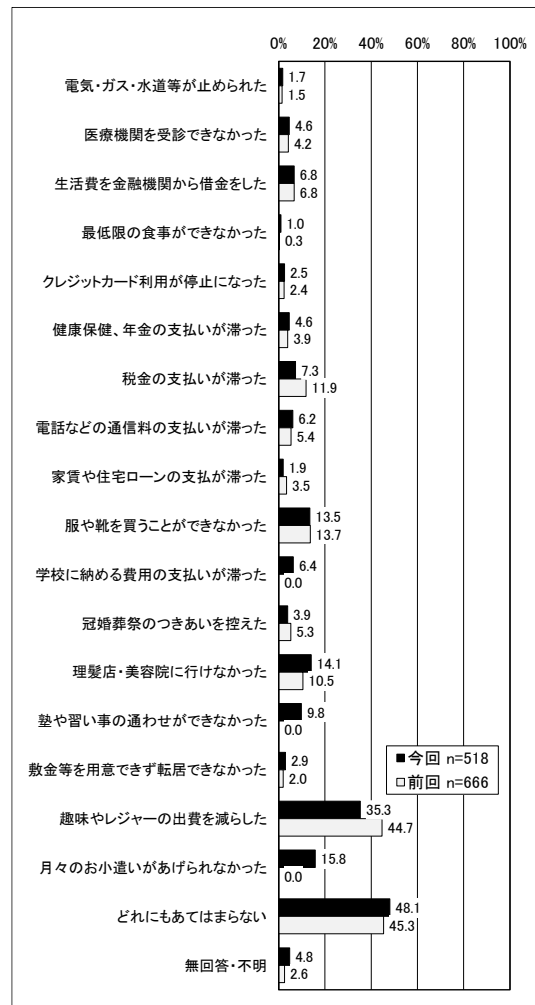
「就学旅行費」が36.5%で最も高く、「部活動費」(35.1%)、「学用品費」(28.8%)と続く。前回と比較し、「修学旅行費」「学校外の教育費(塾、家庭教師含む)」が上昇している。

3. 経済的理由での経験

問25 あなたの世帯では、おおむね1年の間に、経済的な理由(お金が足りなくて)で、次のような経験をしたことがありますか。(いくつでも)

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 電気・ガス・水道等が止められた	9	1.7	10	1.5
2 医療機関を受診できなかった	24	4.6	28	4.2
3 生活費を金融機関から借金をした	35	6.8	45	6.8
4 最低限の食事ができなかった	5	1.0	2	0.3
5 クレジットカード利用が停止になった	13	2.5	16	2.4
6 健康保健、年金の支払いが滞った	24	4.6	26	3.9
7 税金の支払いが滞った	38	7.3	79	11.9
8 電話などの通信料の支払いが滞った	32	6.2	36	5.4
9 家賃や住宅ローンの支払いが滞った	10	1.9	23	3.5
10 服や靴を買うことができなかった	70	13.5	91	13.7
11 学校に納める費用の支払いが滞った	33	6.4		
12 冠婚葬祭のつきあいを控えた	20	3.9	35	5.3
13 理髪店・美容院に行けなかった	73	14.1	70	10.5
14 塾や習い事の通わせができなかった	51	9.8		
15 敷金等を用意できず転居できなかった	15	2.9	13	2.0
16 趣味やレジャーの出費を減らした	183	35.3	298	44.7
17 月々のお小遣いがあげられなかった	82	15.8		
18 どれにもあてはまらない	249	48.1	302	45.3
無回答・不明	25	4.8	17	2.6
回答数合計	991	191.3	1091	163.8
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



「どれにもあてはまらない」が48.1%で最も高い。経験の回答では「趣味やレジャーの出費を減らした」が35.3%で最も高く、「月々のお小遣いがあげられなかった」(15.8%)、「理髪店・美容院に行けなかった」(14.1%)、「服や靴を買うことができなかった」(13.5%)、「塾や習い事の通わせができなかった」(9.8%)と続く。小学生以下調査と比較し、全体的に経験の回答が若干ずつ上昇している。前回と比較すると、「趣味やレジャーの出費を減らした」が低下している。

4. 子どもの必需品等に関する過不足

問26 次の(1)から(8)でお子さん達のもの足りていると思われますか。それぞれ1つを選択してください。

(1)「足りている」回答の比較

「十分に足りている」「足りている」を合わせた「足りている」の構成比を比較すると以下の通りである。

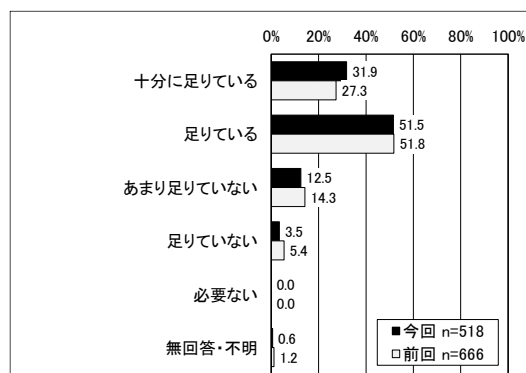
事業名	「足りている」の構成比 (%)		前回・ 今回の差
	今回	前回	
① 衣服（制服は除きます）	83.4	79.1	+4.3
② 靴	83.2	80.2	+3.0
③ 本・参考書	77.2	74.3	+2.9
④ 学習用品	89.8	88.9	+0.9
⑤ ゲーム等遊び道具	81.4	77.4	+4.0
⑥ 趣味・好みにかかわるもの	80.3	78.4	+1.9
⑦ 部活動・ボランティア活動等に必要な物	83.0	82.6	+0.4
⑧ お金（おこづかい）	62.2	66.2	-4.0

「足りている」の回答が最も高いのは、「④ 学習用品」の89.8%で、「① 衣服（制服は除きます）」（83.4%）、「② 靴」（83.2%）、「部活動・ボランティア活動等に必要な物」（83.0%）と続く。一方、最も低いのは「⑧ お金（おこづかい）」の62.2%である。前回と比較し、「⑧ お金（おこづかい）」を除き、すべての項目が上昇している。最も大きいのが「① 衣服（制服は除きます）」の+4.3ポイントである。

① 衣服（制服は除きます）

単位：回答数(件)、構成比(%)

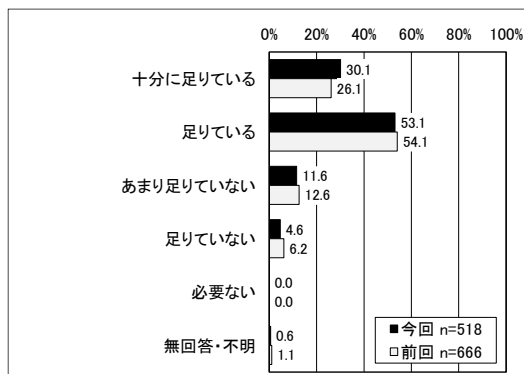
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 十分に足りている	165	31.9	182	27.3
2 足りている	267	51.5	345	51.8
3 あまり足りていない	65	12.5	95	14.3
4 足りていない	18	3.5	36	5.4
5 必要ない	0	0.0	0	0.0
無回答・不明	3	0.6	8	1.2
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



② 靴

単位: 回答数(件), 構成比(%)

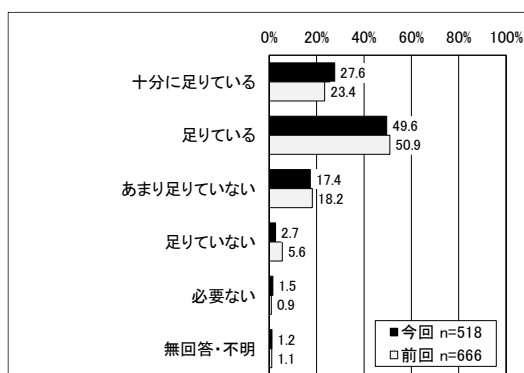
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 十分に足りている	156	30.1	174	26.1
2 足りている	275	53.1	360	54.1
3 あまり足りていない	60	11.6	84	12.6
4 足りていない	24	4.6	41	6.2
5 必要ない	0	0.0	0	0.0
無回答・不明	3	0.6	7	1.1
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



③ 本・参考書

単位: 回答数(件), 構成比(%)

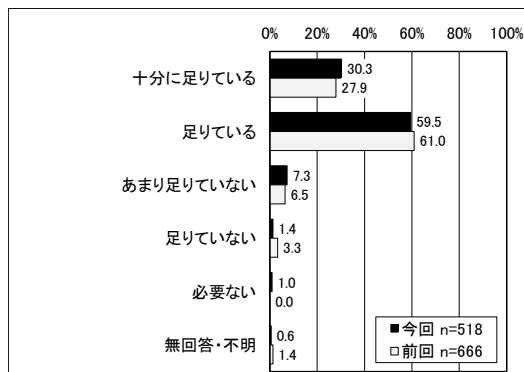
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 十分に足りている	143	27.6	156	23.4
2 足りている	257	49.6	339	50.9
3 あまり足りていない	90	17.4	121	18.2
4 足りていない	14	2.7	37	5.6
5 必要ない	8	1.5	6	0.9
無回答・不明	6	1.2	7	1.1
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



④ 学習用品

単位: 回答数(件), 構成比(%)

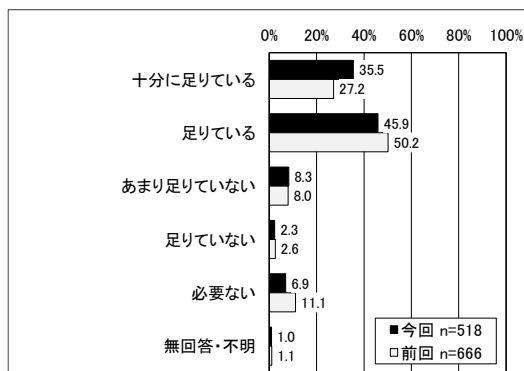
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 十分に足りている	157	30.3	186	27.9
2 足りている	308	59.5	406	61.0
3 あまり足りていない	38	7.3	43	6.5
4 足りていない	7	1.4	22	3.3
5 必要ない	5	1.0	0	0.0
無回答・不明	3	0.6	9	1.4
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



⑤ ゲーム等遊び道具

単位: 回答数(件), 構成比(%)

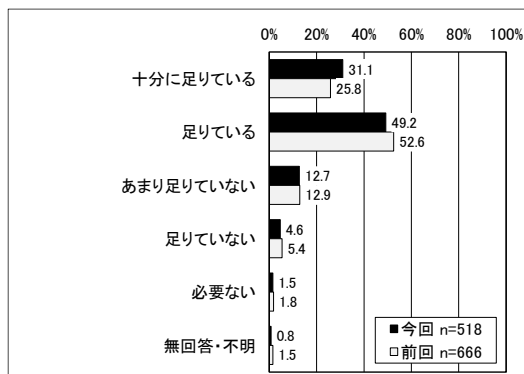
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 十分に足りている	184	35.5	181	27.2
2 足りている	238	45.9	334	50.2
3 あまり足りていない	43	8.3	53	8.0
4 足りていない	12	2.3	17	2.6
5 必要ない	36	6.9	74	11.1
無回答・不明	5	1.0	7	1.1
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



⑥ 趣味・好みにかかわるもの

単位:回答数(件),構成比(%)

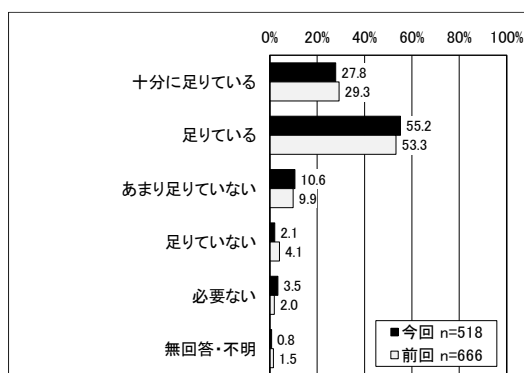
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 十分に足りている	161	31.1	172	25.8
2 足りている	255	49.2	350	52.6
3 あまり足りていない	66	12.7	86	12.9
4 足りていない	24	4.6	36	5.4
5 必要ない	8	1.5	12	1.8
無回答・不明	4	0.8	10	1.5
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



⑦ 部活動・ボランティア活動等に必要な物

単位:回答数(件),構成比(%)

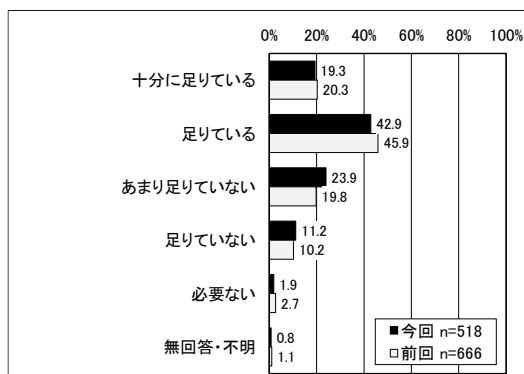
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 十分に足りている	144	27.8	195	29.3
2 足りている	286	55.2	355	53.3
3 あまり足りていない	55	10.6	66	9.9
4 足りていない	11	2.1	27	4.1
5 必要ない	18	3.5	13	2.0
無回答・不明	4	0.8	10	1.5
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



⑧ お金(おこづかい)

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 十分に足りている	100	19.3	135	20.3
2 足りている	222	42.9	306	45.9
3 あまり足りていない	124	23.9	132	19.8
4 足りていない	58	11.2	68	10.2
5 必要ない	10	1.9	18	2.7
無回答・不明	4	0.8	7	1.1
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



5. 公的制度の利用状況と利用意向

問27 次の(1)から(9)であなたは公的制度を利用した(または支援を受けた)ことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。それぞれ1つを選択してください。

(1) 公的制度の利用状況(「利用している・利用した」)

事業名	「利用している・利用した」の構成比(%)		前回・ 今回の差
	今回	前回	
① 児童扶養手当	21.8	48.8	-27.0
② 就学援助	9.1	8.6	+0.5
③ 生活保護	0.4	0.2	+0.2
④ 児童相談所	2.7	2.3	+0.4
⑤ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	9.3	5.7	+3.6
⑥ 高校生等奨学給付金	8.3	6.9	+1.4
⑦ 高等学校等就学支援金	23.0	22.2	+0.8
⑧ 母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金	1.9	2.0	-0.1
⑨ 学習支援事業	1.4	0.9	+0.5

「利用している・利用した」の回答が最も高いのは「⑦ 高等学校等就学支援金」の23.0%で、「① 児童扶養手当」(21.8%)、「⑤ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー」(9.3%)、「② 就学援助」(9.1%)と続く。一方、最も低いのは「③ 生活保護」の0.4%で、「③ 学習支援」(1.4%)、「⑧ 母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金」(1.9%)と続く。前回と比較し、「児童扶養手当」「母子父子寡婦福祉資金貸付金」「生活福祉資金貸付金」を除きすべて上昇しているが、その中で最も高い上昇を示すのが「スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー」の+3.6ポイントである。

(2) 公的制度の利用意向(「利用(利用継続)を希望する」)

事業名	「利用(利用継続)を希望する」の構成比(%)		前回・ 今回の差
	今回	前回	
① 児童扶養手当	18.5	39.8	-21.3
② 就学援助	15.3	14.6	+0.7
③ 生活保護	3.9	4.7	-0.8
④ 児童相談所	5.4	7.4	-2.0
⑤ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	9.7	9.9	-0.2
⑥ 高校生等奨学給付金	16.8	22.8	-6.0
⑦ 高等学校等就学支援金	30.5	35.9	-5.4
⑧ 母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金	6.8	8.3	-1.5
⑨ 学習支援事業	8.5	7.2	+1.3

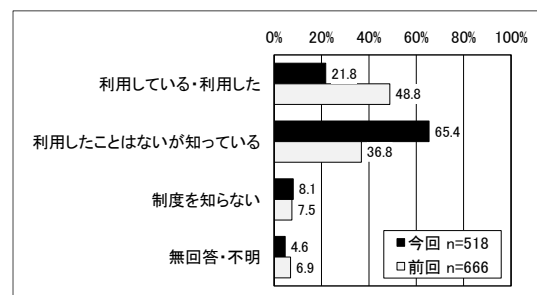
「利用（利用継続）を希望する」の回答が最も高いのは「⑦ 高等学校等就学支援金」の30.5%で、「① 児童扶養手当」（18.5%）、「⑥ 高校生等奨学給付金」（16.8%）、「② 就学援助」（15.3%）と続く。一方、最も低いのは「③ 生活保護」の3.9%で、「④ 児童相談所」（5.4%）、「⑧ 母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金」（6.8%）、「⑨ 学習支援事業」（8.5）と続く。前回と比較し、上昇しているのは「学習支援事業」（+1.3ポイント）、「就学援助」（+0.7ポイント）だけで、その他は低下している。最も低下しているのが「児童扶養手当」の-21.3ポイントで、「⑥ 高校生等奨学給付金」（-6.0ポイント）、「⑦ 高等学校等就学支援金」（-5.4ポイント）と続く。

① 児童扶養手当

【現 状】

単位：回答数(件),構成比(%)

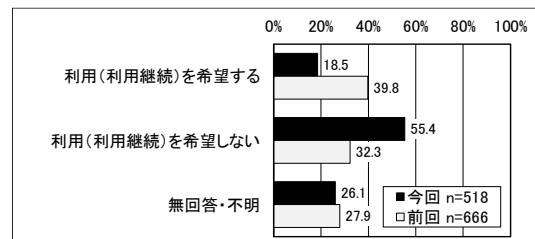
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	113	21.8	325	48.8
2 利用したことはないが知っている	339	65.4	245	36.8
3 制度を知らない	42	8.1	50	7.5
無回答・不明	24	4.6	46	6.9
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



【今 後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	96	18.5	265	39.8
2 利用(利用継続)を希望しない	287	55.4	215	32.3
無回答・不明	135	26.1	186	27.9
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

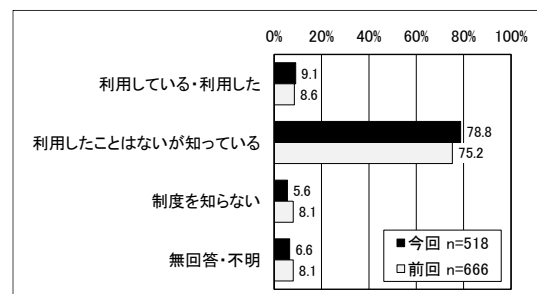


② 就学援助

【現 状】

単位：回答数(件),構成比(%)

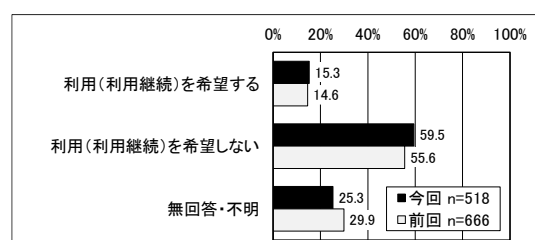
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	47	9.1	57	8.6
2 利用したことはないが知っている	408	78.8	501	75.2
3 制度を知らない	29	5.6	54	8.1
無回答・不明	34	6.6	54	8.1
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



【今 後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	79	15.3	97	14.6
2 利用(利用継続)を希望しない	308	59.5	370	55.6
無回答・不明	131	25.3	199	29.9
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

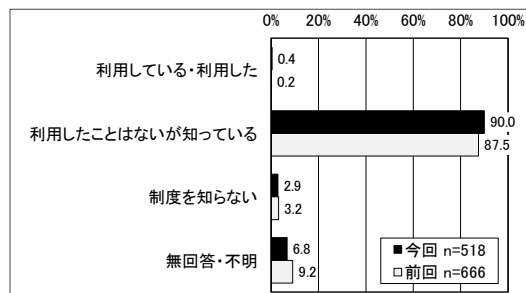


③ 生活保護

【現 状】

単位：回答数(件),構成比(%)

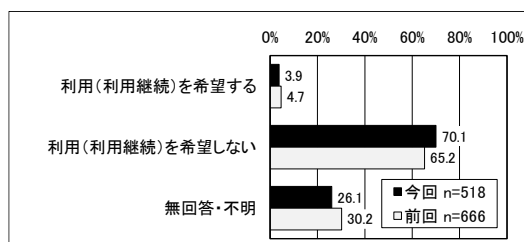
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	2	0.4	1	0.2
2 利用したことはないが知っている	466	90.0	583	87.5
3 制度を知らない	15	2.9	21	3.2
無回答・不明	35	6.8	61	9.2
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



【今 後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	20	3.9	31	4.7
2 利用(利用継続)を希望しない	363	70.1	434	65.2
無回答・不明	135	26.1	201	30.2
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

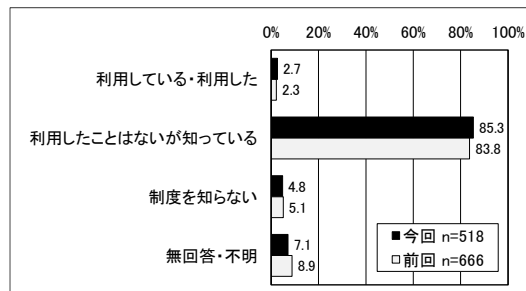


④ 児童相談所

【現 状】

単位：回答数(件),構成比(%)

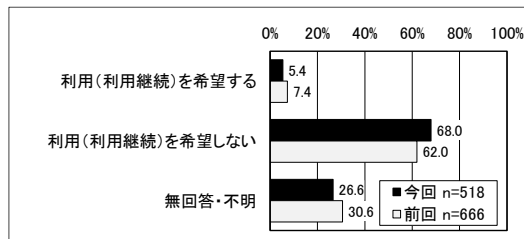
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	14	2.7	15	2.3
2 利用したことはないが知っている	442	85.3	558	83.8
3 制度を知らない	25	4.8	34	5.1
無回答・不明	37	7.1	59	8.9
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



【今 後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	28	5.4	49	7.4
2 利用(利用継続)を希望しない	352	68.0	413	62.0
無回答・不明	138	26.6	204	30.6
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

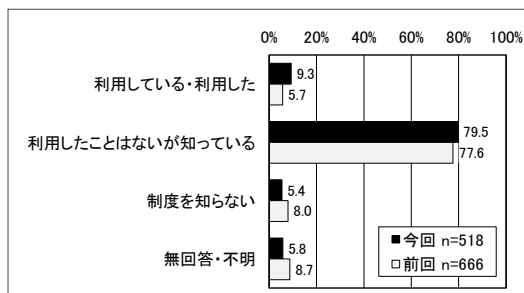


⑤ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー

【現 状】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

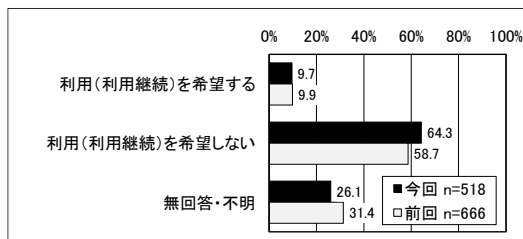
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	48	9.3	38	5.7
2 利用したことはないが知っている	412	79.5	517	77.6
3 制度を知らない	28	5.4	53	8.0
無回答・不明	30	5.8	58	8.7
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



【今 後】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	50	9.7	66	9.9
2 利用(利用継続)を希望しない	333	64.3	391	58.7
無回答・不明	135	26.1	209	31.4
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

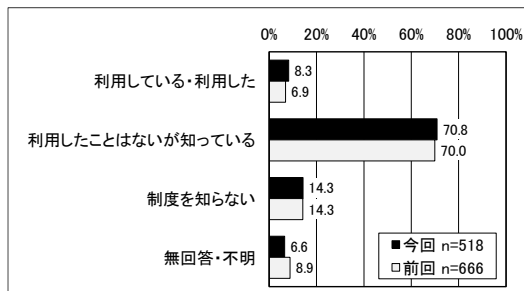


⑥ 高校生等奨学給付金

【現 状】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

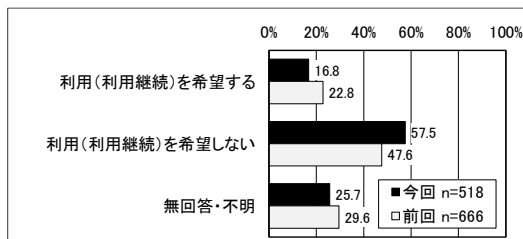
選択肢	中学生以上		小学生以下	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	43	8.3	46	6.9
2 利用したことはないが知っている	367	70.8	466	70.0
3 制度を知らない	74	14.3	95	14.3
無回答・不明	34	6.6	59	8.9
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



【今 後】

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	中学生以上		小学生以下	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	87	16.8	152	22.8
2 利用(利用継続)を希望しない	298	57.5	317	47.6
無回答・不明	133	25.7	197	29.6
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

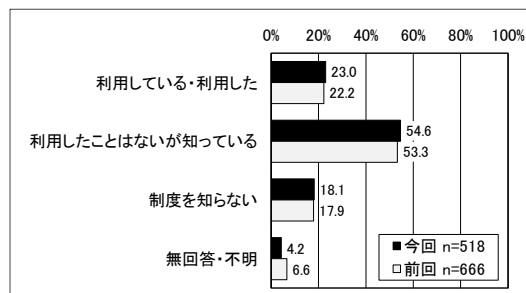


⑦ 高等学校等就学支援金

【現 状】

単位：回答数(件),構成比(%)

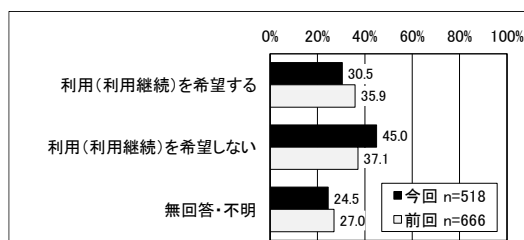
選択肢	中学生以上		小学生以下	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	119	23.0	148	22.2
2 利用したことはないが知っている	283	54.6	355	53.3
3 制度を知らない	94	18.1	119	17.9
無回答・不明	22	4.2	44	6.6
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



【今 後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	中学生以上		小学生以下	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	158	30.5	239	35.9
2 利用(利用継続)を希望しない	233	45.0	247	37.1
無回答・不明	127	24.5	180	27.0
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

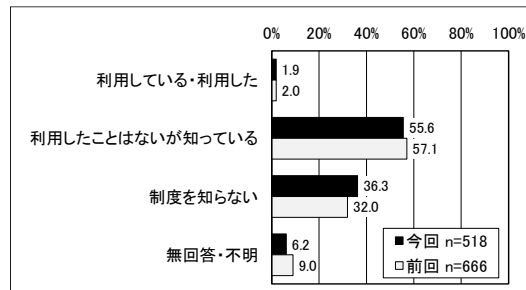


⑧ 母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金

【現 状】

単位：回答数(件),構成比(%)

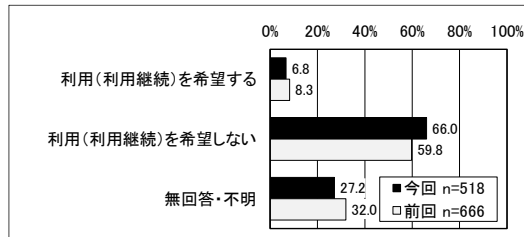
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	10	1.9	13	2.0
2 利用したことはないが知っている	288	55.6	380	57.1
3 制度を知らない	188	36.3	213	32.0
無回答・不明	32	6.2	60	9.0
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



【今 後】

単位：回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	35	6.8	55	8.3
2 利用(利用継続)を希望しない	342	66.0	398	59.8
無回答・不明	141	27.2	213	32.0
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

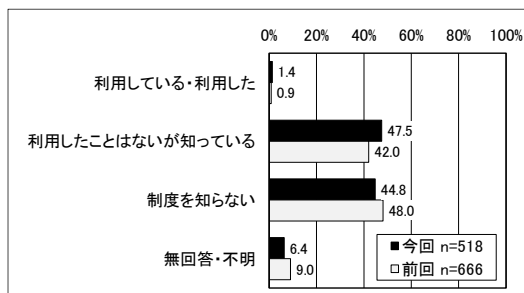


⑨ 学習支援事業※

【現 状】

単位:回答数(件),構成比(%)

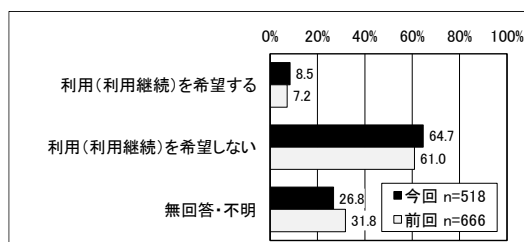
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用している・利用した	7	1.4	6	0.9
2 利用したことはないが知っている	246	47.5	280	42.0
3 制度を知らない	232	44.8	320	48.0
無回答・不明	33	6.4	60	9.0
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



【今 後】

単位:回答数(件),構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 利用(利用継続)を希望する	44	8.5	48	7.2
2 利用(利用継続)を希望しない	335	64.7	406	61.0
無回答・不明	139	26.8	212	31.8
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

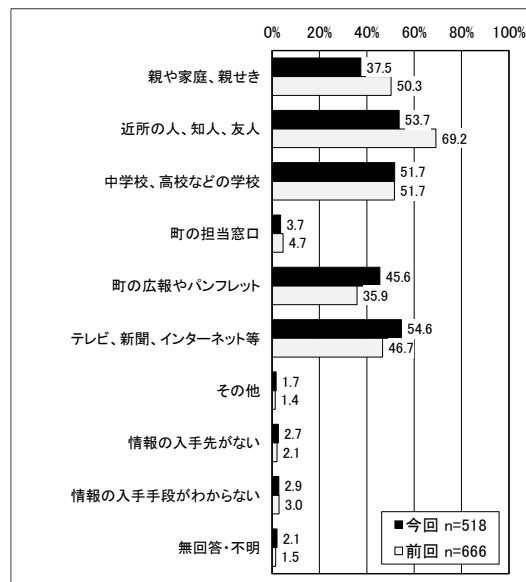


Ⅶ 全体的な事柄

1. 情報入手先

問28 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(いくつでも)

選択肢	単位:回答数(件),構成比(%)			
	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 親や家庭、親せき	194	37.5	335	50.3
2 近所の人、知人、友人	278	53.7	461	69.2
3 中学校、高校などの学校	268	51.7	344	51.7
4 町の担当窓口	19	3.7	31	4.7
5 町の広報やパンフレット	236	45.6	239	35.9
6 テレビ、新聞、インターネット等	283	54.6	311	46.7
7 その他	9	1.7	9	1.4
8 情報の入手先がない	14	2.7	14	2.1
9 情報の入手手段がわからない	15	2.9	20	3.0
無回答・不明	11	2.1	10	1.5
回答数合計	1327	256.2	1774	266.4
回答者数合計	518	100.0	666	100.0

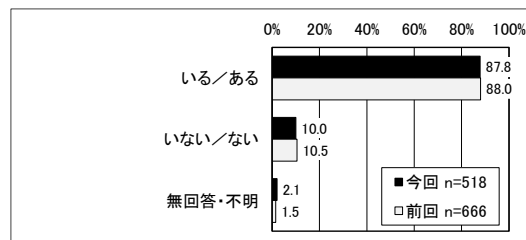


「テレビ、新聞、インターネット等」が54.6%で最も高く、「近所の人、知人、友人」(53.7%)、「中学校、高校などの学校」(51.7%)、「町の広報やパンフレット」(45.6%)と続く。小学生以下調査と比較し、「中学校、高校などの学校」が上位に入っている。前回と比較し、「町の広報、パンフレット」「テレビ、新聞、インターネット等」が上昇している。

2. 気軽に相談できる人・場所の有無

問29 対象のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つのみ)

選択肢	単位:回答数(件),構成比(%)			
	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 いる／ある	455	87.8	586	88.0
2 いない／ない	52	10.0	70	10.5
無回答・不明	11	2.1	10	1.5
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



「いる／ある」が87.8%を占め、「いない／ない」は10.0%になっている。小学生以下調査と比較し、「いる／ある」が低くなっている。また前回と比較しほとんど変化はない。

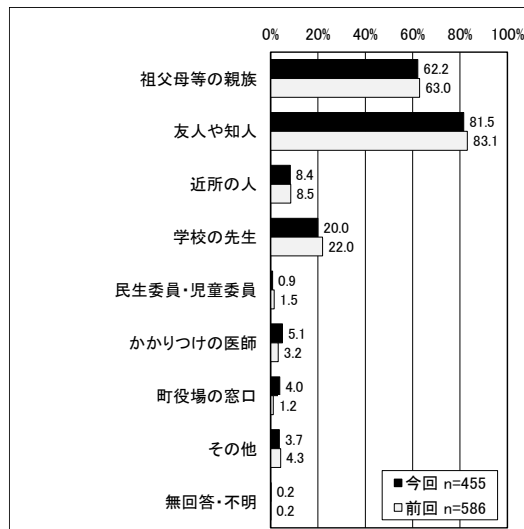
3. 気軽に相談できる人・場所

問29で「1. いる／ある」に回答した方にお聞きます。

問30 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(いくつでも)

単位: 回答数(件), 構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 祖父母等の親族	283	62.2	369	63.0
2 友人や知人	371	81.5	487	83.1
3 近所の人	38	8.4	50	8.5
4 学校の先生	91	20.0	129	22.0
5 民生委員・児童委員	4	0.9	9	1.5
6 かかりつけの医師	23	5.1	19	3.2
7 町役場の窓口	18	4.0	7	1.2
8 その他	17	3.7	25	4.3
無回答・不明	1	0.2	1	0.2
回答数合計	846	185.9	1096	187.0
回答者数合計	455	100.0	586	100.0



「友人や知人」が81.5%で最も高く、「祖父母等の親戚」(62.2%)、「学校の先生」(20.0%)と続く。小学生以下調査と比較し、「祖父母等の親戚」が大幅に低くなっている。また前回の調査と比較し、ほとんど変化はない。

4. 相談できる人がいない、場所がない理由

問29で「2. いない／ない」に回答した方にお聞きます。

問31 相談できる人がいない、場所がない理由をご自由にお書き下さい。

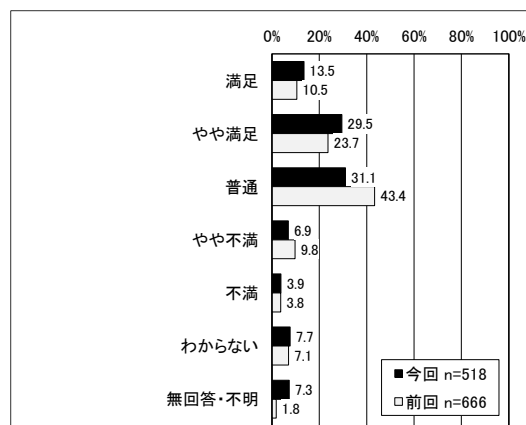
- ・ 気軽に話せる人がいない
- ・ コロナ
- ・ 多少相談(進路等)することはあったが、本人の特性等も含めて親身になってもらった感覚がない。その相談した相手の主観や思いが強く受け入れきれず。
- ・ 仕事や家事の時間がとられて、人と話す時間がない。
- ・ 自分の家庭の事を他人に話したとて、と思う。相談された方も他人の家の事に無責任なことは言えないし、と思う。
- ・ 職場に子どもがいる人がいない。近所付き合いがない。
- ・ 誰かに相談する必要性(機会)が特になかった。
- ・ 友人いない、新聞、広報見ていない、外に出ない
- ・ 友人がいない
- ・ 親も県外、母親同士も会う機会がない。
- ・ 今のところ必要を感じていないから
- ・ 上の兄弟から12年たっている 聞く人がいない
- ・ あまり相談する事もない
- ・ 考えたことがなかったので、思いつきませんでした。

- どのような場面で、誰に相談したら良いのか判断がつかない。
- うまく人に相談できない
- 相談をしていないので問29の回答
- 自分の親が近くに居なく頼れない。信頼できる人が居ない。

5. 本町の子育て支援に対する満足状況

問32 金ケ崎町の「子育て支援」について、満足状況はいかがですか。(1つのみ)

単位: 回答数(件), 構成比(%)				
選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 満足	70	13.5	70	10.5
2 やや満足	153	29.5	158	23.7
3 普通	161	31.1	289	43.4
4 やや不満	36	6.9	65	9.8
5 不満	20	3.9	25	3.8
6 わからない	40	7.7	47	7.1
無回答・不明	38	7.3	12	1.8
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



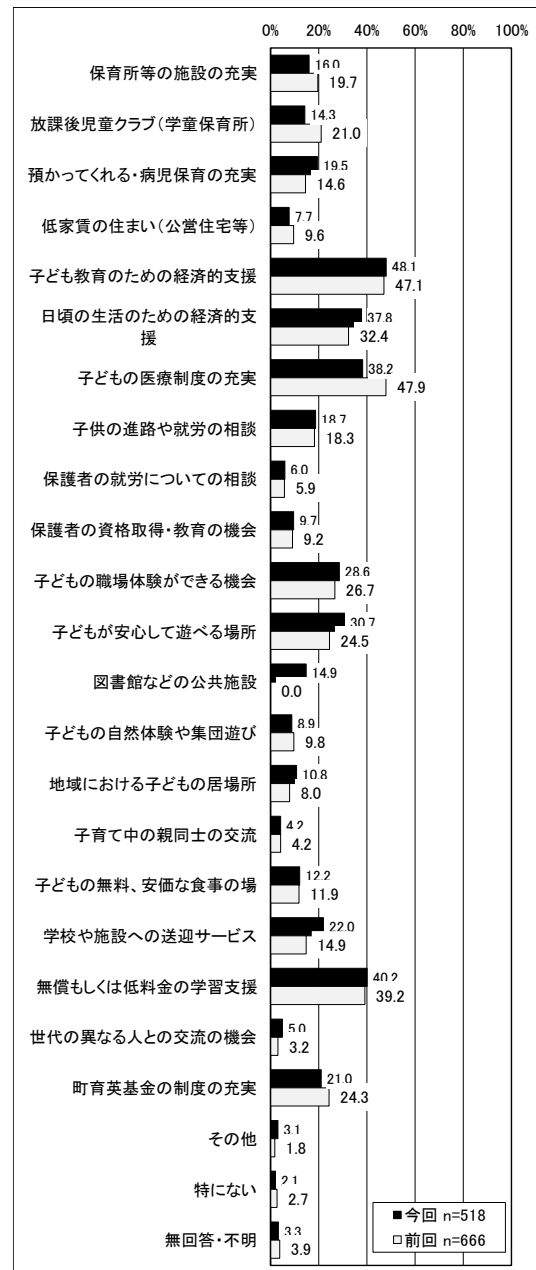
「普通」が31.1%で最も高く、「やや満足」(29.5%)が続く。小学生以下調査と比較し、ほぼ同様の評価になっている。また前回と比較すると、「満足」「やや満足」が若干上昇している。

6. 充実を望む子育て支援策

問33 あなたは子育てをしていくうえで、どのような支援が充実すると良いと思いますか。特に該当する番号を、5つまで選択してください。

単位：回答数(件)、構成比(%)

選択肢	今回		前回	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 保育所等の施設の充実	83	16.0	131	19.7
2 放課後児童クラブ(学童保育所)	74	14.3	140	21.0
3 預かってくれる・病児保育の充実	101	19.5	97	14.6
4 低家賃の住まい(公営住宅等)	40	7.7	64	9.6
5 子ども教育のための経済的支援	249	48.1	314	47.1
6 日頃の生活のための経済的支援	196	37.8	216	32.4
7 子どもの医療制度の充実	198	38.2	319	47.9
8 子供の進路や就労の相談	97	18.7	122	18.3
9 保護者の就労についての相談	31	6.0	39	5.9
10 保護者の資格取得・教育の機会	50	9.7	61	9.2
11 子どもの職場体験ができる機会	148	28.6	178	26.7
12 子どもが安心して遊べる場所	159	30.7	163	24.5
13 図書館などの公共施設	77	14.9		
14 子どもの自然体験や集団遊び	46	8.9	65	9.8
15 地域における子どもの居場所	56	10.8	53	8.0
16 子育て中の親同士の交流	22	4.2	28	4.2
17 子どもの無料、安価な食事の場	63	12.2	79	11.9
18 学校や施設への送迎サービス	114	22.0	99	14.9
19 無償もしくは低料金の学習支援	208	40.2	261	39.2
20 世代の異なる人との交流の機会	26	5.0	21	3.2
21 町育英基金の制度の充実	109	21.0	162	24.3
22 その他	16	3.1	12	1.8
23 特にない	11	2.1	18	2.7
無回答・不明	17	3.3	26	3.9
回答数合計	2191	423.0	2668	400.6
回答者数合計	518	100.0	666	100.0



「子どもの教育のための経済的支援」が48.1%で最も高く、「無償もしくは低料金の学習支援」（40.2%）、「子どもの医療制度の充実」（38.2%）、「日頃の生活のための経済的支援」（37.8%）と続く。小学生以下調査と比較し、第1位に「子どもの教育のための経済的支援」に変わっている。また前回と比較し、「学校や施設への送迎サービス」「日頃の生活のための経済的支援」「子どもが安心して遊べる場所」が上昇している。

VII 自由意見

問34 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

- 高校生までの医療受給がとても助かっています。中・高含め社会、仕事体験が多くあると将来の夢が増えてくるように思います。
- 子どものためと思いますが、4人分の学費、教材費、学童費、特に部活はお金もかかりますし、時間もなかなか大変です。スポ少活動を土日にしぼるなど部活の人数も少ないのでもう少し平日はスポ少活動はしないなどの決まりがあるといいですね。夜間練習も夜勤ありの家には本当にねないで仕事しているのがほぼ毎日です。
- 母子家庭でがんばって正社員になったのに、児童扶養手当は減額され、税金もかかり学校の支援も受けられなくなり、以前より生活が苦しくなりました。
- 国の子育て支援政策では高校無償化等でも所得制限がある。恩恵の受けれない世帯にも、町独自の大胆な支援があったらとお願いしたい。平等であってほしいと思う。一生懸命稼いでいるのが、正しいのか分からなくなってくる。すみません。
- 学校の登下校にマイカーでの送迎が多くなり親の負担、国家の不経済でもあり、適切な方法が必要と思われる。
- 地元に若者がいません。地域行事も年寄りがほとんど。地元に戻り就職する人を増やさないと子供も増えず残った若者、子供たちの地域行事の参加、地域役員の強制などで、どんどん地域から離れていくと思います。高校生への支援、例えば高校入学祝金、就職大学入学祝金、修学旅行支援金、部活動支援金など、経済的な支援等を手厚くして少しでも金ヶ崎町に若者を増やす対策をしてほしい。
- 金中への登下校について冬期間だけでもいいので、金小学区内に送迎バスを走らせてほしいです。
- 学童保育所での学習の充実をはかり、学習癖を付けてもいいのではないかな。色々な職種の動画等があれば、小学生なら将来の進むべきヒントになるのではないかな。中学、高校生が調べるすべはいくらでもあるが、小さいうちに自分のやりたい事が早くにわかれば学習にもおのずと身が入ると思うので。
- 金ヶ崎中学校へ送迎する時、一方通行で坂を登って行かなければならないのですが、軽自動車（2駆）なので冬になるといつも緊張しながら行かなければならなくストレスです。なんとかありませんでしょうか。（校舎裏の敷地も入っていい事にする等）
- 子供の医療費は高校生まで拡大したが、小さい頃よりも大きくなる程、費用はかかるのに児童手当はなくなる。大学行くととなると奨学金貸りる等しないと厳しい。大学行くことがすべてではないが、貧困の連鎖になる可能性がある。子供たちは公共交通機関が少ないため自由に出かけづらい。親が送迎するのも負担がかかる（そのために休む、時間を空ける等）保育園、学童の開所時間が短くやりたい仕事少し遠くにあってもやりづらい。感染症にかかる仕事休まなくてはいけない（病児保育がつかえない）大学進学のための情報は得ることが難しい。学校にもよるかもしれないが、国公立を推す学校が多く、その学力でどこを目指せるのかその目標に必要な勉強内容等相談できるところがない。情報弱者？塾といって

も人数少ない分より細かい進路指導はむしろ欲しいと思う。

- 小中より高校の方が経済的に大変です。病院は無料で助かりますが、物価高騰もあり非課税世帯以外にも支援や高校も給食等お願いしたい。
- 中、高校生のための放課後自習室WIBを利用しています。駅から近くてとても良いのですが、中には、遠くて、行けないという声も聞いています。 又、小学生でも利用できる学習フリースペース等があると良いなと思います。(子供が小学生時そう思っていました。)
- この様なアンケートをネットで回答できるようにすればいいと思います。子育て世代こそオンラインで回答できるようにした方がこれからは回答率も上がると思います。
- 地区センターや中央など利用しようと思っても(子供の体育館や音楽室)、予約手続き等がネックになり何度か利用を諦めたことがある。共働きには町の施設を利用しづらい環境だと思いました。
- 大学費用がかかるので町の方でも支援して頂けると、より、住みやすいと思う。1人暮らしなどさせれない。小さい子どもだけへの支援では大変である。学校へ行けなくなった子が行ける施設、登校に含まれる所なども検討してほしい。
- 高校以上になると町外に出ていく割合が高くなっていくが(学力などを考えると)、どんどん親の負担が増えている。小さいうちは町の補助をととても手厚く、子どもをたくさん授かることができたが、多くのお金がかかる期間の補助はほとんどなく、あれこれ我慢させています。習い事、塾など。
- 中学校まではスクールバスで通えるけど、高校に入るとバスが無いので自家用車で学校や駅まで送らなきゃいけないのがとても不便です。こんな不便な所では住みたいと思う人はいないと思います。
- 低所得者の制度はあるが、母子家庭で大変な面もあるため所得の金額を見直してほしい。
- 給食費が無料にはなったが、安全なものを食べているのか不安。(安い肉や卵大丈夫?) 中学校での外国に行ける事業?を楽しみにしていたが、コロナ後もなくなってしまい非常に残念だった。それを楽しみに子育てしてました。金ヶ崎で
- 小学校までの送迎のバスを出してほしい
- 図書館だけでなく子供達が勉強できる場所をふやしてほしい。(休みの日に利用できる・中学生学校帰りによって勉強できる所が金ヶ崎にはない) 中学生や高校生のための学習スペースを作るべき。
- 医療費の助成は大変ありがたいです。でもその時に、いくらかったのか金額がわかる仕組みにしてもらえたらよいと思います。通学路(歩道)の除雪を徹底していただきたいです。学校給食について、他地域の給食等を調べて洋食っぽいもの、イベントっぽいもの等、楽しみになるようなメニューにもらいたいです。ごはんを家から持参できたら良いと思います。経費をおさえる為。
- 中学校であれば部活動の施設が学校の近くにあってほしい。移動が大変。交通手段の確保。高校は全員無償化になってほしい。
- 金中の学力の低さ。授業中の妨害による学力低下。一部の教員の質の悪さ。
- 家以外の学習できる場所が増えて欲しい。図書館の休館日に利用しやすい場所があればと思います。また、図書館利用時に気になる事として、館内のBGM(オルゴール)がもう少し静

かであって欲しい(集中できなくなります)

- 中学校のプールを早くなおしてほしい。去年はやらないといていたプール授業を急に夏休みあけから少しの間やるといわれ、あわてて水着の準備など大変だったし、もう水着ヲうっている所が少なくなって苦労しました。高校生になると仕事をする子もいて子供手当がなくなってしまうけれど、高校生もかなりお金がかかってたいへんのなので何か言い案があればいいなと思う。
- 中学になったら英語検定、漢字検定、数学検定ありますが、全員が受けれるようにしてその費用も補助していただけると学力も上がっていい高校にも行ける気がします。ぜひ検討して下さい。
- 支援金手当など、所得がでられるが基準を上げて欲しい。母子でも障害でも支援をうけられないので不公平な気がする。
- 保育園児など、特に熱を出したりして、すぐに電話がかかってきて迎えとかが多かった。迎えに行ってみると意外に元気で熱も下がっていたりすることが多かった。熱が一時的にあってもすぐに電話、迎えではなく、様子を見たりすることも必要だと思った事も多々あった。看護師もいると思うので、すぐ返さなければならない状態なのかどうか判断できるようにして欲しかった。働いている母親は職場に気を使っていつ人が多いと思うので。
- 上の子供2人共、専門学校に進学し、この子も大学進学を目指しています。専門学校でも大学進学でもお金がかかります。町の奨学金制度を充実してほしいです。無利子や数人でもいいので返還はしなくてもいいので金ヶ崎（岩手県）町に帰って来て働く等の条件付きでの奨学金を考えていただけないでしょうか。親として子供に学ばせたいがお金の問題は切実です。大学や専門学校へ通っている家庭への子育て手当や公的助成がほしい。
- 公園に遊具が充実し、小さい子ども達は遊ぶところが増えてとても良いと思います。中学生や高校生になると遊具で遊ぶこともなくなります。外でスポーツをしたくてもできるところが少なく、サッカーやバスケができる場がほしいです。水沢にあるような(慶徳公園や水沢のの大町)バスケットゴールがあれば(駅の近く)水沢や江刺の友達も来て一緒にバスケができるのにと子供と話しています。
- 子育て環境と的を絞っていますが、大人が住みやすい町は子供にとっても住みやすい町だと思います。支援に関しては必要な方にきちんと救いの手が届いていればいいと思います。
- 年収の壁ですべて自費になっていて子供が高校・大学と進むにつれお金も中学や小学校よりもかかるのでとても大変。
- 小学校3年生から中3まで不登校でしたが、「にじいろ」というフリースクールの先生に助けられ普通高に入る事ができました。学校の先生より親身になって、一緒に将来を考えてくれて、子どもと私もとても助けられました。小学校の時は担任より保健室の先生やスクールカウンセラーの先生が助けてくれました。支援があってもいい先生に出会えるかどうかだと思います。色々な所に相談しましたが、マニュアル的な対応で全く解決しなかったです。
- 中学入学前、小学校高学年同志の集団体験が学校行事にしてほしい。
- 小さい子供は放課後に預かってもらえる学童などがありますが、中学生や高校生ともなると、誰のことも気にせず、気軽に勉強できるような「場所」がありません。自宅が駅から遠くにあるので、駅内や近くにそういった「場所」があると迎えに行くまで自分で言って勉強しな

がら待つことも可能になり、とても良いと思います。図書館がありますが、休みが多く、駅から遠いため使えません。子供たちが将来町内から離れてしまうのは、不便さが一番だと思うのでもう少し良くなるようにしてもらいたいです。

- 幼児期は子育て支援センターでお世話になりましたが、町内に何か所か安全に遊べる場所があればいいなと思いました。小学校、中学校と進学するにつれて、さらに子供たちが集まれる場所はなくなっていくので、例えば地区センターの設備がもう少し良くなって日常的に遊んだり学習したりできる場所になるといいなと思います。
- 給食費、医療費無料助かっています。ありがとうございます。
- 中学生の登記に利用できるスクールバスがどの地区が乗れるのか不明のため、今年度は家族が毎日送迎していました。学校までの登記の送迎サービス支援が充実するとありがたいです。
- なし
- 町にある学校施設間での交流を活発に(小・中・高)。金高に進学する子が少ない。地域との交流の場、ボランティア活動等に積極的に参加できる環境を作っていくと良いと思う。
- 子育て支援に関して十分に満足しています。学校教育に不満を感じているので、そちらに力を入れて欲しい。
- 特に冬など中学校の駐車場が少ないので距離に関わらずバスを出してほしい。車がスムーズに行けるように、広い駐車場があればいいと思う。下校時間がはっきりしないため、迎えに行ってもすれ違う時もあり、学年で時間差下校などあれば良いのかなあと思う。1番は、歩いて帰る事にすると家庭でも助かります。
- 町の医療費助成がとてもありがたいです。給食費が無料になったのはいいのですが、英検の助成費が削られるかもといううわさも聞きました。英検のような教育に関するものを優先してほしいです。小・中学校にいる町の支援員の先生なども増やしていただけたら安心です。
- 学校に授業についていけない子供たちの個別授業があれば助かります教科別に
- 子どもの医療費が無償である事に非常に助かっています。中学、高校になるにつれて、かかるお金が増えていくのが大きな負担です。入学、進学にあわせて、いくらかの支援制度があったらとても助かるなあと感じています。また、働く立場として町内の大企業と中小企業の賃金格差はどのようなものか、中小企業で働く身としては若干差があるのかと感じており、生活全般のゆとりにもいくらか影響しているのではと感じます。
- 家庭と学校の連携はもちろんだが、学校と町もしくは教育委員会などの情報共有などの連携を十分にしてもらえると助かる。(スクールバスの件で、子供が嫌な気分をしたことがあったので)時刻や停留所、乗れる範囲の変更が運転手さんに伝わっていなかったのか乗車証を持っているにもかかわらず乗ってはいけないんだよと言われたことがあった。
- 静かに過ごせる公園が必要だと思います。子供も大人も楽しめる場所があるといいと思います。
- 年収があっても高い税金を払っている。周りの家とさほどかわらないのに、色々な支援等(高校学費等)が一切受けれないのは、おかしいと思う。
- 給食費無料ありがとうございます。ですが、無料でなくてもいいと思ってます。例えば、一世帯1人目のみ無料だったら多子、一人っ子家庭にも平等なのかなと。それよりかは、中学校の学用品が補助があったり、(鬼剣舞、修学旅行代)の手出しがないなどの方が助かりま

す。入学祝金？学用品（現物支給）だとすごくありがたいです。役員もへらせる物はどんどんへらして行ってほしいです。

- 24年10月分から児童手当が高校生まで拡大される予定になっている様ですが、24年4月～9月の間も町の負担で支援して欲しい。・大学無償化についてなぜ子供が3人以上いないと受けられないのか理解に苦しむ。子供が1人だろうが2人だろうが同じ子育てで苦しんでいる。年収1千万円でも子供が3人いれば無償化になり、子供が2人いて年収300万円は無償化にならないんですよ？支援の意味を知っていますか？
- スクールバス、今は南西側の運行ですが、冬、北東側の運行もして頂けると助かります。
- 義務教育以上へ進学 of 未成人への教育のためのしえんがあればいい。高校、大学へ進学するのが普通となっているが、単身赴任に一人暮らしの大学生、高校への進学準備、家のローン、車検足りません。
- 給食費の無償化とても助かっております。今後も継続されることを願います。医療費も。
- 特にありません。
- 金ヶ崎町は、子供の医療費が無料なので助かっています。私が住んでいる永岡地区は、図書館へ行くにも家族の送迎がないと遠くて行く事ができない為、長期休暇の時など、送迎サービスがあると助かります。
- ボール遊びを安全にできる公園が荒巻公園にしかない。町の体育館街地区体育館をもっと利用しやすくしてほしい。熊も多いし、外灯も暗いし、交通量は増えてるし、歩道が少ない。一度夜道（夕方）を歩いてみてほしいです。他県ナンバー車が増えてとてもキケンが増えたと思う。
- スポーツで県の代表等になった時の遠征費の助成をしてほしい
- 子どもとの関わり方が分からない親が増えている。子育てと同じくらい“親育て”できる場が大事になってきている。
- 金銭面、施設等の部分では満足しておりますが、ソフト面、職員の方々の対応等、より寄り添った支援を心掛けていただければありがたいです。
- 給食費無料はありがたいのですが、小・中学校ともにお弁当の日が多く、負担に感じます。せめて、小学校と中学校の弁当の日を一緒にするか、完全に別日にして欲しいです。（1日お弁当日が始まりが早かったり、遅かったりで、混乱する時があります。）スクールバスに有料でもいいので、乗せて欲しいです。（雪の時、あの中学校の坂のぼれないので）街灯も少なく、子どもが歩いて帰って来る時、暗くて見えないと言っています。村井小児科の通りの道路。
- 学校から遠くも近くもない距離に自宅がある時、天候が悪いと送迎が難しい。自宅から送迎できる人がいないと大変だと思う。熊や天気 of 心配があるのでバスの送迎があると良いと思う。医療費、給食費無料は大変助かる。小学校・保育園よりも中・高の方がお金がかかるから高校まで手当てがあると助かる。
- 医療費や給食費等とても助かっている。感謝です。・給食）親子で作る弁当の企画めんどろ。ただでさえ弁当面倒くさい。現状・アンケート内容に答える時間も取れない。忙しい。アンケートは強制ですか？子供に頼まれたので記入はしましたが、正直めんどくさい。
- 子供が健全に成長するには周りの大人の関わり方が重要ではないでしょうか。このようなア

ンケート調査も大事ですが、保育の現場などに実際に足を運んでいただきどのような保育がされているのか見ていただきたいと思います。また、子供に直接、質疑応答する場があっても良いと思います。素直で穏やかに過ごせる環境であってほしいと願います。

- 中学校の通学路で街灯が少なく帰りの自転車や歩きをいやがられます。高速道路わきの道路や改断の通りです。難しいとは思いますが検討をよろしくお願いいたします。工業団地へ向かう4車線で横断歩道がありますが、帰りの時間は暗くなり車がなかなか止まってくれないようです。街灯の設置はありますが、人がいる事がわかる工夫はできないでしょうか。（車が止まることは義務なのですが）
- 少子高齢化である現在の日本では、子供たちは財産であり人財でもあります。今の学生が今後の日本を担うため、金ヶ崎町として子供たちの能力を引き上げる政策を検討してもらいたい。また、金融について「NISA」が注目されていますが、米国では小学校から勉強されています。金融リテラシーを学べる時限を教育プログラムに追加してもらいたい。
- 18歳以下の医療費無償化ととてもありがたいです。金ヶ崎診療所もありますが、いつでも見られる専門病院（元加、皮膚科、耳鼻等）があるといいなと思います。
- 子どもも親も安心して遊ぶことのできる、整備された公園のような、施設（遊具などがあり、衛生的な場所）があればこれからの子育て世代の人達が住みやすい、子育てしやすい環境になっていくのではないかと。親同士の交流の場にもなると思う。我家の子どもたちが小さかった頃、江刺のカルチュアパークによく行き、とても良い環境だと思いました。あんな公園が金ヶ崎にもあれば良いなと思ったものです。
- 両親ともに働いていたため塾などの送迎ができないことがあり、辞めてしまうことが多かった。部活の送迎も。サービス業のため、お盆、正月、土日祝日も仕事で、仕事を続けるのも大変だった。
- 日頃より、給食費の無償化や医療費の無償化など子育て世代にはとてもいい環境であると思います。今二人で（父・母共に）就労している為まずはなんとか子供たちには不自由なく食事、衣服、学業に必要なものを与えています。もし父親もしくは母親が働けなくなった場合の支援制度の充実高校進学時、金ヶ崎以外（奥州、北上）に進学する時の交通手段の充実が働いている親として望みます。
- 発達に心配のある子に対する支援、理解の拡大をお願いします。中学校の先生は理解が少なすぎて時代に合っていない人が多いと思います。中学校の先生の対応、親切な気持ちがなく、子ども達に指導する前に自分たちの指導をして気持ちよく生活できるようにしてほしいです。
- 子供が難病とPTSDを抱えていて、自転車（自分で）学校に通う事が出来ないの毎日、体調に合わせた時間に送迎している。そのため、母子家庭にもかかわらず長時間働く事が出来ずにいます。事情がある子供の学校への送迎サービスがあると、とても助かります。
- 中学生なのであまり関係がないのですが、小さいお子さんを養育している家庭で、小学校入学前の保育所利用について、希望している方は別として兄弟で、別々の所へ入っているお母さんお父さんの送迎の負担が大きく大変なように見えます。子育て環境として兄弟は同じ所に入れるようにしてあげてほしいです。同じ園内にいれば気づける家庭の問題（ぎゃくたい等）も気付かれにくくなってしまいます。行事も別だったり同じ日になってしまい両親で見られず子どももかわいそうです。小さい子どもの準備、自分の準備、別々に送迎、仕事、ま

た別々に迎え本当に大変です。どうにかしてあげて下さい。

- 英語に力を入れてきているようですがまだまだ学ぶ環境が整っていないように感じます。また江刺のカルチャーパークの様な遊ぶ場所が無いのも寂しいなと感じています。荒巻公園もありますもう少し規模の大きいものであると良いと思います。金ヶ崎高校、人気無さすぎじゃないですか？町として何が問題か考えるべきだと思います。
- 子供の宿題が多すぎる。テスト勉強の時の提出物が多すぎる（資料を頂けるのはすごくありがたい）。長期休暇が終ってすぐの確認テストは、本当にかわいそうになってくる。勉強が大切なのはわかるが、自分で自己学習させれば良いと思う。自分で考える事、学校で集団でいる事で得られるもの（合唱は素晴らしい体験聞いていて感動しました）そういう事をぜひ体験をどんどんさせてほしい。
- 今年春より水沢方面へ高校進学予定だが、通学について困っております。バス通学の予定でしたが、廃止になるとの事で、その代わりとなる移動手段を何か検討していただきたいと思っています。父母共に仕事があり、毎日送迎となると難しいので、宜しく願いしたいところです。
- 給付金がいつも低所得者だけだが、それ以外でも生活が苦しい人はたくさんいます。子育て世代全体に給付するようにしてほしい。
- 金ヶ崎町の子育て支援に満足しています。高校の支援に世帯年収で区切らないでほしいです。世帯年収の高い低いに関係なく子育てにはお金がかかります。生活維持と大学進学費用の両立は支援なしでは困難だと思います。
- 低い家賃で住める住宅を増やしてほしい。貸家など、空家バンクリフォーム後家賃の支払いが厳しい母子にとっては。
- 小中高の学校の女子更衣室設置小中高の学校の女子トイレ洋式数増安心して学校に通うために上記2点を検討してほしい。
- 中学校の部活動について、夜練や父母会の運営等、以前よりも親の負担が多くなった。
- このアンケートの意味がわからないが、小学校、中学校、高校のしゅくしょうにつながるもののだとしたら、間接的な聞き方ではないほうがいい 生涯教育の町
- 大学進学を考えているが町の奨学金は借りられない。返済期間が短すぎる。誰も借りようとは思わないと思う。いじめ等、学校の先生は頼りにならない。教育委員会も。泣き寝入りしている。
- 放課後に自主練ができる空間の施設があったら良いなと子供から聞いたことがあります。金ヶ崎図書館は10：00までということで学校から帰ってくると間に合わないそうです。ちなみに平泉の図書館は21：00まで使えると聞いたことがあります。静かな場所で集中したい思いがあるようです。家ではなぜかやる気スイッチが入らないとか。うちは双子の兄弟なので保護者用アンケートは2通あれば助かります。
- 高校までの医療費は助成いただけてますが、専門学生までも補助いただけるとありがたいです。
- 学校や部活で病院に行ける時間が限られてしまうのが困る。
- "給食費を無料にする前に、予防接種を無料にして欲しかった。
- 負担が多い。（インフルエンザ、おたふく、水疱瘡！！）"

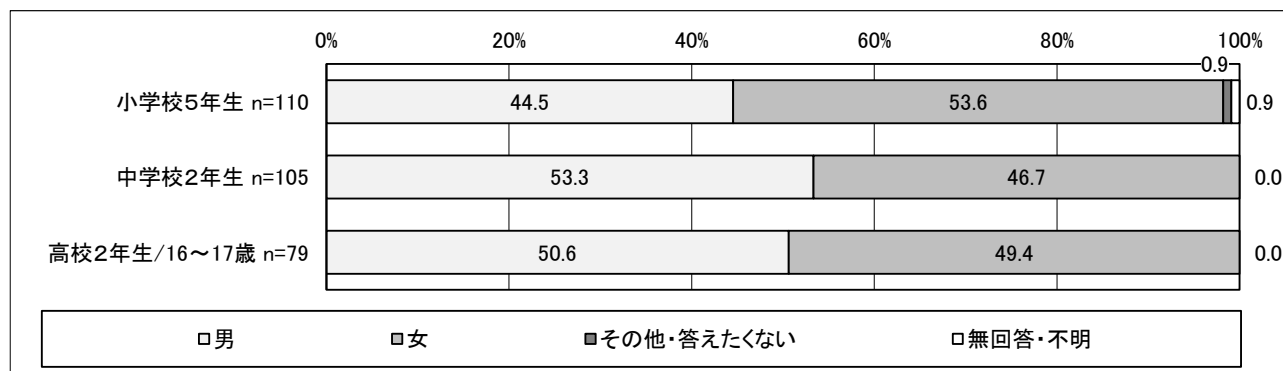
- 将来金ヶ崎に住み続けたいと子供たちに思ってもらえるような政策をしてほしい。小さい子だけでなく、中・高校生への支援（町の支援の充実を実感できるようなこと）を考えてほしい。金銭をもらうような支援も必要な人もいると思うけど、払った税金が生きて使われていることを、税金の恩恵を感じられるような取り組みをしてほしい。
- 金ヶ崎町立図書館について、朝10時開館となっていますが、中高生が勉強する場所としては、朝早くから(8時半とか9時とか)開館していただきたいです。
- 頭が良く、勉強する意欲があってもお金が理由で進学をあきらめた町内の友人のお子さんがあるので、そういう人達が安心して学べるチャンスを作ってほしい。2人とも優秀な子供達だったのでとても残念。一人は医者希望→金がなく看護師に。一人は大学進学をあきらめて就職予定です。
- 子供達が伸び伸び育つ環境。
- 中学校3年生の受験生の頃、ひとり親世帯向けの学習支援を受けさせて頂いてとても良かったので、高校生向けの学習支援も引き続きあればとても助かります。今後進学となった時、日々塾等に通わせるのが経済的に厳しいです。
- 遅くなりすみません。気になる点として、経済状況をチェック欄に記入しましたが、職員の方の黙秘に関して外部に漏れることなく守られていれば安心です。
- 中・高生が、遊びに行く時金ヶ崎町内で遊ぶ事が無いという事は残念な事だと思います。電車などで北上に行ったりしますが、交通費もかかるのである意味車のない子供達にとっては住みづらい町なんだと思います。金ヶ崎町内に他の市町村の友人をよんで遊べるような所があったら良いのにと子供と話します。
- 冬期は、体育館で部活を行っているが、取り合いになり、練習できなくなる。体育館の数が少ない。また、最低限の練習時間を確保したい。職場体験の回数を多くして欲しい。
- 子供の医療制度に関してはとてもありがたいです。今後も継続していただきたいです。
- 学力だけではなく面接などをして「私は学びたい」という子供には支援(無償で)してほしい。

第4章 子どもの生活に関する調査

I 回答者の属性

1. 性別

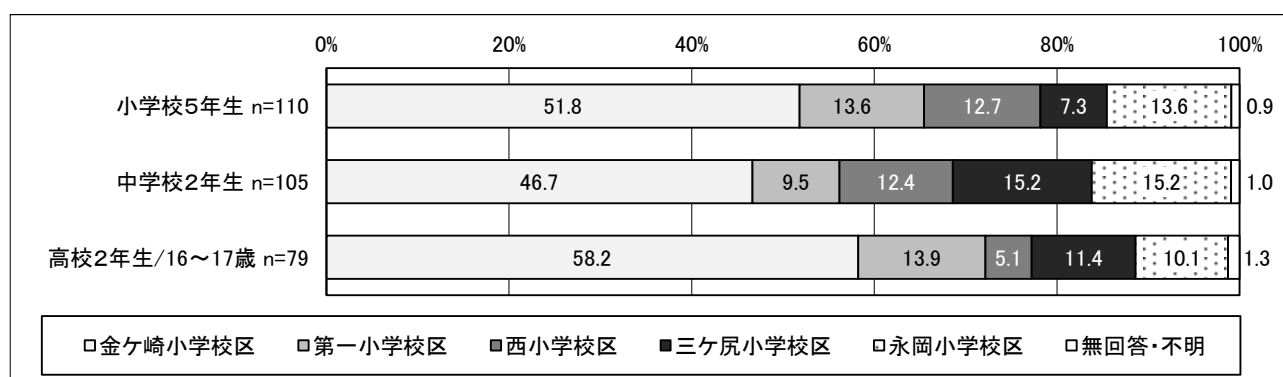
問1. あなたの性別を教えてください。(1つのみ)



小学校5年生は「男」が44.5%、「女」が53.6%、中学校2年生は「男」が53.3%、「女」が46.7%、高校2年生／16～17歳（以下「高校2年生等」という）は「男」が50.6%、「女」が49.4%の構成になっている。小学校5年生は「女」が、中学校2年生は「男」がそれぞれ若干多くなっている。高校2年生等はほぼ均等になっている。

2. 居住地区

問2. あなたがお住まいの地区(小学校区)を教えてください。(1つのみ)

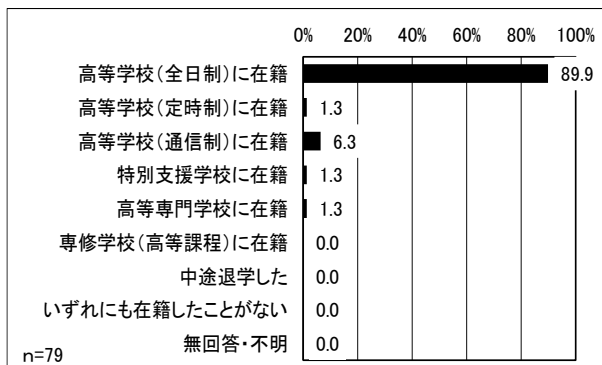


小学校5年生は「金ヶ崎小学校区」が51.8%を占め、「第一小学校区」(13.6%)が続く。中学校2年生は「金ヶ崎小学校区」が46.7%を占め、「三ヶ尻小学校区」(15.2%)が続く。高校2年生等は「金ヶ崎小学校区」が58.2%を占め、「第一小学校区」(13.9%)が続く。3学年とも「金ヶ崎小学校区」が50%前後を占める。

3. 学校在籍の状況(高校生等調査)

問3. あなたは、現在、学校に在籍していますか。(1つのみ)

【高校2年生等調査】



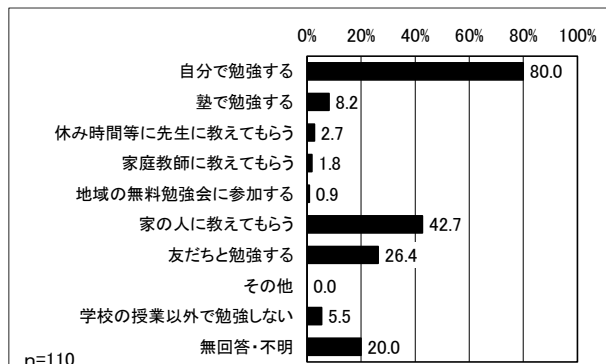
高校2年生等への設問である。「高等学校(全日制)に在籍」が89.9%を占める。その他で「高等学校(通信制)に在籍」が6.3%で続く。

Ⅱ 勉強、授業、進学について

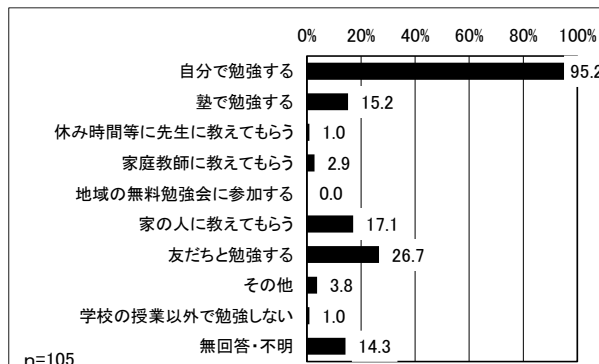
1. 学校の授業以外の勉強

問3. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題もふくみます。(いくつかでも)

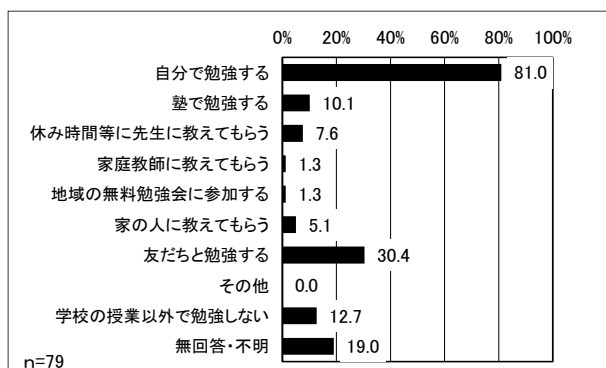
【小学校5年生調査】



【中学校2年生調査】



【高校2年生等調査】

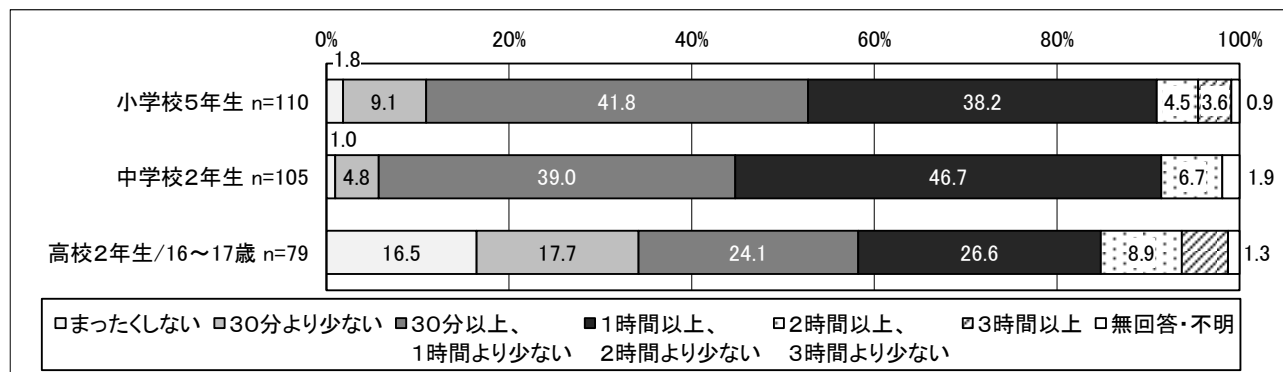


小学校5年生は「自分で勉強する」が80.0%を占め、「家の人に教えてもらう」（42.7%）が続く。中学校2年生は「自分で勉強する」が95.2%を占め、「友達と勉強する」（26.7%）が続く。2番めの回答が小学校5年生は「家の人に教えてもらう」、中学校2年生、高校2年生等は「友達と勉強する」になっている。

2. 学校の授業以外の勉強時間

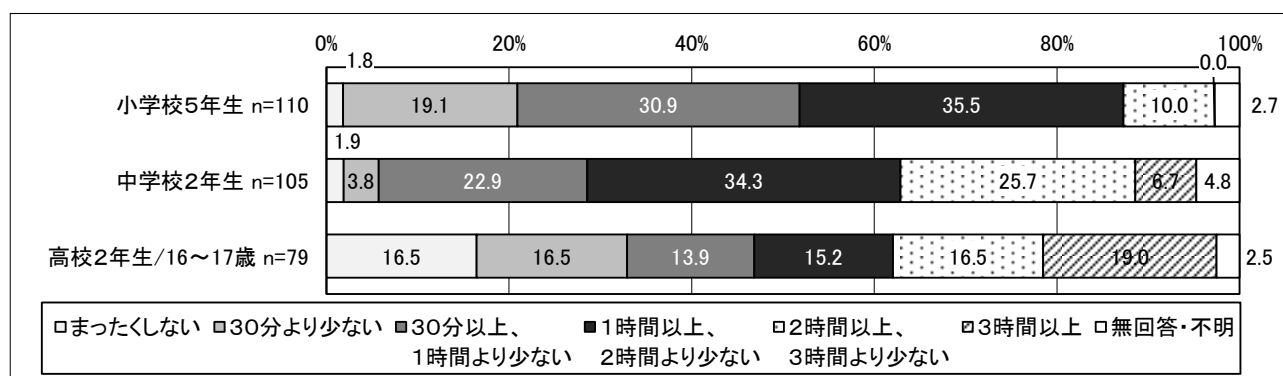
問4. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

a)学校のある日(月～金曜日)



小学校5年生は「30分以上1時間より少ない」が41.8%で最も高く、「1時間以上2時間より少ない」(38.2%)が続く。中学校2年生は「1時間以上2時間より少ない」が46.7%で最も高く、「30分以上1時間より少ない」(39.0%)が続く。高校2年生等は「1時間以上2時間より少ない」が26.6%で最も高く、「30分以上1時間より少ない」(24.1%)が続く。「1時間以上2時間より少ない」は中学校2年生が最も高い。また高校2年生等は回答が分散している。

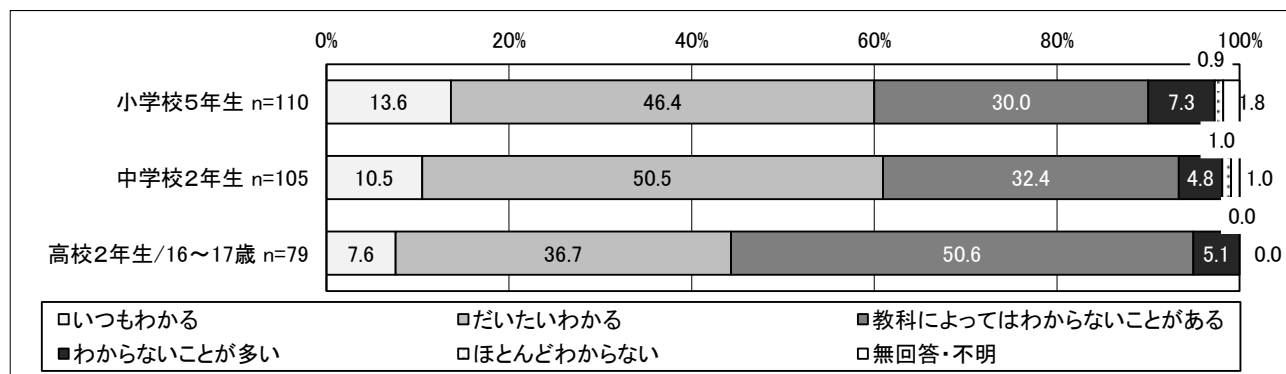
b)学校がない日(土・日曜日・祝日)



小学校5年生は「1時間以上2時間より少ない」が35.5%で最も高く、「30分以上1時間より少ない」(30.9%)が続く。中学校2年生は「1時間以上2時間より少ない」が34.3%で最も高く、「2時間以上3時間より少ない」(25.7%)が続く。高校2年生等は「3時間以上」が19.0%で最も高い。「1時間以上2時間より少ない」は小学校5年生が最も高い。また高校生は回答がより分散する。

3. 学校の授業の理解

問5. あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(1つのみ)



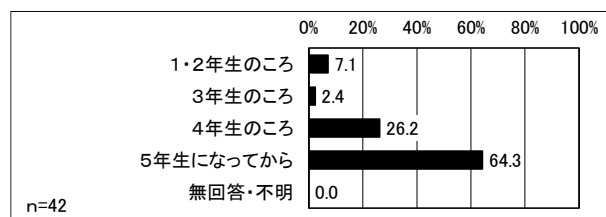
小学校5年生は「だいたいわかる」が46.4%で最も高く、「教科によってわからないことがある」(30.0%)が続く。中学校2年生は「だいたいわかる」が50.5%で最も高く、「教科によってわからないことがある」(32.4%)が続く。高校2年生等は「教科によってわからないことがある」が50.6%で最も高く、「だいたいわかる」(36.7%)が続く。小学校5年生、中学校2年生は「だいたいわかる」が1番高い回答になっているが、高校2年生等は「教科によってわからないことがある」になっている。

4. 理解できなくなった時期

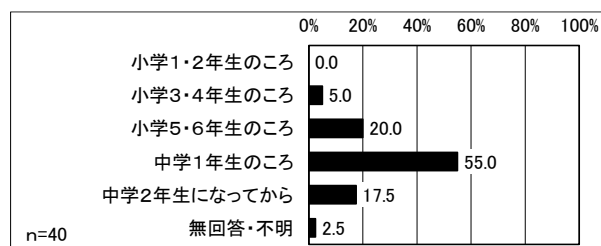
【問5で「3. 教科によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。】

問6. いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(1つのみ)

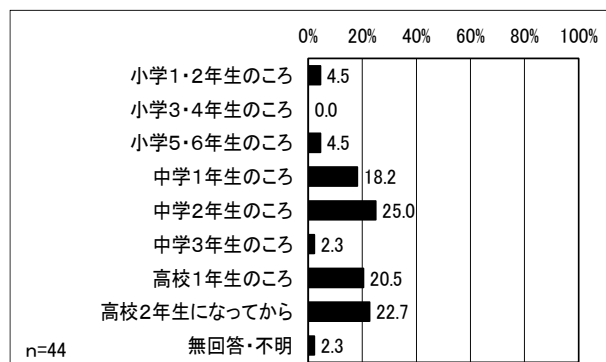
【小学校5年生調査】



【中学校2年生調査】



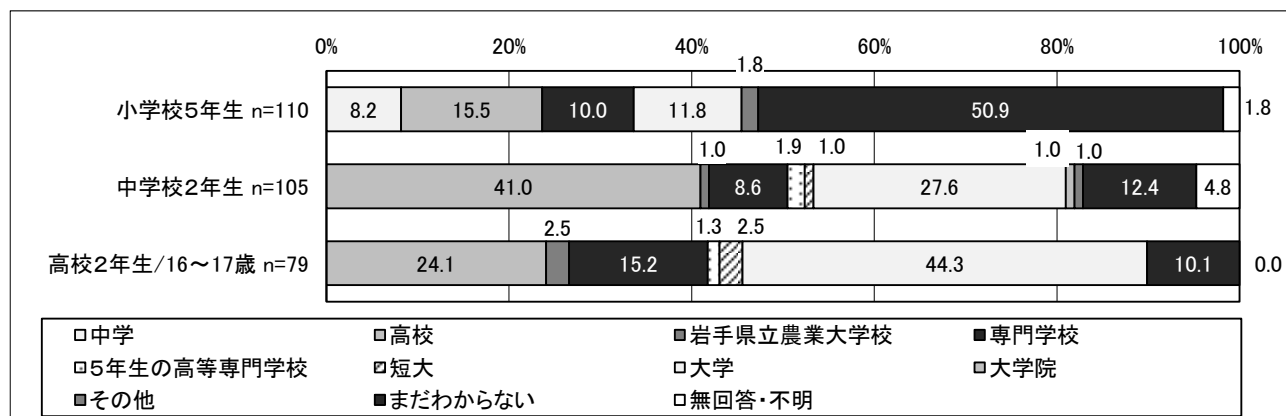
【高校2年生等調査】



小学校5年生は「5年生になってから」が64.3%で最も高く、中学校2年生は「中学1年生のころ」が55.0%で、高校2年生等は「中学2年生のころ」が25.0%でそれぞれ最も高くなっている。高校2年生等は回答が分散している。

5. 最終学歴の意向

問7. あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(1つのみ)

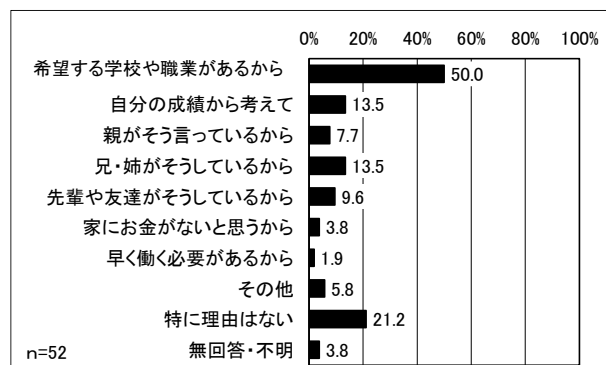


小学校5年生は「まだわからない」が50.9%を占める。中学校2年生は「高校」が41.0%で最も高く、「大学」（27.6%）が続く。高校2年生等は「大学」が44.3%で最も高く、「高校」（24.1%）が続く。

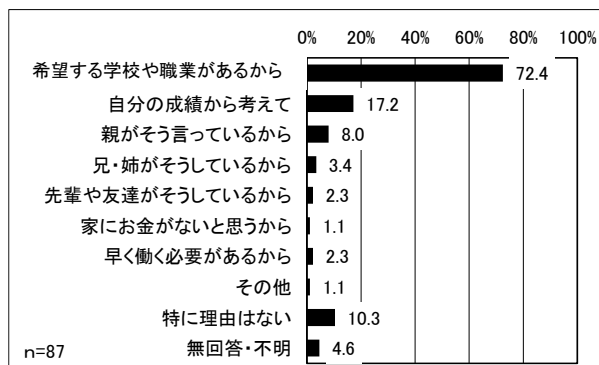
6. 最終学歴の意向の理由

【問7で「1. ～8. の進学したい学校」や「9. その他」と答えた人にお聞きます。】
問8. その理由を教えてください。(いくつでも)

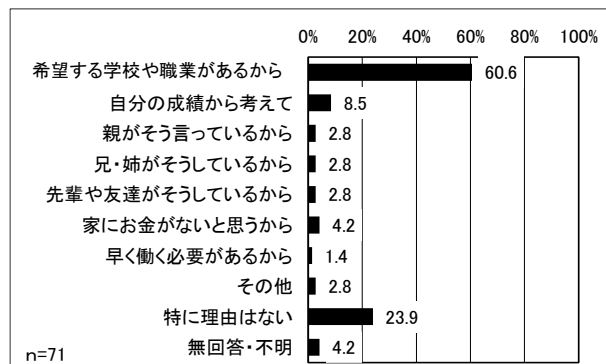
【小学校5年生調査】



【中学校2年生調査】



【高校2年生等調査】

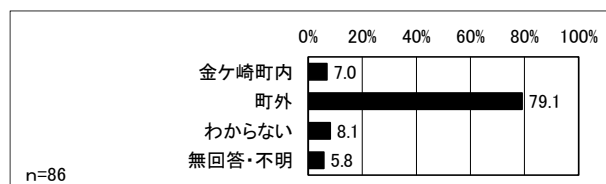


3 学年とも「希望する学校や職業があるから」が最も高い回答で、小学校 5 年生が50.0%、中学校 2 年生が72.4%、高校 2 年生等が60.6%となっている。

7. 金ヶ崎町内の高校の選択(中学生調査)

【問7で「1. ～8. の進学したい学校」を答えた方にお聞(き)きます。】
問9. 進学したい高校は「金ヶ崎町内」ですか、「町外」の高校ですか。(1つのみ)

【中学校2年生調査】



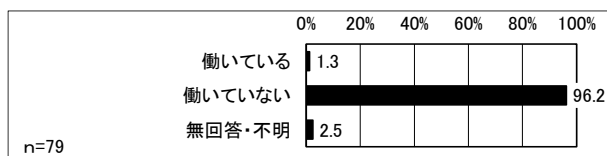
中学校 2 年生への設問である。「町外」が79.1%を占め、「金ヶ崎町内」は7.0%にとどまる。

Ⅲ 就業状況、将来の仕事について

1. 就労の有無(高校生等調査)

問10. あなたは現在、働いていますか(高校生のアルバイトは含まない)。(1つのみ)

【高校2年生等調査】



○「働いている」は1名

2. 就労環境の満足状況

【問10で「1. 働いている」と答えた方にお聞きます。】
問11. あなたは、現在の就労環境に満足していますか。(1つのみ)

○1名の回答は「2. いいえ」

3. 満足していない理由

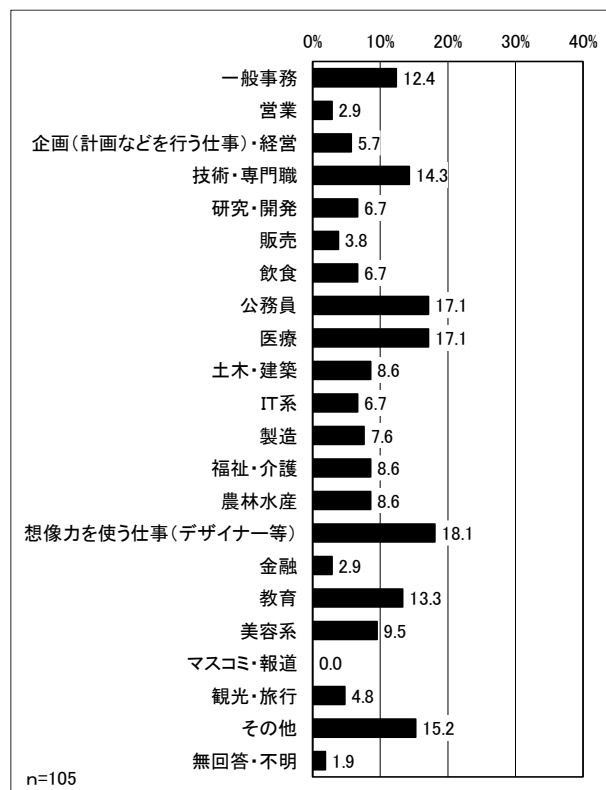
【問11で「2. いいえ」と答えた方にお聞きます。】
問12. その理由を教えてください。(いくつでも)

○1名の回答は「2. 休めない、残業が多い」

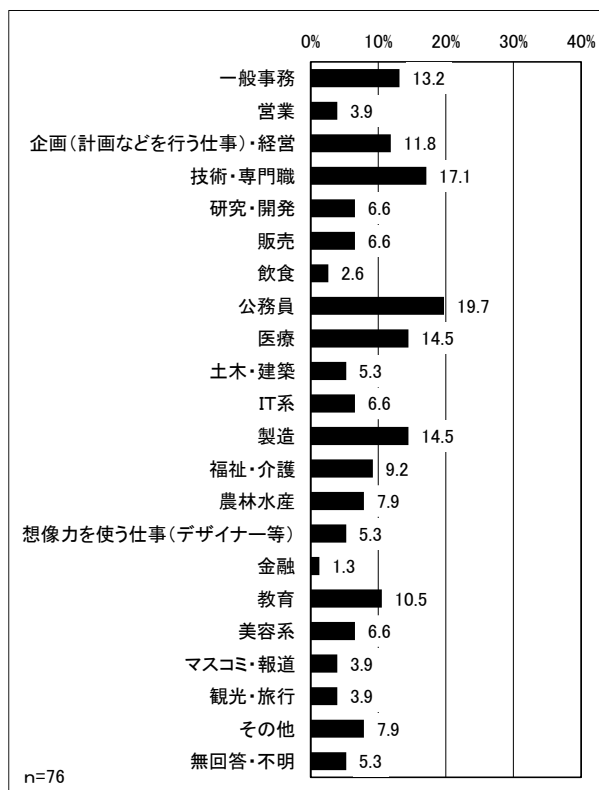
4. 将来の希望の仕事(中学生調査、高校生等調査)

問10. あなたは、将来、どのような仕事をしたいですか。(3つまで)

【中学校2年生調査】



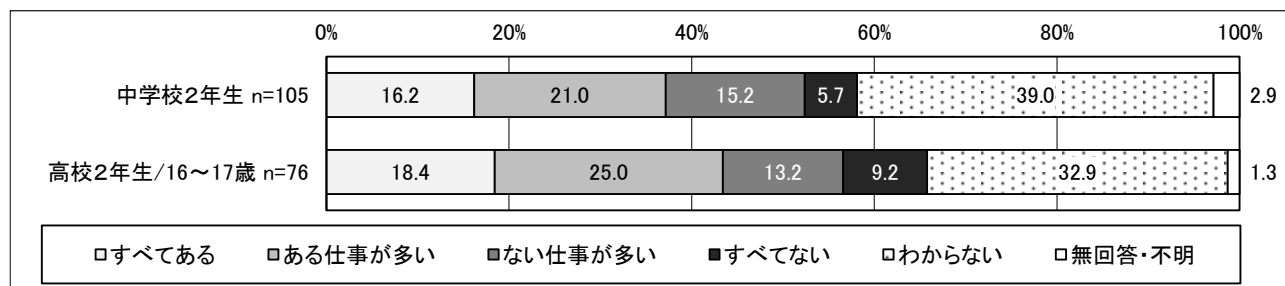
【高校2年生等調査】



中学校2年生、高校2年生等への設問である。中学生は「想像力を使う仕事(デザイナー等)」が18.1%で最も高く、「公務員」(17.1%)、「医療」(17.1%)、「技術・専門職」(14.3%)、「教育」(13.3%)、「一般事務」(12.4%)と続く。高校生は「公務員」が19.7%で最も高く、「技術・専門職」(17.1%)、「医療」(14.5%)、「製造」(14.5%)、「一般事務」(13.2%)「企画(計画などを行う仕事)・経営」(11.8%)、「教育」(10.5%)と続く。

5. 希望の仕事の町内所在(中学生調査、高校生等調査)

問11. 問10であげた仕事は金ケ崎町内にありますか。(1つのみ)

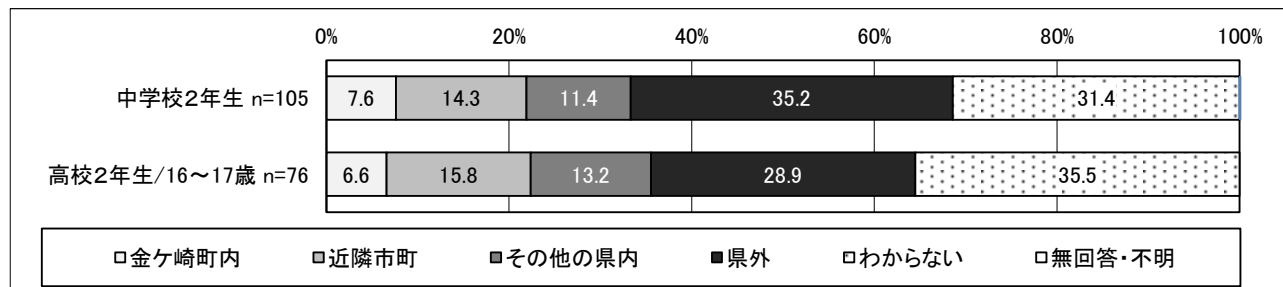


中学校2年生、高校2年生等への設問である。2学年とも「わからない」が最も高い回答で、中学校2年生が39.0%、高校2年生が32.9%になっている。2番目の回答はともに「ある仕事が多

い」で、中学校2年生が21.0%、高校2年生が25.0%になっている。

6. 将来の働きたい地域(中学生調査、高校生等調査)

問12. あなたは、将来、どこで働きたいですか。(1つのみ)

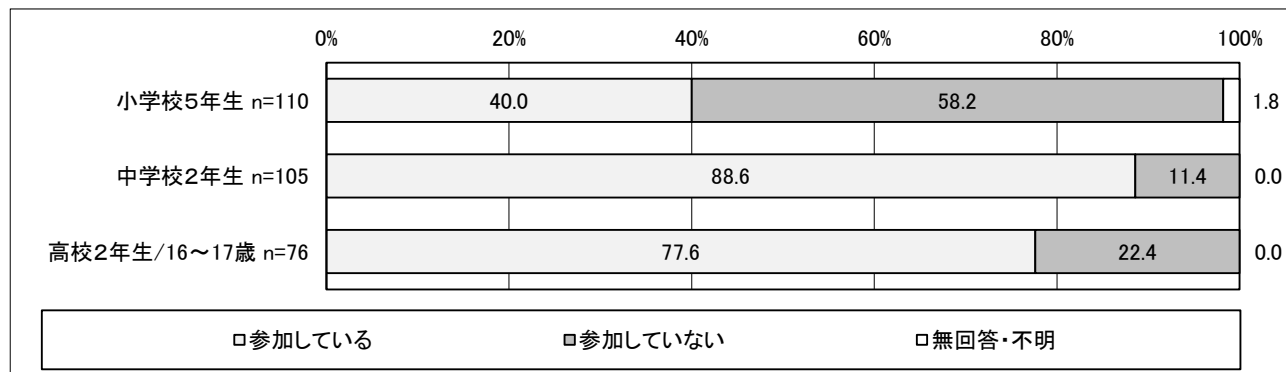


中学校2年生、高校2年生等への設問である。中学校2年生は「県外」が35.2%で最も高く、「わからない」(31.4%)と続く。高校2年生等は「わからない」が35.5%で最も高く、「県外」(28.9%)と続く。中学校2年生と高校2年生等では、1番目と2番目の回答が入れ替わっている。

Ⅳ 生活、悩み、満足度について

1. 地域のクラブ活動等の参加状況

問9. あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ(伝承活動)に参加していますか。(1つのみ)



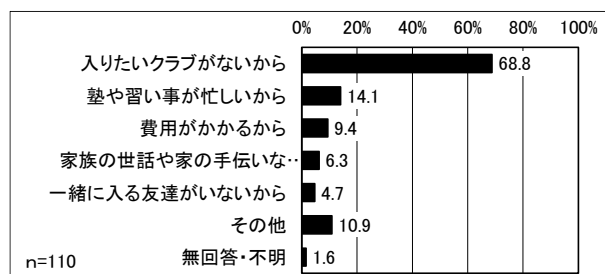
「参加している」との回答は、小学校5年生は40.0%にとどまり、中学校2年生は88.6%、高校2年生等は77.6%を占めるようになっている。

2. 参加していない理由

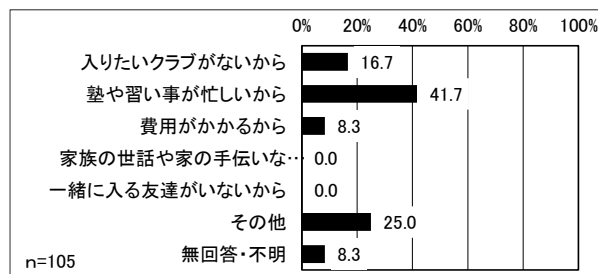
【問9で「2. 参加していない」と答えた人にお聞きます。】

問10. その理由は何ですか。(いくつでも)

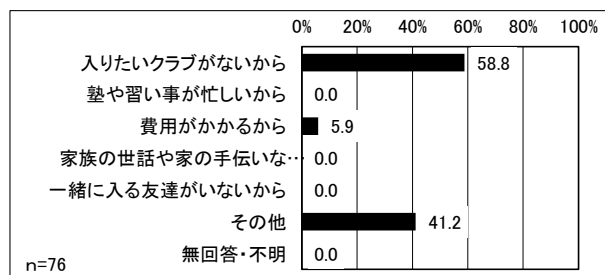
【小学校5年生調査】



【中学校2年生調査】



【高校2年生等調査】

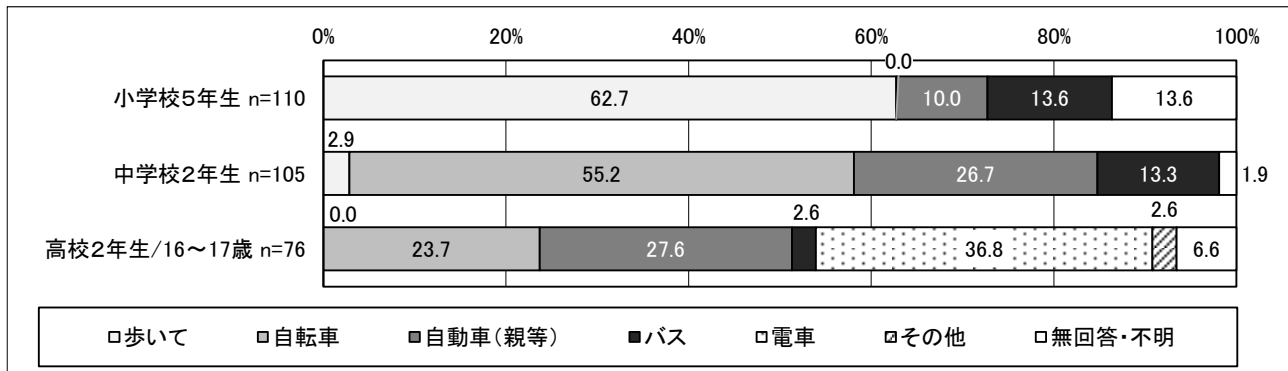


小学校5年生は「入りたいクラブがないから」が68.8%で最も高く、中学校2年生は「塾や習い事が忙しいから」が41.7%で、高校2年生等は「入りたいクラブがないから」が58.8%で最も高くなっている。

3. 学校や遊び等に行く交通手段

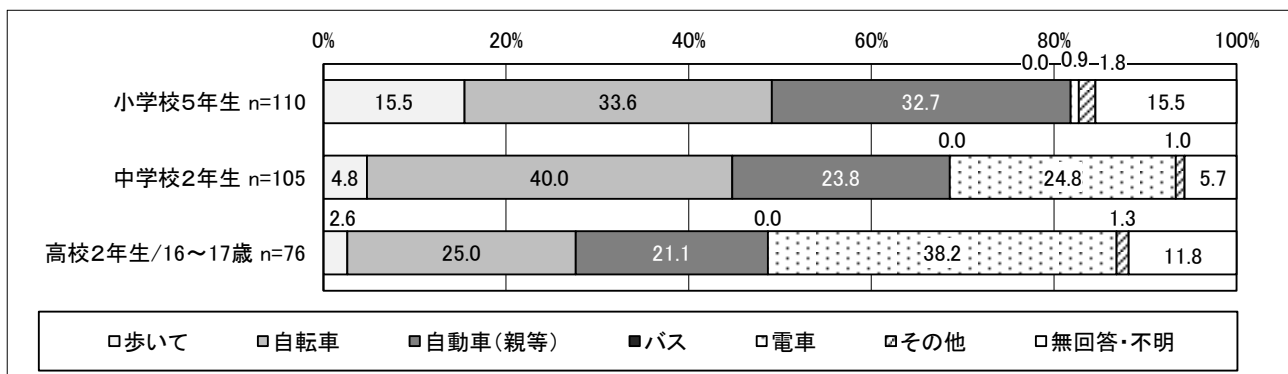
問11. あなたは学校や遊び、習い事に行くときは、どのようにして行きますか。
(a、b、c、dそれぞれ最も多いもの1つのみ)

a)学校



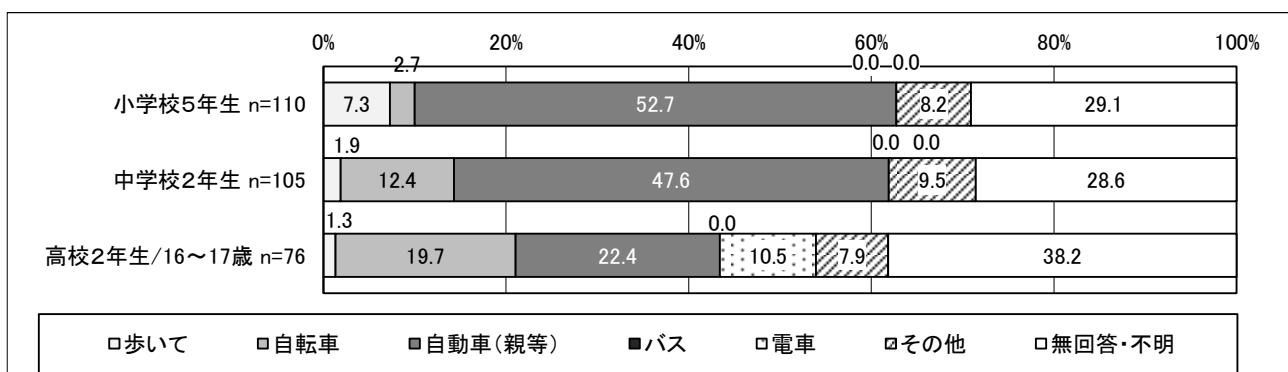
小学校5年生は「歩いて」が62.7%を占め最も高く、中学校2年生は「自転車」が55.2%、高校2年生等は「電車」が36.8%でそれぞれ最も高くなっている。

b)遊び



小学校5年生は「自転車」が33.6%で最も高く、中学校2年生は同じく「自転車」が40.0%、高校2年生等は「電車」が38.2%で最も高くなっている。

c)習い事

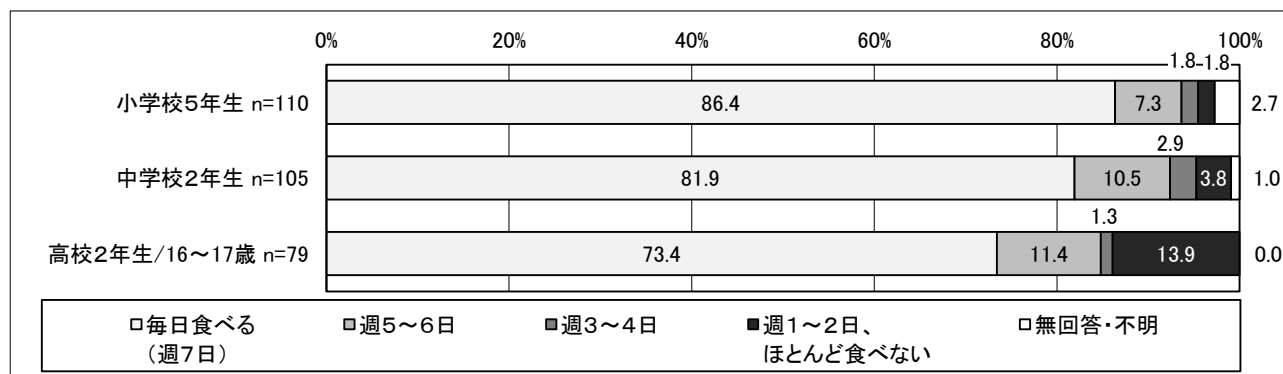


小学校5年生は「自動車（親等）」が52.7%を占め、中学校2年生は「自動車（親等）」が47.6%、高校2年生等は「自動車（親等）」が22.4%で最も高くなっている。また、高校2年生等は「無回答」が38.2%と高くなっている。

4. 1週間の食事日数

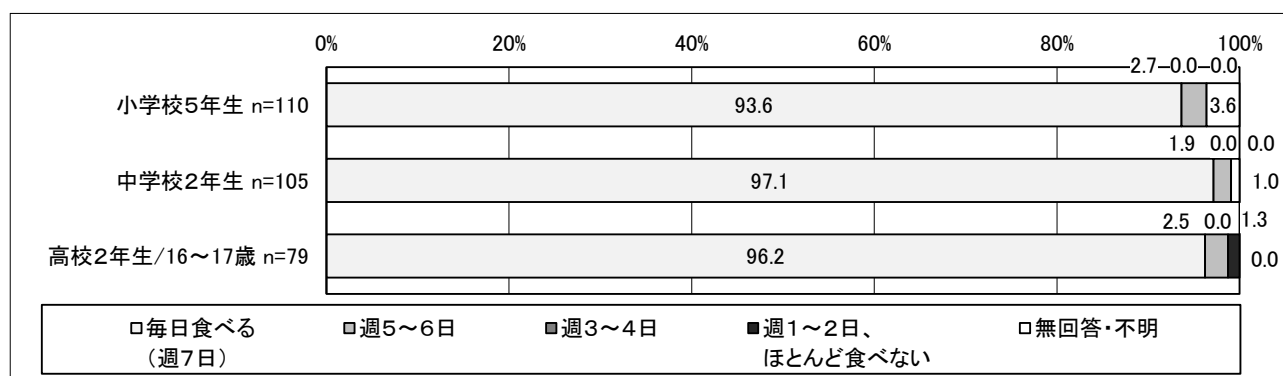
問12. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a、b、cそれぞれに1つのみ)

a)朝食



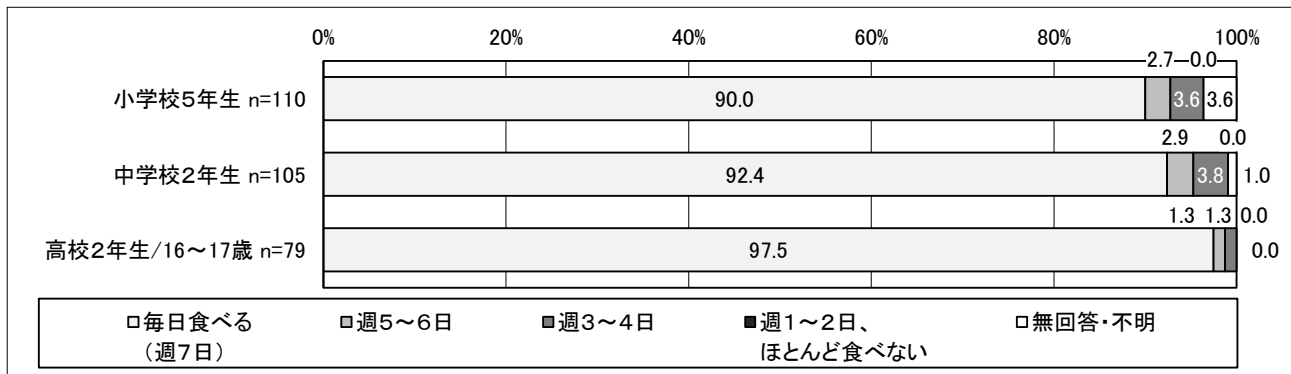
3学年とも「毎日食べる」が最も高く、小学校5年生が86.4%、中学校2年生が81.9%、高校2年生等が73.4%になっている。学年が高くなるほど「毎日食べる」の回答が低くなっている。

b)夕食



3学年とも「毎日食べる」がほとんどを占め、小学校5年生が93.6%、中学校2年生が97.1%、高校2年生等が96.2%を占める。

c)夏休みや冬休みの期間の昼食、昼食

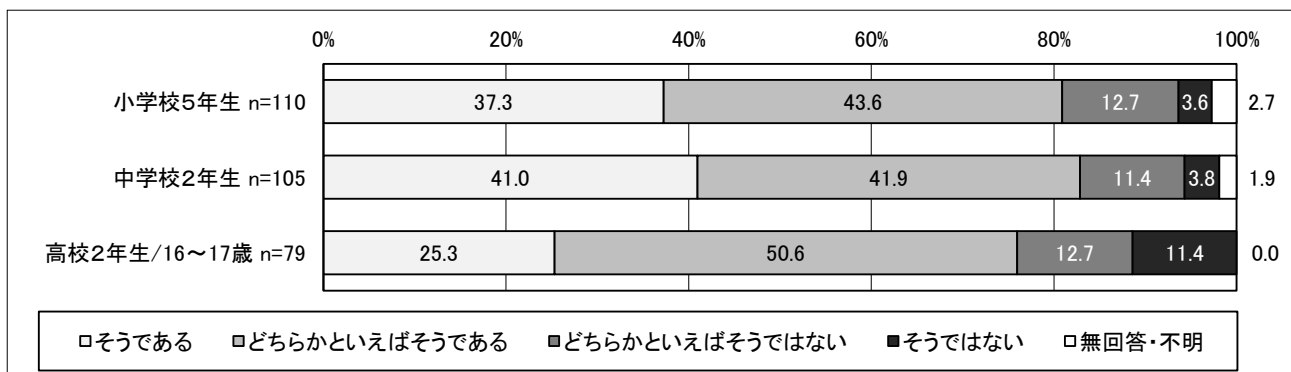


小学校5年生、中学校3年生は夏休みや冬休み期間中の昼食について、高校2年生等は普段の昼食についての設問になっている。

3学年とも「毎日食べる（週7日）」がほとんどを占め、小学校5年生が90.0%、中学校2年生が92.4%、高校2年生等が97.5%になっている。

5. 普段の就寝状況

問13. あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(1つのみ)

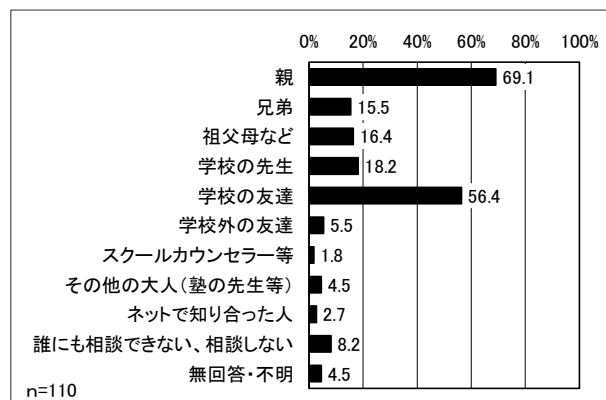


3学年とも「どちらかといえばそうである」が最も高く、小学校5年生が43.6%、中学校2年生が41.9%、高校2年生が50.6%になっている。2番目の回答は3学年とも「そうである」であるが、高校2年生が低くなっている。

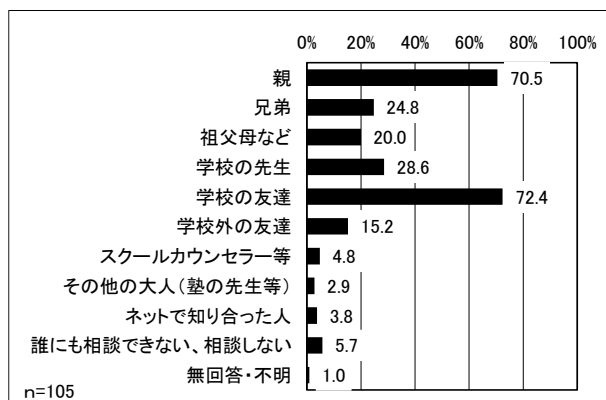
6. 困ったこと等の相談できる人

問14. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(いくつでも)

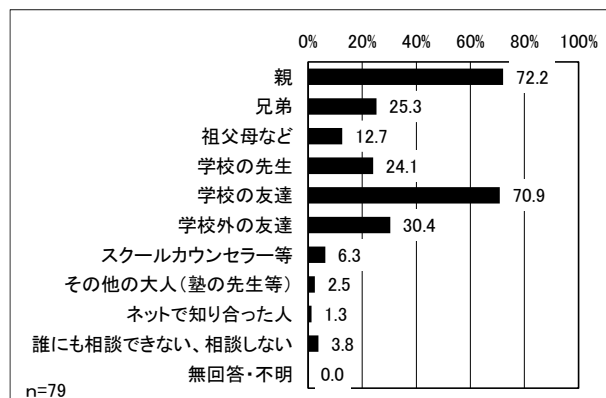
【小学校5年生調査】



【中学校2年生調査】



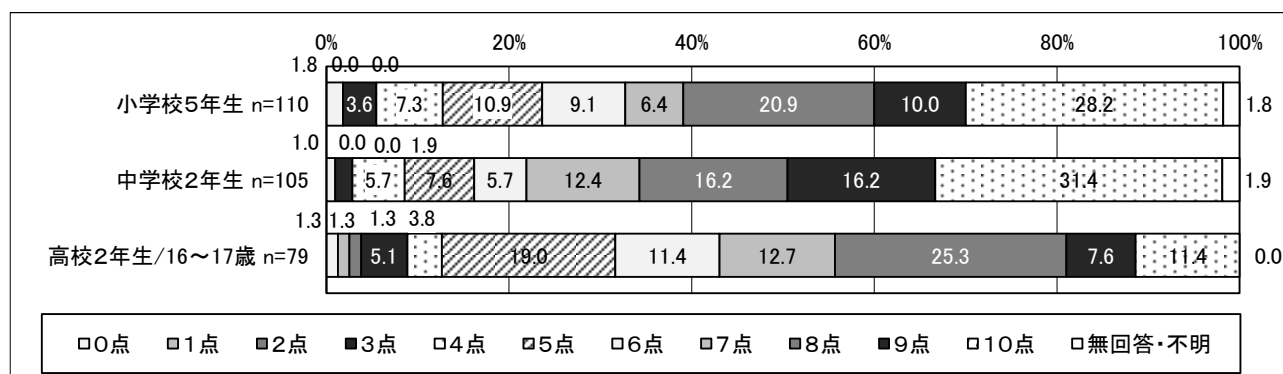
【高校2年生等調査】



3学年とも「親」が最も高く、2番目に「学校の友達」が続く。「親」の回答は、小学校5年生が69.1%、中学校2年生が70.5%、高校2年生等が72.2%になっている。

7. 最近の生活の満足度

問15. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。(1つのみ) 0:まったく満足していない 10:十分に満足している

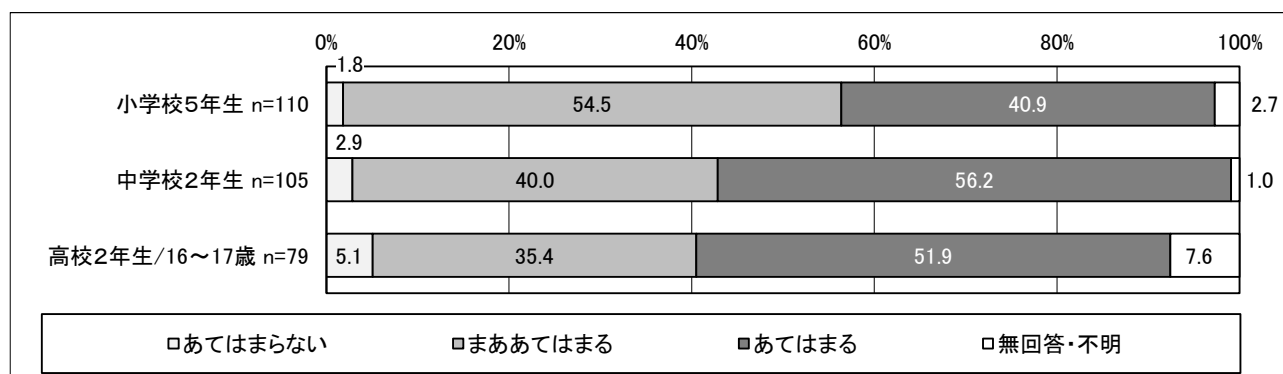


小学校5年生、中学校2年生は「10点」が最も高く、それぞれ28.2%、31.4%となっている。高校2年生等は「8点」が25.3%で最も高い。

8. 半年間の生活の振り返り

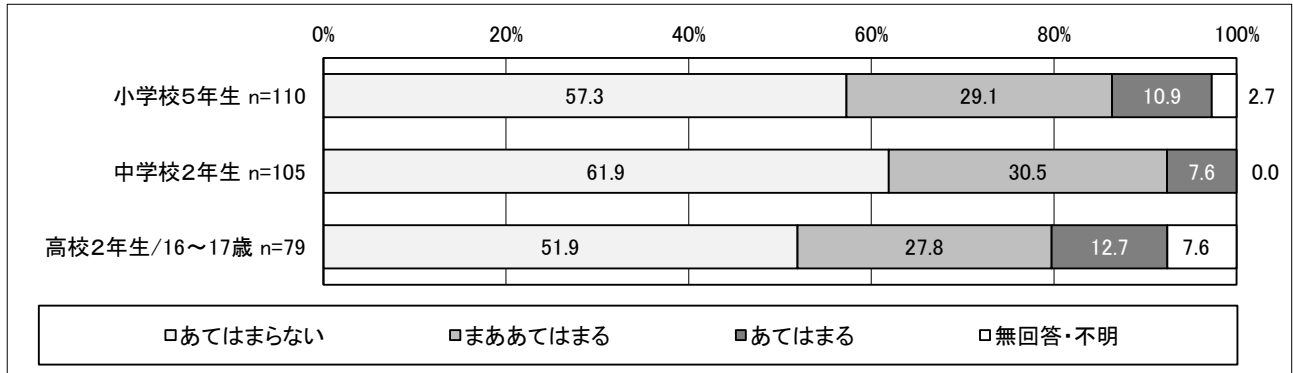
問16. 以下のそれぞれの質問について、あなたの半年間を振り返り「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、全部の質問に答えてください。(a～oそれぞれに1つのみ)

a) 他人に親切にしている



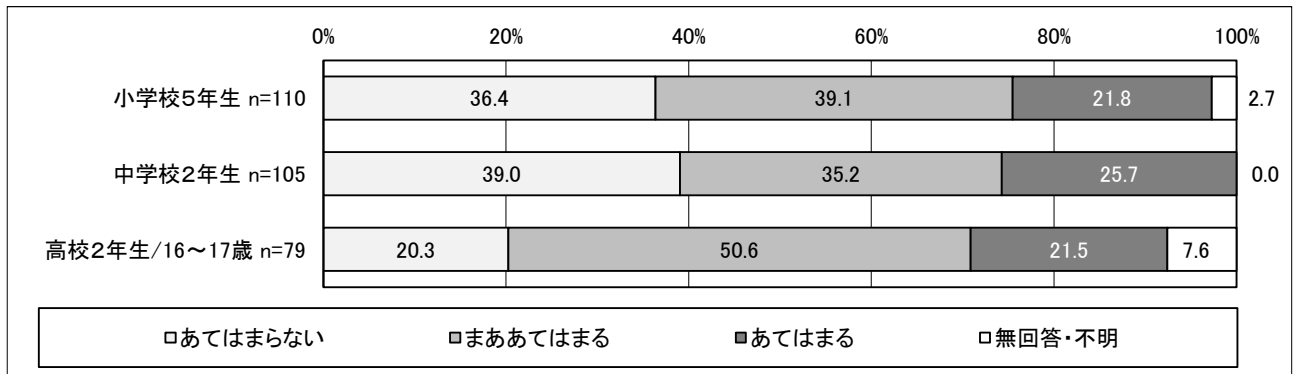
「あてはまる」は、中学校2年生が56.2%で最も高く、高校2年生の51.9%、小学校5年生の40.9%の順になっている。

b)頭やお腹が痛くなったりする



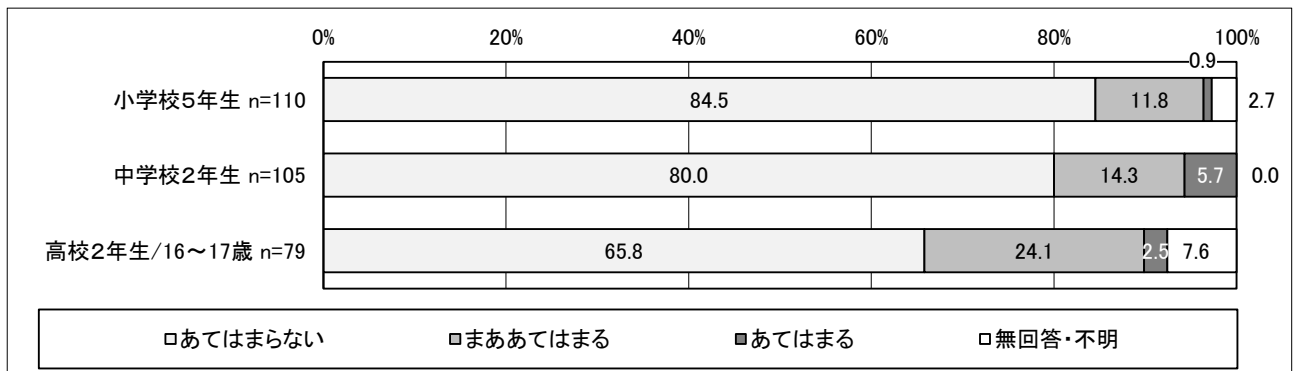
「あてはまらない」は、中学校2年生が61.9%で最も高く、小学校5年生の57.3%、高校2年生等の51.9%の順になっている。

c)他の子どもたちと物を分け合う



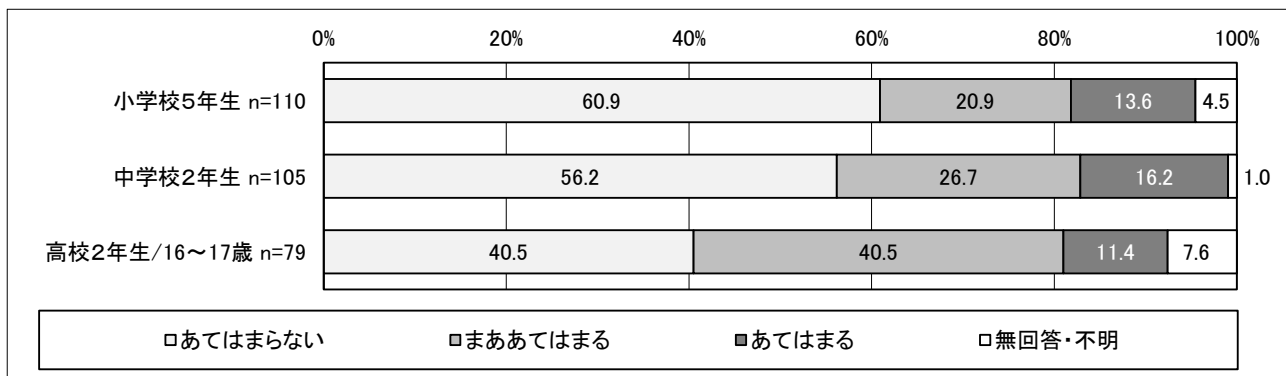
「あてはまる」は、中学校2年生が25.7%で最も高く、小学校5年生の21.8%、高校2年生等21.5%の順になっている。

d)たいてい一人でいる



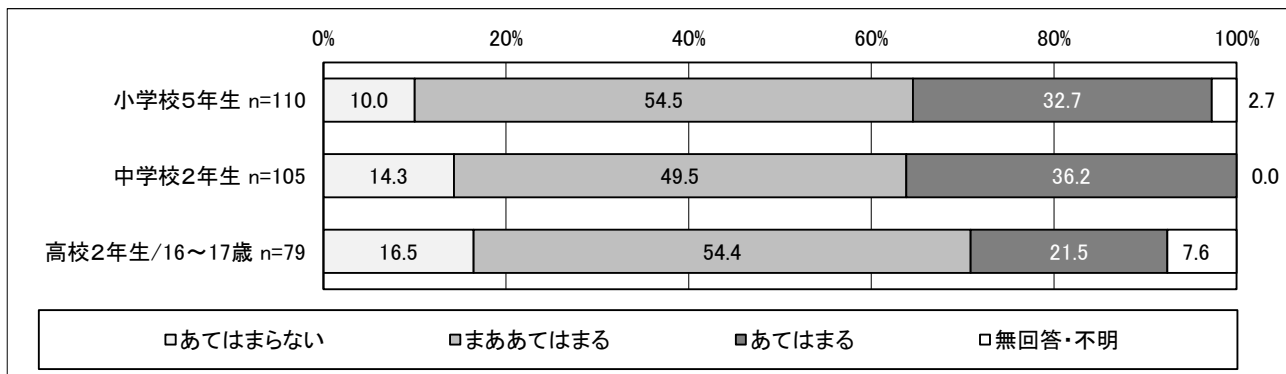
「あてはまらない」は、小学校5年生が84.5%で最も高く、中学校2年生の80.0%、高校2年生等の65.8%の順になっている。

e)心配ごとが多い



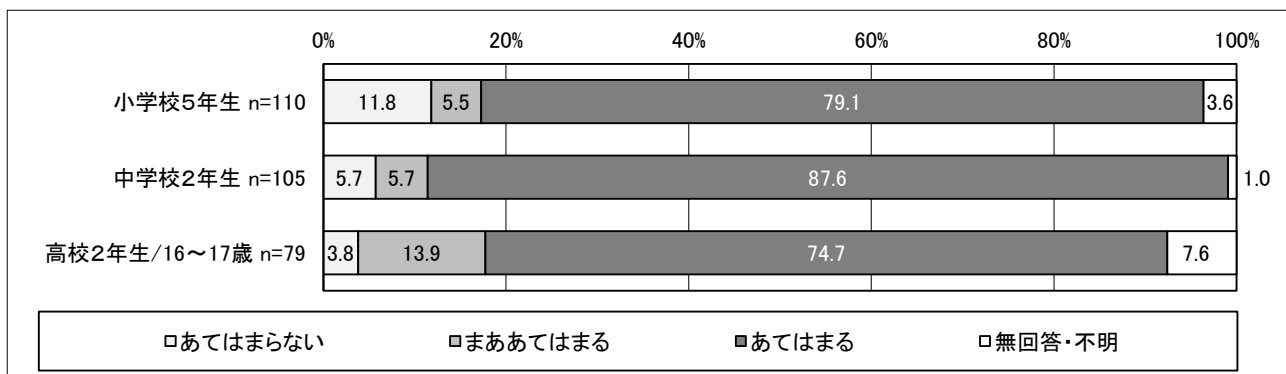
「あてはまらない」は、小学校5年生が60.9%で最も高く、中学校2年生の56.2%、高校2年生等の40.5%の順になっている。

f)誰かが心を痛めていたら、すすんで助ける



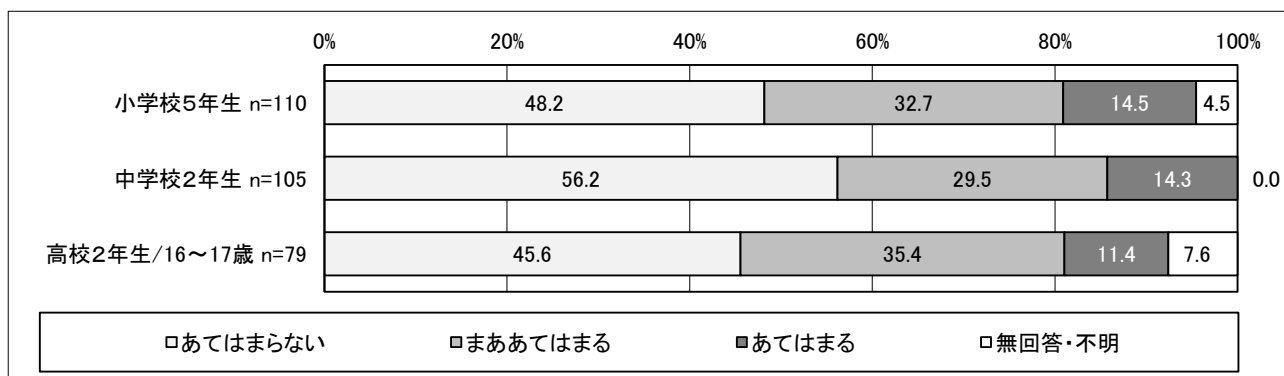
「あてはまる」は、中学校2年生が36.2%で最も高く、小学校2年生の32.7%、高校2年生等の21.5%の順になっている。

g)仲の良い友だちが少なくとも一人はいる



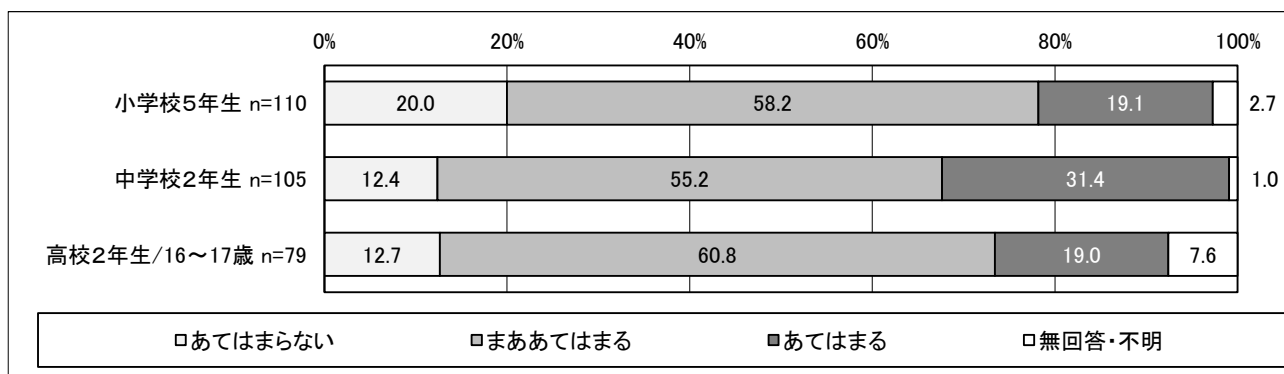
「あてはまる」は、中学校2年生が87.6%で最も高く、小学校5年生の79.1%、高校2年生等の74.7%の順になっている。

h) 落ち込んだり、涙ぐんだりすることがある



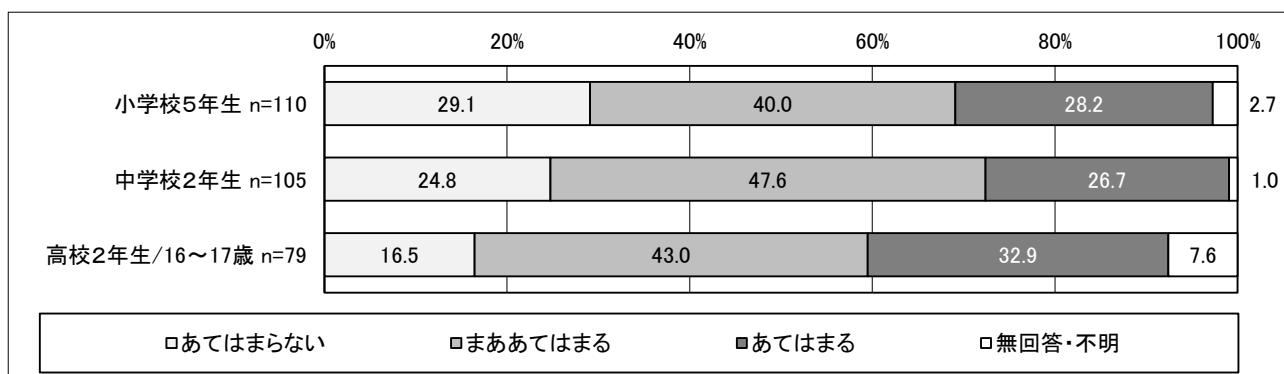
「あてはまらない」は、中学校2年生が56.2%で最も高く、小学校5年生の48.2%、高校2年生等の45.6%の順になっている。

i) 同年齢の子どもからは、好かれている



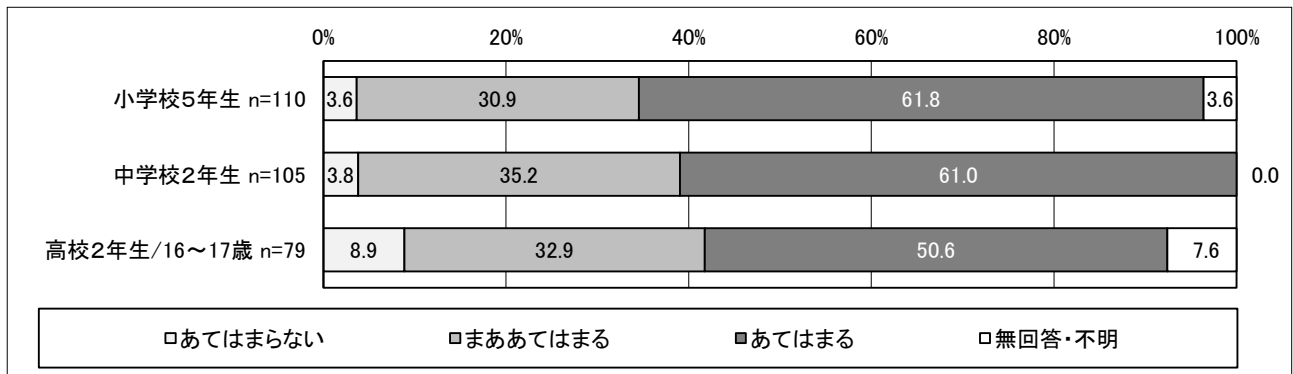
「あてはまる」は、中学校2年生が31.4%で最も高く、小学校5年生の19.1%、高校2年生等の19.0%の順になっている。

j) 新しい場面に直面すると不安になる



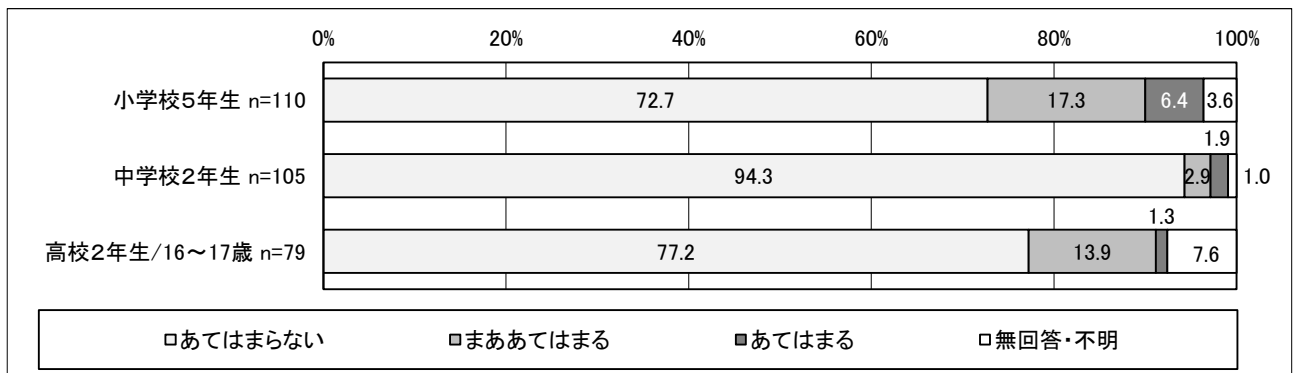
「あてはまらない」は、小学校5年生が29.1%で最も高く、中学校2年生の24.8%、高校2年生等の16.5%の順になっている。

k)年下の子どもたちに優しくしている



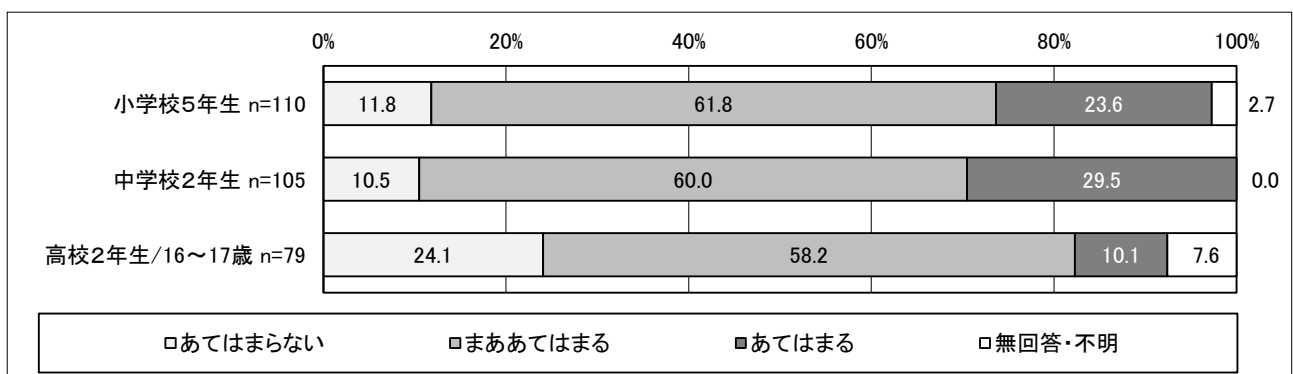
「あてはまる」は、小学校5年生が61.8%で最も高く、中学校2年生の61.0%、高校2年生等の50.6%の順になっている。

l)他の子どもから、いじめられたりする



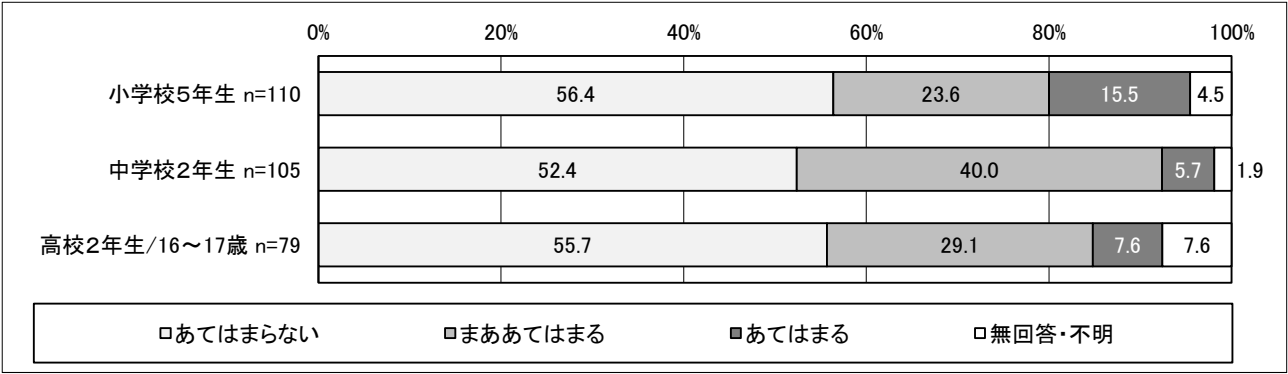
「あてはまらない」は、中学校2年生が94.3%で最も高く、高校2年生等の77.2%、小学校5年生の72.7%の順になっている。

m)自分からすすんでお手伝いをする



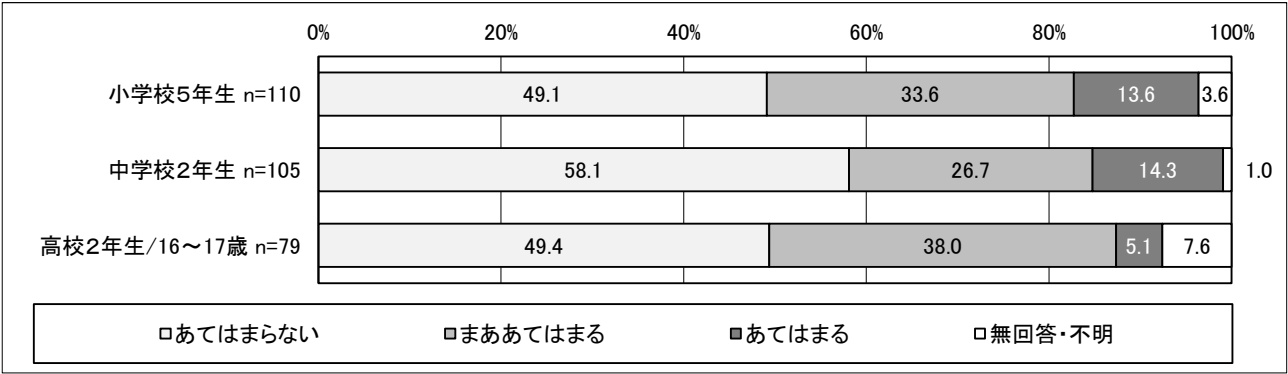
「あてはまる」は、中学校2年生が29.5%で最も高く、小学校5年生の23.6%、高校2年生等の10.4%の順になっている。

n)子どもたちより大人との方がうまくいく



「あてはまらない」は、小学校5年生が56.4%で最も高く、高校2年生等の55.1%、中学校2年生の52.4%の順になっている。

o)こわがりで、おびえることがある



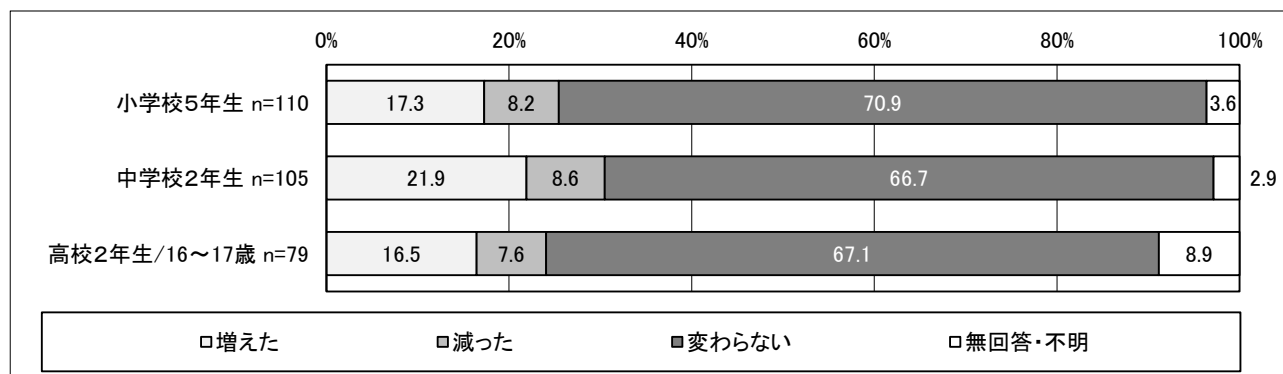
「あてはまらない」は、中学校2年生が14.3%で最も高く、小学校5年生の13.6%、高校2年生等の5.1%の順になっている。

V 新型コロナウイルスによる生活の変化について

1. 新型コロナウイルスによる生活の変化

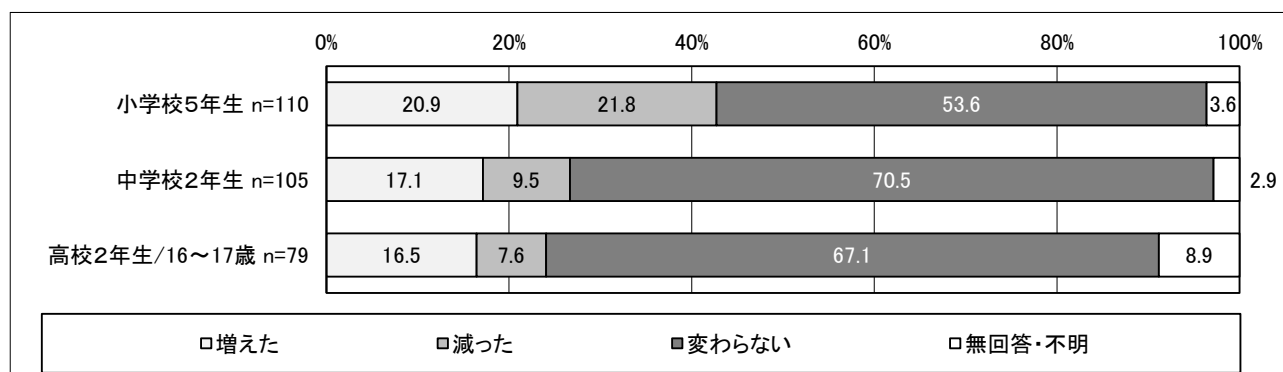
問17. あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症により学校が休校になる前(2020年2月以前)と比べて、どのように変わったと思いますか。(a～gそれぞれに1つのみ)

a) 学校の授業以外で勉強する時間



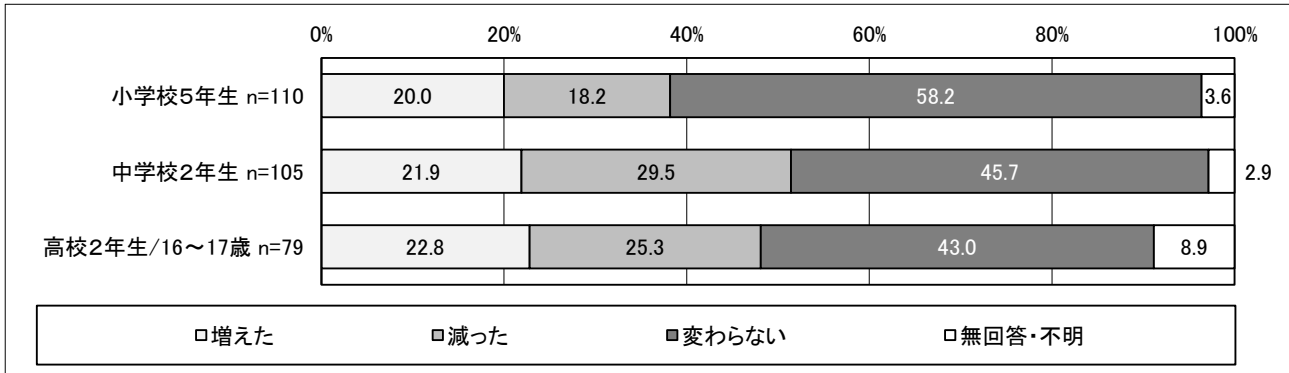
「増えた」は、中学校2年生が21.9%で最も高く、小学校5年生の17.3%、高校2年生等の16.5%の順になっている。

b) 学校の授業がわからないと感じる



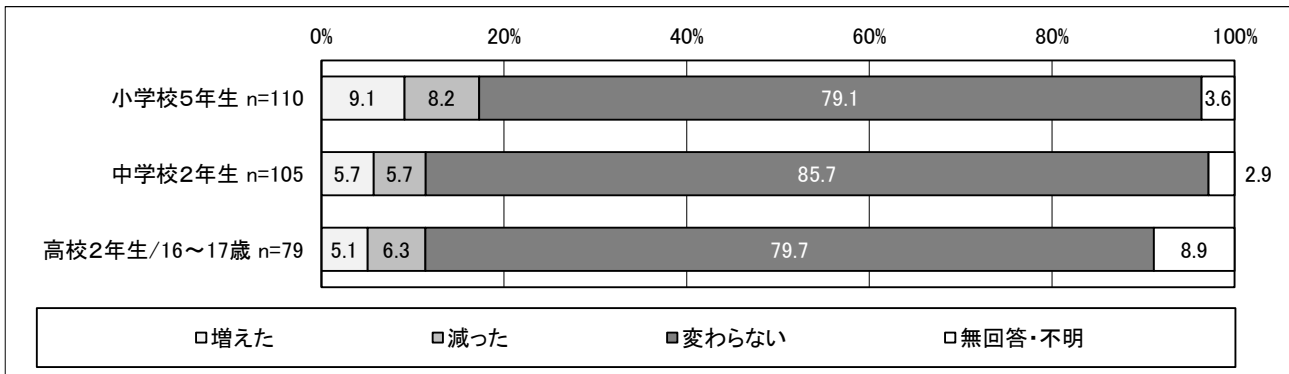
「増えた」は、小学校5年生が20.9%で最も高く、中学校2年生の17.1%、高校2年生等の16.5%の順になっている。

c)地域や学校のクラ活動で活動する回数



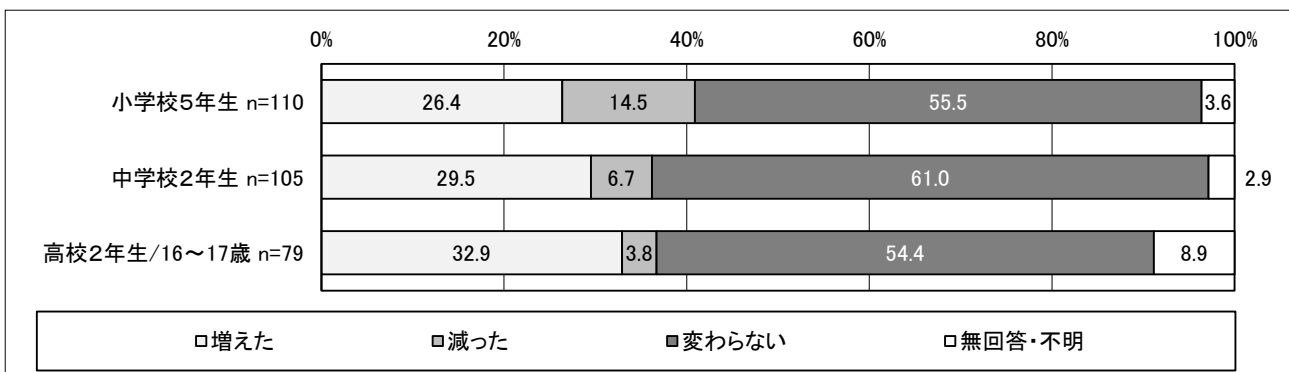
「増えた」は、高校2年生等が22.8%で最も高く、中学校2年生の21.9%、小学校5年生の20.0%の順になっている。

d)食事を抜く回数



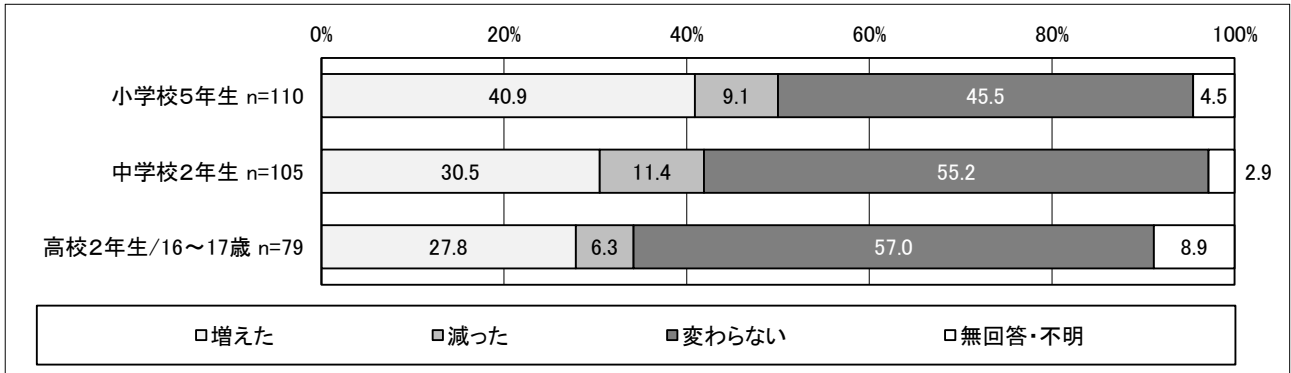
「増えた」は、小学校5年生が9.1%で最も高く、中学校2年生の5.7%、高校2年生等の5.1%の順になっている。

e)夜遅くまで起きている回数



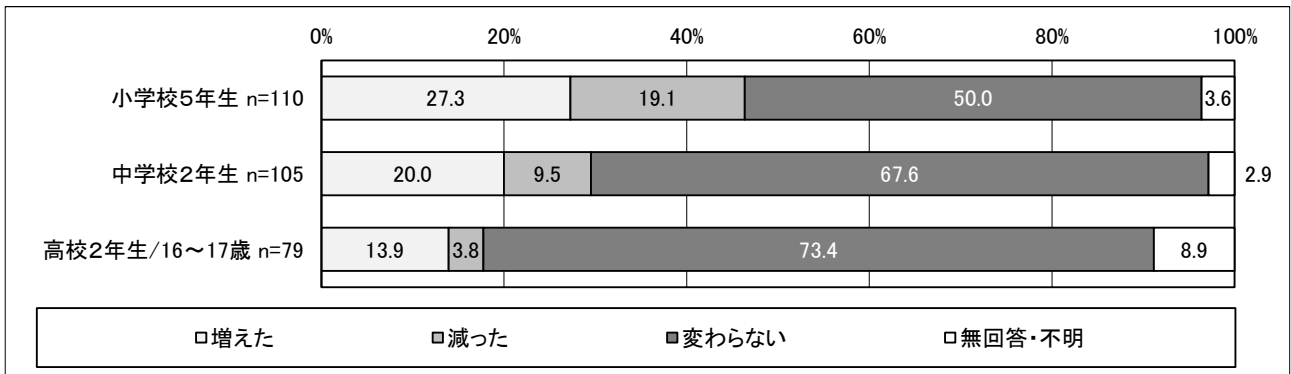
「増えた」は、高校2年生等が32.9%で最も高く、中学校2年生の29.5%、小学校2年生の26.4%の順になっている。

f) 親以外の大人や友達と話をすること



「増えた」は、小学校5年生が40.9%で最も高く、中学校2年生の30.5%、高校2年生等の27.8%の順になっている。

g) イライラや不安、気分が沈むこと



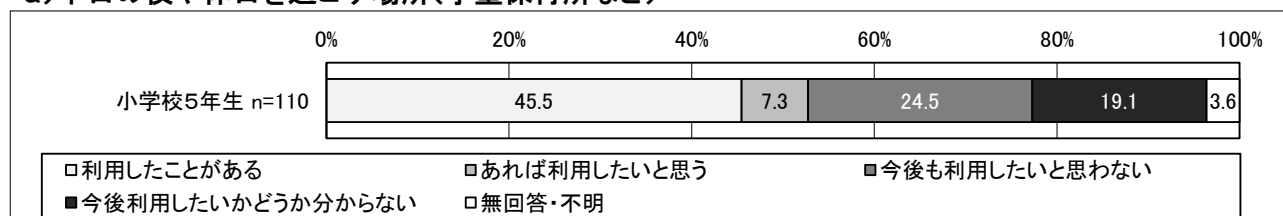
「増えた」は、小学校5年生が27.3%で最も高く、中学校2年生の20.0%、高校2年生等の13.9%の順になっている。

Ⅵ 居場所について

1. 子どもの居場所の利用経験、利用意向

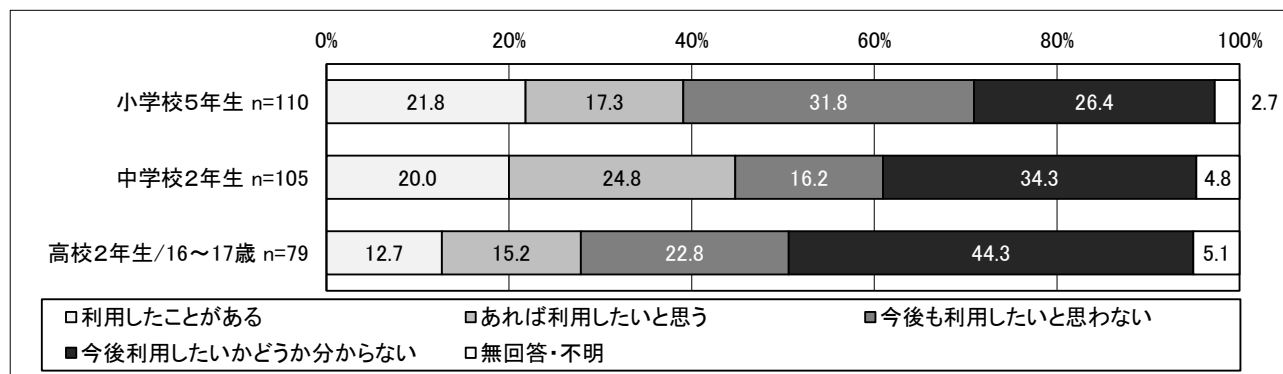
問18. あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～dそれぞれに1つのみ)

a) 平日の夜や休日を過ごす場所(学童保育所など)



小学校5年生の設問で、「利用したことがある」が45.5%で最も高い。

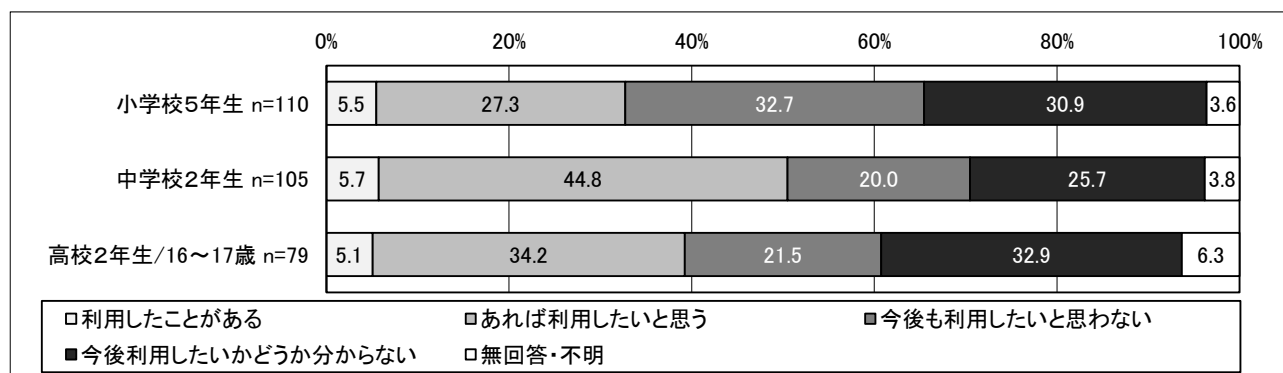
b) 食事を食べる居場所(子ども食堂など)



「利用したことがある」は、小学校5年生が21.8%で最も高く、中学校2年生の20.0%、高校2年生等の12.7%の順になっている。

「あれば利用したい」については、中学校2年生が24.8%で最も高く、小学校5年生の17.3%、高校2年生等の15.2%の順になっている。

c) 勉強を無料でみてる場所

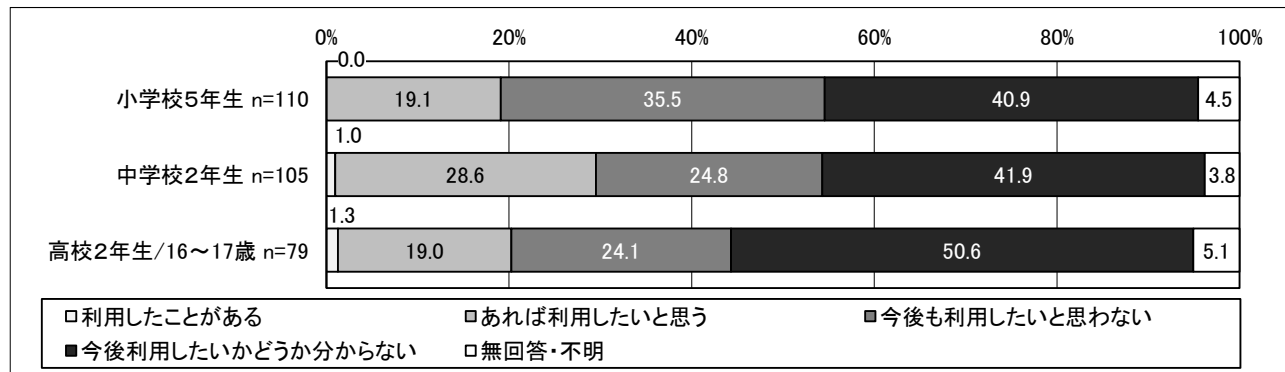


「利用したことがある」は、中学校2年生が5.7%で最も高く、小学校5年生の5.5%、高校2年

生等の5.1%の順になっている。

「あれば利用したい」については、中学校2年生が44.8%で最も高く、高校2年生等の34.2%、小学校5年生の27.3%の順になっている。

d)何でも相談できる場所(電話やネット含む)



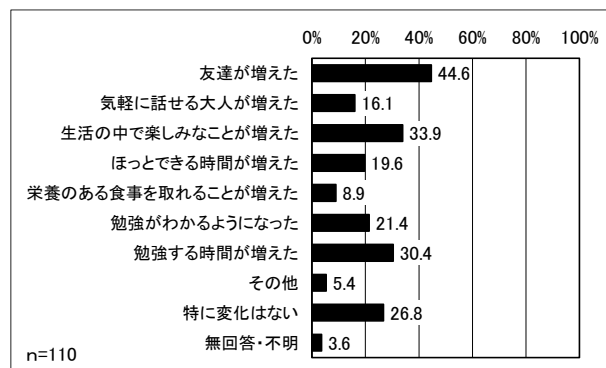
「利用したことがある」はわずかである。高校2年生等が1.3%、中学校2年生が1.0%、小学校5年生が0.0%になっている。

「あれば利用したい」については、中学校2年生が28.6%で最も高く、小学校5年生の19.1%、高校2年生等の19.0%の順になっている。

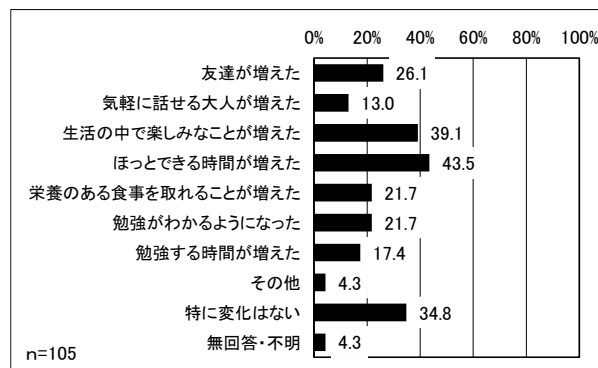
2. 利用したことでの変化

【問18で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きます。】
問19. そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(いくつでも)

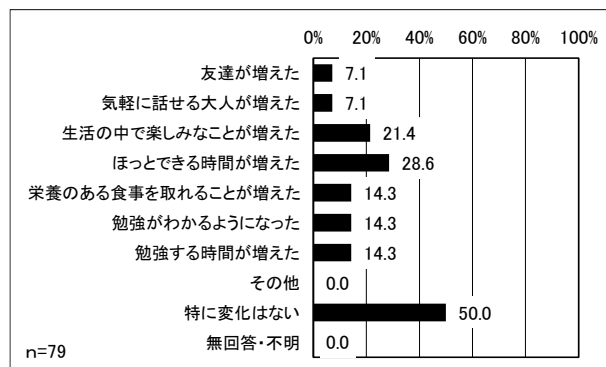
【小学校5年生調査】



【中学校2年生調査】



【高校2年生等調査】



小学校5年生は、「友達が増えた」が44.6%で最も高く、「生活の中で楽しみなことが増えた」(33.9%)、「勉強する時間が増えた」(30.4%)と続く。

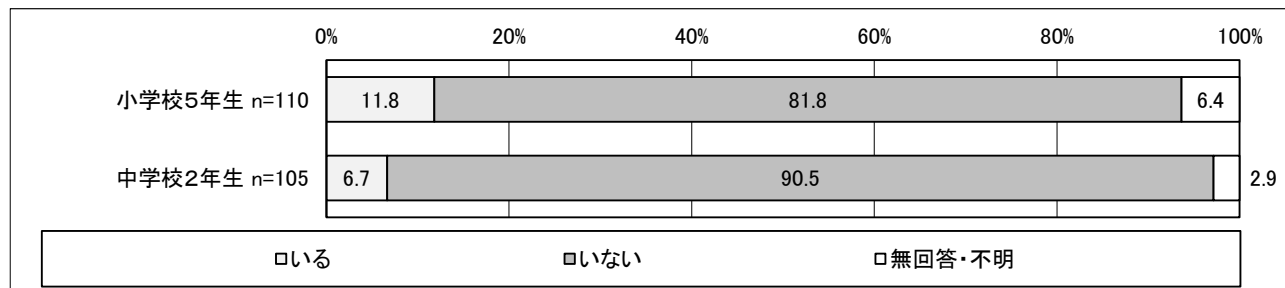
中学校2年生は、「ほっとできる時間が増えた」が43.5%と最も高く、「生活の中で楽しみなことが増えた」(39.1%)、「特に変化はない」(34.8%)と続く。

高校生2年生等は、「特に変化はない」が50.0%で最も高く、「ほっとできる時間が増えた」(28.6%)、「生活の中で楽しみなことが増えた」(21.4%)と続く。

Ⅶ ヤングケアラーの状況

1. 世話をしている家族の有無

問20. あなたが上の説明にあるようなお世話をしている家族はいますか。(1つのみ)



小学校5年生、中学校2年生への設問であり、以下同様である。

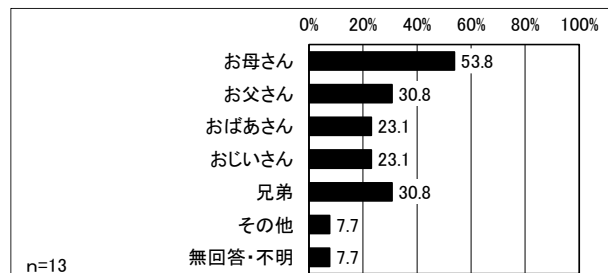
「いる」の回答は、小学校5年生が13人(11.8%)、中学校2年生が7人(6.7%)である。

2. 世話をしている家族の属性

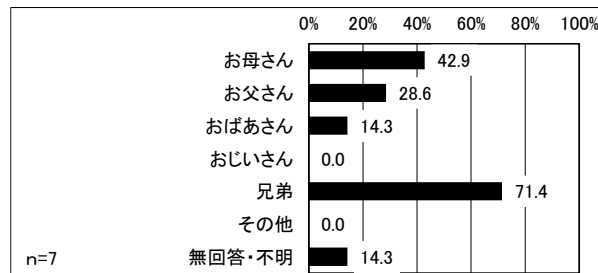
【問20で、「1. いる」と答えた方にお聞きます。】

問21. お世話を必要としている家族は誰ですか。(いくつでも)

【小学校5年生調査】



【中学校2年生調査】



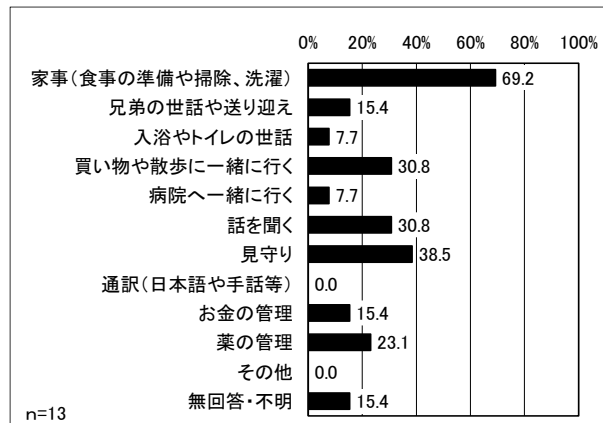
小学校5年生は「お母さん」が7人(53.8%)、「お父さん」「兄弟」が4人(30.8%)、「おばあさん」「おじいさん」が3人(23.1%)になっている。

中学校2年生は「兄弟」が5人(71.4%)、「お母さん」が3人(42.9%)、「お父さん」が2人(28.6%)、「おばあさん」が1人(14.3%)になっている。

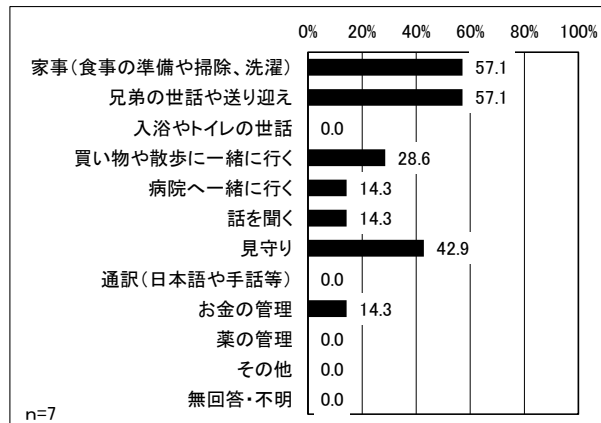
3. 世話の内容

【問20で、「1. いる」と答えた方にお聞きます。】
問22. あなたは、どのようなお世話をしていますか。(いくつでも)

【小学校5年生調査】



【中学校2年生調査】



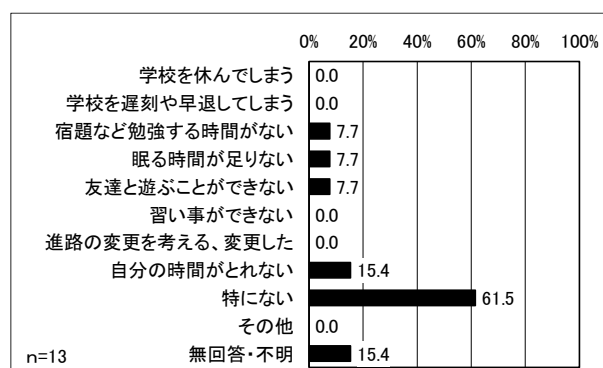
小学校5年生は、「家事(食事の準備や掃除、選択)」が69,2%で最も高く、「見守り」(38.5%)、「買い物や散歩と一緒にいく」「話を聞く」(30.8%)と続く。

中学校2年生は、「家事(食事の準備や掃除、選択)」「兄弟の世話や送り迎え」が57.1%で最も高く、「見守り」(42.9%)、「買い物や散歩と一緒にいく」(28.6%)と続く。

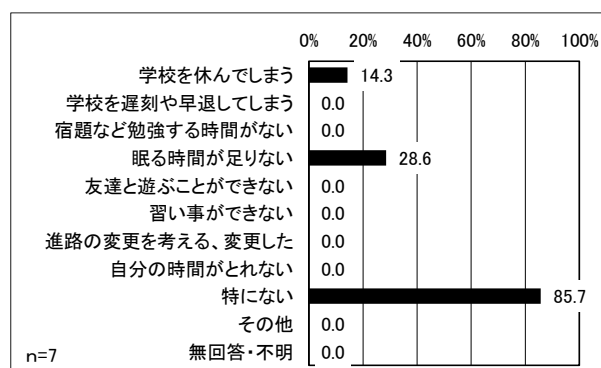
4. 世話をしていることで経験したこと

【問20で、「1. いる」と答えた方にお聞きます。】
問23. あなたは、お世話をしていることで経験したことはありますか。(いくつでも)

【小学校5年生調査】



【中学校2年生調査】



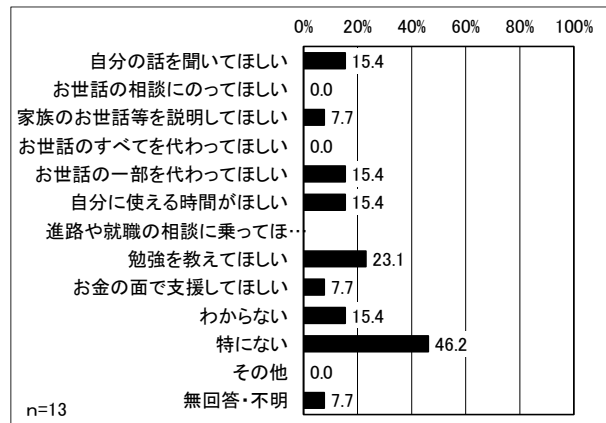
「特にない」の回答が、小学校5年生は8人(61.5%)、中学校2年生は6人(85.7%)になっている。その他、小学校5年生は「自分の時間が取れない」に2人(15.4%)、中学校2年生は「眠る時間が足りない」に2人(28.6%)、「学校を休んでしまう」に1人(14.3%)の回答がある。

5. 学校や周りの大人にしてもらいたいこと

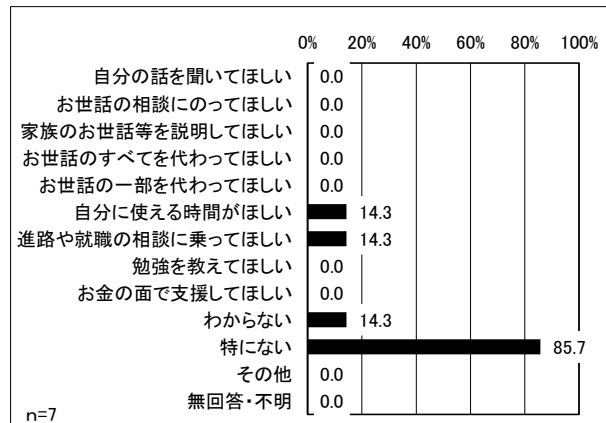
【問20で、「1. いる」と答えた方にお聞きます。】

問24. 学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。(いくつでも)

【小学校5年生調査】



【中学校2年生調査】



「特にない」の回答が、小学校5年生は6人(46.2%)、中学校2年生は6人(85.7%)になっている。その他、小学校5年生は「勉強を教えてほしい」に3人(23.1%)、「自分の話を聞いてほしい」「お世話の一部を代わってほしい」「自分に使える時間がほしい」に2人(15.4%)、「家族のお世話等を説明してほしい」「お金の面で支援してほしい」に1人(7.7%)、中学校2年生は「自分に使える時間がほしい」「進路や就職の相談に乗ってほしい」に1人(14.3%)の回答がある。

VIII 自由意見

1. 小学校5年生の意見

問25. 学校や周りの大人にしてもらいたいことを自由に書いてください。

- おこずかいをアップしてほしい。
- 1人の男子の子にからかわれるからちゅういしてほしい（なぐられもするから）もっと先生と話したい
- いやなことをされるからせっきょくてきに注意してほしい。
- 東日本大震災のことについてよく考えてしまって「自分が犠牲になれば良かった」とか「なんで助けてあげられなかったのかな」と、まだ東日本大震災の時は、私は生まれていなかったけど思ってしまう。そうすると心が痛んでしまってストレスがたまってしまいます。1月1日の能登地震ではお正月だったのでみんなでテレビを見ていました。その時も緊急地震速報が怖くて息が苦しくなったりします。考えすぎてしまう自分や、恐がり過ぎてしまう自分がいやです。親や友達ではない、優しいだれかに相談してみたいです。
- 休み時間を増やしてほしい
- 「私は悩みがあっても、すぐに話せずにいます。そしてそのまま時を過ごして誰にも言えずにいます。でも、前にスクールカウンセラーを受けて少しは言える様になったかな…と自分の中だけだと思っています。「これからはずぐに悩みにきづいて！」ということではありませんがこのようなアンケートを今までよりも増やしてほしいなと思いました。他のクラスでもいじめがある事を知っています。今すぐにはないけれども、このように、いじめを受けている人は金小には結構います。これからもこの活動を続けてほしいです。
- お金をもらう
- いろんな学校の人たちが、いい気持ちになれるようにしてほしい
- 町（地域）へのお願いですが、だれでも自由に使える施設（子ども食堂など）を増やしてほしいです。ヤングケアラーの人などの助けになるような活動（取り組み）を積極的に行ってほしいです。色々な立場の人がいることを考えて行動することで、より良い町になっていくと思います！！
- 学校の先生と1対1の時間が欲しい
- ちょっかいをかける人たちも、たのしく、そして、静かにできるような授業をしてほしい。（学校の先生）
- 学校の勉強で、だれにも邪魔されないで集中して勉強がしたい。もっと男女の関係性を深めたい。
- 社会の大人たちには、もっと楽しく生きてほしい
- もう少し自分の(相手)の気持ちを考えてほしい
- 勉強を教えてもらいたい
- 一緒に遊ぶ
- 学校の先生が児童を優しくし勉強も分かりやすいようにして、児童が分かる範囲内で宿題を出してほしい。前の学校のルールをおしつけないでほしい。別の組と宿題の量を同じにして

ほしい。うるさくしていたらすぐ怒鳴らず静かにしてほしい。

- 勉強を教えてほしい。
- 困っていない時に簡単に相談できるような人が学校や周りにいてほしい。勉強や授業をきちんとできる場所がない
- いつも通りにしてほしい
- "宿題をへらしてほしい。
- 休み時間を増やしてほしい。"
- 特にはない。このままでいいと思う
- ・話を聞いて、かくだけの勉強じゃなく体験もできるようにしてほしい
- 子どもが対象のフェスをしてほしい
- らくだい魔女を、全巻そろえてほしい。
- いろいろすることやストレスのかいしょ法などを教えてほしい。いろいろすることを相談にのって分かりやすく教えてほしい。そしてスッキリしたい。
- 正しいことをしてもらいたい
- クラスでうるさい人などがいたら注意してほしい
- 優しく怒らないで分かりやすく、勉強を教えてもらいたい
- 行事などを増やしてほしい。たくさん交流しながら楽しめるから
- やさしくしてほしい。
- ゲーム内の誹謗中傷を見守って直してください。困っています、お願いします。
- 勉強を教えてほしい
- 算数が分からない
- 宿題をなくして欲しい。学校での授業を多くしていいから休日を増やしてほしい。2カ月～4カ月に1回席替えをしたい。席を後ろのはじっこにしたい。嫌いな人と同じ席になりたくない。理由はなんどもなんどもなんどもなんども隣の席でストレスがたまっているから。お代わり自由にできて残してもいい給食時間にしたい。宿題を無くしたい。宿題を無くしたい。音読したくない。
- 家族のことについて話を聞いてほしい
- 自分のことについて話を聞いてほしい
- 勉強を分かりやすく教えてほしい
- 自由につかえる時間がほしい"
- 今はいろいろとすすんでがんばっているのでほめてほしい
- 遊んだり楽しいことをしたいです

2. 中学校2年生の意見

問29. 学校や周りの大人にしてもらいたいことを自由に書いてください。

- 道路について分からないことが多く、ネットで調べても分からないところが多いので教えてほしい。
- 部延長はなくならないでほしい

- 悩みにのってほしい
- 割り箸を使えるようにしてほしい。手づくり弁当はいらない。
- お年頃で反抗期になっちゃうところをわかってほしい。気をつかわれるのはいやだけど、あんまりみんなとわけて接しなくていい
- 今のままでお願いします。
- りんごをたべて健康になってね
- 困っている人達や私達子どもではできないことを、大人の手を借りて助けてあげてほしいです。
- 毎回ただ怒るだけでなく、説得できるように説明してほしい。生徒に対する接し方の差をなくして欲しい。生徒に校則を守らせるのであれば、先生たちも同じルールを付けてほしい
- 自分でちゃんとしているので「勉強しろ、勉強しろ」言わないでほしい。
- 担任を変えて欲しい
- 苦手な教科の復讐の機会を増やして欲しい"
- 周りの大人に助けを求めたいなと思いました。困っているときや悩んでいる時は話し相手がほしいなと思いました。大人にしてもらいたいのは、家事の仕事を手伝ってもらいたいなと思いました。
- 必要以上に関わらないでほしい
- 金が欲しい ・ねむい
- 金中の体育館を新しくしてほしいと思いました。
- 今の生活でも十分に満足しているため、特になし
- 欠席や早退をしても、それを否定したり「がんばれないの?」と言わないでほしいです。イライラしたり苦しかったり、辛い時頭痛がしています。ただ静かによりそってほしいと思います。